

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床心理学
担 当 教 員	岡島 泰三
カ リ キ ュ ラ ム 名	コミュニケーション
単 位 数（時 間 数）	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	臨床心理学の持つ患者に対する知識やその関わり方を学習する。また、ストレスなどの知識を習得することによって、心と体のメカニズムに精通することを目指す。
到 達 目 標	治療者と患者との関係性を説明できる。患者との関係の取り方を説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2006年4月～現在に至る 帝塚山学院大学において 心理学、児童心理学を担当する 2010年4月～現在に至る 関西学院大学において 心理科学基礎実習を担当する 2019年4月～現在に至る 宝塚医療大学において 心理学を担当する 2005年4月～2019年3月 大阪医専において 臨床心理学を担当する 2、実務上の業績(臨床経験等) 2005年4月～現在に至る 四條畷市保健センターにおいて発達相談員として勤務

1 項	目	臨床心理学とは？
学習目標・ポイント		臨床心理学の成り立ちを知る
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
2 項	目	ストレス
学習目標・ポイント		ストレスや疲労について学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
3 項	目	葛藤
学習目標・ポイント		葛藤について学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
4 項	目	防衛規制
学習目標・ポイント		防衛規制について学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
5 項	目	『パッチ・アダムス』(前)
学習目標・ポイント		患者との関係やユーモアを学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
6 項	目	『パッチ・アダムス』(後)
学習目標・ポイント		患者との関係やユーモアを学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
7 項	目	患者との関係を考える(1)
学習目標・ポイント		精神分析を通じた患者との関係を学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
8 項	目	患者との関係を考える(2)
学習目標・ポイント		クライアント中心療法を通じた患者との関係を学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
9 項	目	学習心理学(1)
学習目標・ポイント		古典的条件付けを学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
10 項	目	学習心理学(2)
学習目標・ポイント		オペラント条件付けを学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
11 項	目	社会心理学(1)
学習目標・ポイント		対人関係を学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
12 項	目	社会心理学(2)
学習目標・ポイント		集団を学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
13 項	目	社会心理学(3)
学習目標・ポイント		援助を学ぶ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
14 項	目	心理検査
学習目標・ポイント		アセスメント法や自分について知る
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		
15 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		まとめ
使用する材料		配付資料 PC プロジェクター
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	栄養学
担 当 教 員	久木 久美子
カリキュラム名	健康科学
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	本講義は、栄養の基礎知識としてエネルギー及び五大栄養素の働きと含有食品について理解し、それらの知識を活かし、ライフステージ（高齢期、スポーツ時）における食事を中心とした栄養管理や病態（肥満、高血圧など）に応じた栄養管理について説明できるようになることを目的とする。さらに、東洋医学と関連の深い食養生として薬膳についても説明できるようになることも目的とする。
到 達 目 標	1. 栄養の基本（エネルギー、五大栄養素）について説明できる。 2. 高齢期およびスポーツ時の栄養管理について説明できる 3. 症状別（肥満、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、貧血、骨粗鬆症、貧血）の栄養管理について説明できる。 4. 薬膳の基本について説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 成績の評価項目及びその割合：単位認定試験50%、確認テスト40%、レポート課題10%合わせて100%で評価を行う。 ※単位認定試験（50%）：6割以上を合格とする。合格基準に満たない場合は、再試験対象となる。 ※確認テスト（40%）：確認テストは、GOOGLEフォーム（スマートフォン）を使って行う。受験後すぐに点数と答えがわかるようになっているので、成績の自己管理を行い、間違えた問題は復習をしておくこと。 ※レポート課題（10%）：内容を点検し返却する。なお、正当な理由がなく指定された期限までに提出がない場合は、成績評価を辞退したものとし、その回のレポート点は「0」となるので注意すること。 ※授業中に睡眠、飲食、騒ぐなど、授業受講に対し積極的な態度が見られない場合は、減点対象とする。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 準備物：3色ほどの色つきペン、レジュメ・配付資料を綴じるA4サイズのファイル、ノート（書くことが多いため） 詳しくは初回に説明する。 ※授業の進行状況により授業内容を変更することがある。
教育・実務業績	【担当科目における教育上の経歴】 1985年 栄養士免許取得 1987年 管理栄養士登録証取得 2014年 奈良女子大学大学院人間文化研究科 共生自然科学専攻 博士（学術）取得 2007年 大阪国際大学短期大学部 栄養学科（2021年に名称変更）専任教員 2016年より教授、2024年より短期大学部長 【担当科目における教育上の業績】 1985年9月～現在に至る 栄養士・管理栄養士養成課程専門学校・短大・大学ならびに介護福祉士、鍼灸師、柔道整復師等の医療・福祉系の専門学校において非常勤講師として勤務 調理学、食品学、栄養学、スポーツ栄養学、臨床栄養学等を担当する 2007年4月～現在に至る 大阪国際大学短期大学部 栄養学科（2021年に名称変更）において、 栄養士基礎科目、食べ物と健康分野を担当する

1 項 目	オリエンテーション、1.栄養の基本(五大栄養素の体内での働き、糖質について)
学習目標・ポイント	五大栄養素の種類と働き、糖質を多く含む食品が説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:糖尿病食事療法のための食品交換表
備考	
2 項 目	1.栄養の基本(たんぱく質について)
学習目標・ポイント	たんぱく質を多く含む食品、たんぱく質・Caを多く含む食品が説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:糖尿病食事療法のための食品交換表
備考	
3 項 目	1.栄養の基本(脂質、ビタミンA(カロテン)について)
学習目標・ポイント	脂質を多く含む食品、緑黄色野菜・淡色野菜、食物繊維を多く含む食品が説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:糖尿病食事療法のための食品交換表
備考	
4 項 目	1.栄養の基本(食物繊維[不溶性、水溶性]について)2.症状別栄養(便秘について)
学習目標・ポイント	不溶性・水溶性食物繊維の働きと含有食品、便秘の種類別栄養管理が説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:糖尿病食事療法のための食品交換表、その他
備考	
5 項 目	1.栄養の基本(エネルギーについて)、2.症状別栄養(肥満・やせについて)
学習目標・ポイント	エネルギー供給栄養素について説明できる、肥満とその原因について説明できる
使用する材料	教科書
備考	
6 項 目	1.栄養の基本(脂質について)
学習目標・ポイント	脂肪、脂肪酸の特徴が説明できる
使用する材料	教科書
備考	
7 項 目	1.栄養の基本(脂質について) 2.症状別栄養(脂質異常症について)
学習目標・ポイント	コレステロールの特徴が説明できる、脂質異常症予防のための栄養管理が説明できる
使用する材料	教科書
備考	
8 項 目	2.症状別栄養(脳卒中について、高血圧について)
学習目標・ポイント	脳卒中の種類と管理可能な危険因子について説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:動脈硬化について
備考	
9 項 目	1.栄養の基本(たんぱく質について)
学習目標・ポイント	アミノ酸の種類とたんぱく質の特徴が説明できる、良質たんぱく質について説明できる、
使用する材料	教科書
備考	
10 項 目	3.ライフサイクルと栄養(高齢期、スポーツ時)
学習目標・ポイント	高齢期の栄養管理について説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:アスリートのための栄養・食事ガイド
備考	
11 項 目	1.栄養の基本(ミネラル[Ca、P、Mg]について)、2.症状別栄養(高尿酸血症、骨粗鬆症について)
学習目標・ポイント	Caの体内での特徴、含有食品が説明できる、骨粗鬆症の栄養管理が説明できる
使用する材料	教科書
備考	
12 項 目	1.栄養の基本(ミネラル[Fe、Na、K]について)、2.症状別栄養(貧血について)
学習目標・ポイント	Fe、Na、Kの働きと含有食品について説明できる、貧血及び高血圧の栄養管理が説明できる
使用する材料	教科書
備考	
13 項 目	1.栄養の基本(ビタミン[脂溶性・水溶性]について)、2.症状別栄養(高尿酸血症について)
学習目標・ポイント	ビタミンの働きと含有食品が説明できる、高尿酸血症の栄養管理が説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:アスリートのための栄養・食事ガイド
備考	
14 項 目	2.症状別栄養(糖尿病について)
学習目標・ポイント	糖尿病の治療のための食事について説明できる、合併症を予防するための食事について具体的に説明できる
使用する材料	配付資料:糖尿病食事療法のための食品交換表
備考	
15 項 目	4.薬膳(薬膳の基本)
学習目標・ポイント	五味、五性の特徴と該当する食材を理解する
使用する材料	配付資料:薬膳の基本、食材分類
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	外国語
担 当 教 員	齋藤 真海子
カリキュラム名	外国語
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目的	臨床現場で必要とされる実践的な医療英語の基礎を習得します。受付から問診、施術中の声掛け、などの「一連の流れ」を英語で行うロールプレイングを中心に進めます。あわせて、解剖学的部位や東洋医学特有の概念（経絡・経穴・「気」など）を英語で説明するスキルを養います。
到 達 目 標	外国人患者の来院から会計まで、一連の対応を適切な英語で行える。主訴の聞き取りや解剖学用語、鍼灸特有の響き・熱さ等の説明を正確に伝え、安全で安心感のある施術を提供できる能力を習得する
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ 教務（授業） 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、ワークシート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1) 2015年7月～ 大阪薫英女学院高等学校 国際教育部所属 2年生 副担任 外国語科(英語) 2017年4月～2018年3月 大阪成蹊女子高等学校 普通科進学キャリアコース 2年生担任 進路指導部担当 2018年4月～2019年3月 大阪成蹊女子高等学校 普通科進学キャリアコース 3年生担任 進路指導部担当(奨学金係) 2019年4月～2020年3月 大阪成蹊女子高等学校 普通科進学キャリアコース 1年生担任 進路指導部担当 2020年4月～2021年3月 大阪成蹊女子高等学校 普通科特進コース 1年生担任 教務部(国際) 2021年4月～2022年3月 大阪成蹊女子高等学校 普通科進学キャリアコース 2年生担任 教務部(国際) 2022年4月～2023年3月 大阪成蹊女子高等学校 非常勤講師(外国語科) 2) 株式会社リバティ Rinato鍼灸整骨院 鍼灸師 2025年4月～2026年2月 勤務

1 項	目	オリエンテーションと自己紹介
学習目標・ポイント		鍼灸師として自己紹介ができる
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
2 項	目	解剖学用語①・受付の英語
学習目標・ポイント		主要な部位の名称を英語で言える。来院時の挨拶と本人確認ができる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
3 項	目	解剖学用語②骨格・受付の英語
学習目標・ポイント		主要な部位の名称を英語で言える。予約を取ることができる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
4 項	目	解剖学用語②骨格・問診表記入の依頼
学習目標・ポイント		主要な部位の名称を英語で言える。問診票の記入の依頼ができる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
5 項	目	解剖学用語③筋肉・施術前の着替えと指示
学習目標・ポイント		主要な部位の名称を英語で言える。体位変換の指示をスムーズに行う。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
6 項	目	解剖学用語④内臓・問診にて主訴の聞き取り
学習目標・ポイント		主要な部位の名称を英語で言える。主訴を聞き取り、理解できる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
7 項	目	問診にて生活習慣やバイタルの確認
学習目標・ポイント		睡眠、食事、血圧などの状態を質問できる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
8 項	目	検査時の指示に使用する表現①
学習目標・ポイント		検査時の指示をスムーズに説明できる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
9 項	目	検査時の指示に使用する表現②
学習目標・ポイント		検査時の指示をスムーズに説明できる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
10 項	目	鍼施術の説明とアフターケアに関して
学習目標・ポイント		鍼の感覚を事前に説明し、アフターケアなどの指導ができる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
11 項	目	鍼灸施術①鍼施術
学習目標・ポイント		施術中の声かけや、不快感などがないか常に確認できる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
12 項	目	鍼灸施術②鍼通電機器
学習目標・ポイント		通電するにあたる諸注意を説明できる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
13 項	目	鍼灸施術③灸施術
学習目標・ポイント		熱さの確認やリスクを説明できる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
14 項	目	アフターケア・栄養指導
学習目標・ポイント		施術後の注意点やセルフケアを提案できる。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし
15 項	目	まとめ・ロールプレイング
学習目標・ポイント		受付から施術までの一連の流れを英語で理解し、使える。
使用する材料		テキスト冊子・worksheet
備考		なし

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(内臓Ⅰ)
担 当 教 員	西口 隆彦
カ リ キ ュ ラ ム 名	からだの仕組みⅠ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	本校の目標は国家試験合格が目標ではあるが、内臓学においては与えられた短い時間数のなかで効率よく学習できるように模型を実際に配布触れさせ、次年度に実施される大阪大学での解剖実習に役立つ講義を行う。
到 達 目 標	過去の国家試験に出題される問題よりやや難題が十分に解けることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。必要と認めた場合、小テストを実施する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	昭和58年4月～平成4年3月 大阪大学歯学部第2解剖学講座助手として勤務 系統解剖学講義および実習を担当する 平成4年4月～平成30年3月 大阪大学歯学部第2解剖学講座非常勤講師 筋学を担当する

1 項	目	脳神経
学習目標・ポイント		用語の暗記
使用する材料		模型
備考		
2 項	目	消化器総論
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		
備考		
3 項	目	口腔
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
4 項	目	咽頭・食道
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
5 項	目	胃・食道
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
6 項	目	大腸
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		
備考		
7 項	目	肝臓
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
8 項	目	胆路
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
9 項	目	脾臓・腹膜
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
10 項	目	鼻腔・副鼻腔
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
11 項	目	喉頭
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
12 項	目	気管・肺
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
13 項	目	胸膜・縦隔
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		
備考		
14 項	目	腎臓
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
15 項	目	膀胱・尿道
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(内臓Ⅱ)
担 当 教 員	西口 隆彦
カ リ キ ュ ラ ム 名	からだの仕組みⅡ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	本校の目標は国家試験合格が目標ではあるが、内臓学においては与えられた短い時間数のなかで効率よく学習できるように模型を実際に配布触れさせ、次年度に実施される大阪大学での解剖実習に役立つ講義を行う。
到 達 目 標	過去の国家試験に出題される問題よりやや難題が十分に解けることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。必要と認めた場合、小テストを実施する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	昭和58年4月～平成4年3月 大阪大学歯学部第2解剖学講座助手として勤務 系統解剖学講義および実習を担当する 平成4年4月～平成30年3月 大阪大学歯学部第2解剖学講座非常勤講師 筋学を担当する

1 項	目	男性生殖器
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		模型
備考		
2 項	目	男性生殖器
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		模型
備考		
3 項	目	女性生殖器
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		模型
備考		
4 項	目	女性生殖器
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		模型
備考		
5 項	目	内分泌器（下垂体・松果体）
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		模型
備考		
6 項	目	内分泌器（甲状腺・上皮小体）
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		
備考		
7 項	目	内分泌器（副腎・睪臓）
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		模型
備考		
8 項	目	内分泌（性腺）
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		
備考		
9 項	目	皮膚
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		
10 項	目	皮膚
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		
備考		
11 項	目	視覚器
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		
備考		
12 項	目	視覚器
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		模型
備考		
13 項	目	聴覚器
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		模型
備考		
14 項	目	聴覚器
学習目標・ポイント		基本構造と機能を説明できる
使用する材料		模型
備考		
15 項	目	味覚・嗅覚器
学習目標・ポイント		基本構造を説明できる
使用する材料		模型
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	植物生理Ⅰ
担 当 教 員	加藤 隆史
カリキュラム名	からだの働きⅠ
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	生理学の基礎、血液、呼吸、消化・吸収、栄養と代謝の各章を概説する。これら各項目において、身体の生理機能の基本を理解する。
到 達 目 標	生理機能の基本を理解し、専門用語を正しく用いて、その意義・重要性を説明できる
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2003年～2008年 松本歯科大学において生理学・解剖学、その他初期教育科目を担当 2008年～2016年 大阪大学大学院歯学研究科において肉眼解剖学・組織学の教育担当 2016年～現在 大阪大学大学院歯学研究科において生理学の教育担当 2008年～現在 平成医療専門学校の柔道整復師科(2008～2016)鍼灸師科(2016～現在) で生理学を担当 2003年以降現在に至るまで、生理学・睡眠に関する大学院研究教育を実施。

1 項	目	生理学の基礎
	学習目標・ポイント	ホメオスタシス、細胞の構造と機能
	使用する材料	教科書p. 1～p. 7
	備考	
2 項	目	生理学の基礎
	学習目標・ポイント	物質代謝、体液の組成、物質移動
	使用する材料	教科書p. 8～p. 13
	備考	
3 項	目	血液の組成と働き
	学習目標・ポイント	血球
	使用する材料	教科書p. 16～p. 21
	備考	
4 項	目	血液の組成と働き
	学習目標・ポイント	血漿、止血
	使用する材料	教科書p. 23～p. 26
	備考	
5 項	目	血液の組成と働き
	学習目標・ポイント	線維素溶解、血液型
	使用する材料	教科書p. 26～p. 28
	備考	
6 項	目	呼吸
	学習目標・ポイント	呼吸器、換気のしくみ
	使用する材料	教科書p. 54～p. 58
	備考	
7 項	目	呼吸
	学習目標・ポイント	ガス交換、呼吸ガスの運搬、呼吸調節
	使用する材料	教科書p. 59～p. 66
	備考	
8 項	目	消化と吸収
	学習目標・ポイント	消化器系の構造と機能、消化管の運動
	使用する材料	教科書p. 59～p. 66
	備考	
9 項	目	消化と吸収
	学習目標・ポイント	消化管の運動、排便、消化液
	使用する材料	教科書p. 68～p. 73
	備考	
10 項	目	消化と吸収
	学習目標・ポイント	消化管の運動、排便、消化液
	使用する材料	教科書p. 74～p. 79
	備考	
11 項	目	消化と吸収
	学習目標・ポイント	消化液、消化管ホルモン
	使用する材料	教科書p. 80～p. 84
	備考	
12 項	目	消化と吸収
	学習目標・ポイント	吸収、肝臓の働き、摂食の調節
	使用する材料	教科書p. 85～p. 89
	備考	
13 項	目	代謝
	学習目標・ポイント	栄養素、代謝
	使用する材料	教科書p. 92～p. 96
	備考	
14 項	目	代謝
	学習目標・ポイント	各栄養素の働きと代謝
	使用する材料	教科書p. 96～p. 100
	備考	
15 項	目	代謝
	学習目標・ポイント	各栄養素の働きと代謝
	使用する材料	教科書p. 101～p. 105
	備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	運動科学
担 当 教 員	齋木 基
カリキュラム名	からだの働きⅡ
単 位 数（時 間 数）	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	JATAC-ATCの必要単位科目に準じ、トレーニング、トレーナーの基本、基礎を学ぶ。
到 達 目 標	トレーニングに関わる解剖学、生理学を理解し、トレーナーとして指導する際の知識を得る。
成績評価方法及び基準	必要出席数「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	「学生のしおり」Ⅲ学内生活、3受講の心得について」に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。
教育・実務業績	1989年3月 中学校教諭 1級免許状(保健体育) 取得 1989年3月 高等学校教諭 2級免許状(保健体育) 取得 1990年4月 高等学校教諭 1級免許状(保健体育) 取得 2008年3月 柔道整復師免許取得 2012年10月 柔道整復師専科教員取得 1993年3月 学会発表(口頭)「企業フィットネスに関する調査」 日本体育経営学会(現 日本体育・スポーツ経営学会) 第16回大会

1 項 目	トレーナーについて
学習目標・ポイント	トレーナーの役割を理解する
使用する材料	プリント
備考	
2 項 目	スポーツ指導者に必要な医学的知識について
学習目標・ポイント	身体に関する医学的知識を知り、理解する。
使用する材料	プリント
備考	
3 項 目	発育発達
学習目標・ポイント	子供の発育発達について理解する
使用する材料	プリント
備考	
4 項 目	トレーニング論
学習目標・ポイント	トレーニング理論、トレーニングの処方を理解する
使用する材料	プリント
備考	
5 項 目	ジュニア期におけるスポーツについて
学習目標・ポイント	ジュニア期のスポーツ、トレーニング指導、外傷について理解する
使用する材料	プリント
備考	
6 項 目	トレーニングの種類
学習目標・ポイント	形態別にみたトレーニングの種類、部門に特化したトレーニングを理解する
使用する材料	プリント
備考	
7 項 目	トレーニングメニューについて
学習目標・ポイント	トレーニングメニューの作成について理解する
使用する材料	プリント
備考	
8 項 目	ストレッチ
学習目標・ポイント	形態別にみたトレーニングの種類、部門に特化したトレーニングを理解する
使用する材料	プリント
備考	
9 項 目	筋力トレーニング
学習目標・ポイント	形態別にみたトレーニングの種類、部門に特化したトレーニングを理解する
使用する材料	プリント
備考	
10 項 目	止血法と三角巾の使い方
学習目標・ポイント	止血の仕方、三角巾の使い方について理解する
使用する材料	プリント・三角巾・包帯
備考	
11 項 目	形態測定について
学習目標・ポイント	止血の仕方、三角巾の使い方について理解する
使用する材料	プリント・メジャー
備考	
12 項 目	テーピング①
学習目標・ポイント	ホワイトテープを使ったテーピングを実践し理解する
使用する材料	プリント・ホワイトテーピング・アンダーラップ・テーピングカッター
備考	
13 項 目	テーピング②
学習目標・ポイント	伸縮性のあるテープのテーピングを実践し理解する。
使用する材料	プリント・伸縮テープ・ハサミ
備考	
14 項 目	テーピング③
学習目標・ポイント	伸縮性のあるテープのテーピングを実践し理解する。
使用する材料	プリント・伸縮テープ・ハサミ
備考	
15 項 目	まとめ
学習目標・ポイント	今までの授業の総復習
使用する材料	プリント
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(骨)
担 当 教 員	西浦 絵美
カリキュラム名	解剖学 I
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	正常な骨の構造と全身の関節についての名称と特徴を学ぶ。
到 達 目 標	正常な骨の構造を理解することができる。全身の関節についての特徴を理解することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 試験10%、レポート10%で合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項	目	全身のおおまかな骨の名称
学習目標・ポイント		全身の骨の名称を覚える
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
2 項	目	結合組織について
学習目標・ポイント		軟骨細胞、骨細胞、骨の構造
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
3 項	目	骨の連結について
学習目標・ポイント		靱帯性・軟骨性・滑膜性の連結について学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
4 項	目	鎖骨・肩甲骨の構造
学習目標・ポイント		鎖骨と肩甲骨の各部位の名称、筋付着部・関節面について学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
5 項	目	上腕骨・尺骨の構造
学習目標・ポイント		上腕骨と尺骨の各部位の名称、筋付着部・関節面について学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
6 項	目	橈骨・手根骨
学習目標・ポイント		橈骨と手根骨の各部位の名称、筋付着部・関節面について学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
7 項	目	指節骨の構造、上肢の関節について
学習目標・ポイント		指節骨の各部位の名称、筋付着部・関節面について学ぶ、上肢の関節の特徴
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
8 項	目	上肢の関節について
学習目標・ポイント		上肢の関節の特徴を学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
9 項	目	頸椎・胸椎について
学習目標・ポイント		頸椎・胸椎の各部位の名称について学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
10 項	目	腰椎・仙骨について、脊柱の関節について
学習目標・ポイント		腰椎・仙骨の各部位の名称について学ぶ、脊柱の関節面とその特徴について学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
11 項	目	寛骨について
学習目標・ポイント		寛骨の各部位の名称について学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
12 項	目	大腿骨・脛骨について
学習目標・ポイント		大腿骨・脛骨の各部位の名称について学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
13 項	目	腓骨・足根骨・趾節骨について
学習目標・ポイント		腓骨・足根骨・趾節骨の各部位の名称について学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
14 項	目	下肢の関節について
学習目標・ポイント		下肢の関節の特徴を学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		
15 項	目	下肢の関節について、まとめ
学習目標・ポイント		下肢の関節の特徴を学ぶ
使用する材料		PC、プロジェクター、配布資料
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(筋)
担 当 教 員	赤井 昂平
カリキュラム名	解剖学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	筋学の基礎学力を身につける。全身の主要な筋の起始、停止、作用を理解する。 各学生ごとに自分自身の勉強方法を確立する。
到 達 目 標	主要な筋の起始、停止、作用を理解する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ(筋) 解剖学Ⅲ(脈管) 臨床医学各論Ⅲ(外科・整形) はりきゅう理論Ⅰ 生体観察(触察解剖) 臨床実技Ⅲ 実務上の業績(臨床経験等) 2024年4月～2026年1月:医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項	目	人体の構造①
学 習 目 標・ポイント		スムーズに授業に入れるよう導入、解剖学の概要を説明
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
2 項	目	人体の構造②
学 習 目 標・ポイント		スムーズに授業に入れるよう導入、解剖学の概要を説明
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
3 項	目	筋(総論)
学 習 目 標・ポイント		筋についての基礎知識を学ぶ
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
4 項	目	上肢帯
学 習 目 標・ポイント		上肢の筋を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
5 項	目	上腕／前腕部
学 習 目 標・ポイント		上腕、前腕部の筋を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
6 項	目	上腕／前腕部②
学 習 目 標・ポイント		上腕、前腕部の筋を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
7 項	目	体幹前面
学 習 目 標・ポイント		体幹前面の筋を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
8 項	目	頭頸部
学 習 目 標・ポイント		頭頸部の筋を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
9 項	目	体幹後面
学 習 目 標・ポイント		体幹後面の筋を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
10 項	目	下肢帯
学 習 目 標・ポイント		下肢帯の筋を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
11 項	目	大腿部
学 習 目 標・ポイント		大腿部の筋を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
12 項	目	下腿部
学 習 目 標・ポイント		下腿部の筋を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
13 項	目	上肢、体幹、下肢の要点を再度確認。
学 習 目 標・ポイント		重要箇所の再確認を行う。
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント
備 考		
14 項	目	総復習①
学 習 目 標・ポイント		臨床や国家試験で必要な知識のまとめ及び再確認
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント・演習問題①
備 考		
15 項	目	総復習②
学 習 目 標・ポイント		今まで学んだことの定着、期末テスト対策
使 用 す る 材 料		教科書・配布プリント・演習問題②
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(脈管)
担 当 教 員	赤井 昂平
カ リ キ ュ ラ ム 名	解剖学Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	主にこの授業では、血管の走行および血管の機能やどこを栄養するかなど詳しく講義する。基礎医学としてももちろん学ぶべきものでもあるが、鍼灸治療では体表から体内へ刺入するため、鍼灸師として血管走行は把握しておかなければならないものである。
到 達 目 標	循環器の基礎的な部分である心臓の形態、構造および身体各部を栄養する主な動脈と静脈を理解する。また、門脈や胎児循環などの特殊な循環についても理解し、免疫に関連するリンパ系と脾臓についても理解する。最低でも動脈・静脈の走行については知識を定着させたい。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ(筋) 解剖学Ⅲ(脈管) 臨床医学各論Ⅲ(外科・整形) はりきゅう理論Ⅰ 生体観察(触察解剖) 臨床実技Ⅲ 業務上の業績(臨床経験等) 2024年4月～2026年1月:医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項	目	循環器系総論
学 習 目 標・ポイント		血液・血管の基本的知識の理解
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
2 項	目	心臓1
学 習 目 標・ポイント		心臓の構造や循環経路について理解する。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
3 項	目	心臓2
学 習 目 標・ポイント		刺激伝導系および拍出する動脈の構造を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
4 項	目	動脈系1
学 習 目 標・ポイント		上行大動脈・冠状動脈の循環について理解する。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
5 項	目	動脈系2
学 習 目 標・ポイント		上肢の循環・頸部の循環を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
6 項	目	動脈系3
学 習 目 標・ポイント		頸部の循環・頭部の循環を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
7 項	目	動脈系4
学 習 目 標・ポイント		胸部の循環・腹部の循環について理解する。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
8 項	目	動脈系5
学 習 目 標・ポイント		下肢の動脈を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
9 項	目	動脈系のまとめ、総復習
学 習 目 標・ポイント		下肢の動脈を理解する。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
10 項	目	静脈系1
学 習 目 標・ポイント		静脈の特徴、門脈、皮静脈と深静脈、硬膜静脈洞について理解する
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
11 項	目	静脈系2
学 習 目 標・ポイント		上肢・下肢の静脈、上下大静脈、奇静脈について理解する
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
12 項	目	胎児循環
学 習 目 標・ポイント		胎児循環について理解する。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
13 項	目	リンパ系
学 習 目 標・ポイント		リンパ系の構造、走行について理解する
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
14 項	目	リンパ系
学 習 目 標・ポイント		胸腺、脾臓について理解する
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
15 項	目	循環器系の復習
学 習 目 標・ポイント		まとめ
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(神経)
担 当 教 員	内野 容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	解剖学Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	神経系の基本構造や名称を学び、構造と機能を総合的に理解するための基礎学力を身につける。
到 達 目 標	神経系疾患を理解する上で必要な事項について理解を深める。 乳業の内容をより深く理解するため自宅学習を行う習慣を身につける。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 後期末試験80%＋平常点(提出物・出席)20%の計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。

1 項 目	神経の構成
学習目標・ポイント	前期で学んだ神経の機能の復習も行い、総合的理解をめざす。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
2 項 目	中枢神経系1
学習目標・ポイント	脊髄の区分、内部構造について学ぶ。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
3 項 目	中枢神経系2
学習目標・ポイント	大脳皮質の区分、大脳辺縁系について学ぶ。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
4 項 目	中枢神経系3
学習目標・ポイント	大脳皮質の機能局在について学ぶ。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
5 項 目	中枢神経系4
学習目標・ポイント	大脳基底核、間脳、脳幹の構造と名称、機能について学ぶ。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
6 項 目	中枢神経系5
学習目標・ポイント	小脳、髄膜、脳脊髄液の構造と名称、機能について学ぶ。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
7 項 目	中枢神経系6
学習目標・ポイント	今までの復習（確認プリントの記入を行う）
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	穴埋め形式のプリントを使用し、知識の再確認を行う。
8 項 目	末梢神経系1
学習目標・ポイント	脳神経1 第Ⅰ～第Ⅳ脳神経について走行と働きについて学ぶ。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
9 項 目	末梢神経系1
学習目標・ポイント	脳神経2 第Ⅴ～第Ⅷ脳神経について走行と働きについて学ぶ。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
10 項 目	末梢神経系3
学習目標・ポイント	脳神経3 第Ⅸ～第Ⅻ脳神経について走行と働きについて学ぶ。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
11 項 目	末梢神経系4
学習目標・ポイント	自律神経について理解を深める。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
12 項 目	末梢神経系5
学習目標・ポイント	自律神経について理解を深める。二重支配、拮抗支配について。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
13 項 目	末梢神経系6
学習目標・ポイント	脊髄神経1 腕神経叢について理解を深める。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
14 項 目	末梢神経系7 腰神経叢について理解を深める。
学習目標・ポイント	脊髄神経2
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	
15 項 目	総復習
学習目標・ポイント	今までの中枢神経、末梢神経について復習する。
使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
備考	今までのすべてのプリントを持ってくること。

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	動物生理 I
担 当 教 員	内野 容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	生理学 I
単 位 数（時 間 数）	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	神経・筋の各章を概説し、これら各項目において身体の正常な生理機能の基本を学ぶ。 解剖学と同様に基礎科目であり、この知識を基に2.3年生で各疾患についての病態理解へ必要な知識を身につける。
到 達 目 標	①動物生理学の範囲について教科書を読み内容を理解することができる。 ②身体の正常な生理機能の基本を理解し、専門用語を正しく用いて、その機能の意義・重要性を説明できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業)』 10試験について【必要出席数】に準ずる。 前期末試験80%＋平常点(提出物・出席)20%の計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。

1 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		A. ニューロンの構造と働き
使用する材料		教科書 p165～
備考		配布プリント
2 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		B. 神経線維の興奮伝導
使用する材料		教科書 p167～
備考		配布プリント
3 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		B. 神経線維の興奮伝導
使用する材料		教科書 p167～
備考		配布プリント
4 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		C. シナプス伝達
使用する材料		教科書 p172～
備考		配布プリント
5 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		C. シナプス伝達
使用する材料		教科書 p172～
備考		配布プリント
6 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		D. 中枢神経系の分類と機能 E. 反射
使用する材料		教科書 p178～
備考		配布プリント
7 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		G. 脳幹 H. 小脳
使用する材料		教科書 p184～
備考		配布プリント
8 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		I. 視床 J. 視床下部
使用する材料		教科書 p186～
備考		配布プリント
9 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		K. 大脳
使用する材料		教科書 p189～
備考		配布プリント
10 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		M. 末梢神経系
使用する材料		教科書 p198～
備考		配布プリント
11 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		N. 自律神経系
使用する材料		教科書 p201～
備考		配布プリント
12 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		N. 自律神経系
使用する材料		教科書 p201～
備考		配布プリント
13 項	目	第11章 筋
学習目標・ポイント		A. 骨格筋の構造と働き
使用する材料		教科書 p218～
備考		配布プリント
14 項	目	第11章 筋
学習目標・ポイント		B. 筋の収縮の仕組み
使用する材料		教科書 p221～
備考		配布プリント
15 項	目	第11章 筋
学習目標・ポイント		C. 筋収縮のエネルギー D. 心筋と平滑筋
使用する材料		教科書 p223～
備考		配布プリント

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	動物生理Ⅱ
担 当 教 員	内野 容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	生理学Ⅱ
単 位 数（時 間 数）	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	運動・体温・排泄・感覚の各章を概説し、これら各項目において身体の正常な生理機能の基本を学ぶ。 解剖学と同様に基礎科目であり、この知識を基に2.3年生で各疾患についての病態理解へ必要な知識を身につける。
到 達 目 標	1動物生理学の範囲について教科書を読み内容を理解することができる。 2身体の正常な生理機能の基本を理解し、専門用語を正しく用いて、その機能の意義・重要性を説明できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 後期末試験80%＋平常点(提出物・出席)20%の計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。

1 項	目	第12章 運動
学習目標・ポイント		A. 骨格筋の神経支配
使用する材料		教科書 p228～
備考		配布プリント
2 項	目	第12章 運動
学習目標・ポイント		B. 運動の調節
使用する材料		教科書 p232～
備考		配布プリント
3 項	目	第12章 運動
学習目標・ポイント		B. 運動の調節
使用する材料		教科書 p232～
備考		配布プリント
4 項	目	第12章 運動
学習目標・ポイント		B. 運動の調節 C. 錐体路系と錐体外路系
使用する材料		教科書 p232～
備考		配布プリント
5 項	目	第6章 体温
学習目標・ポイント		A. 体温調節 B. 体熱の産生と放散
使用する材料		教科書 p108～
備考		配布プリント
6 項	目	第6章 体温
学習目標・ポイント		C. 発汗とその調節 D. 体温調節の障害
使用する材料		教科書 p114～
備考		配布プリント
7 項	目	第7章 排泄
学習目標・ポイント		A. 腎臓の働き B. 腎循環
使用する材料		教科書 p118～
備考		配布プリント
8 項	目	第7章 排泄
学習目標・ポイント		C. 尿の生成 D. 腎臓と体液の調節
使用する材料		教科書 p120～
備考		配布プリント
9 項	目	第7章 排泄
学習目標・ポイント		E. 蓄尿と排尿
使用する材料		教科書 p127～
備考		配布プリント
10 項	目	第13章 感覚
学習目標・ポイント		A. 感覚の分類と一般的性質 B. 体性感覚
使用する材料		教科書 p250～
備考		配布プリント
11 項	目	第13章 感覚
学習目標・ポイント		C. 内臓感覚 D. 痛覚
使用する材料		教科書 p257～
備考		配布プリント
12 項	目	第13章 感覚
学習目標・ポイント		E. 味覚と嗅覚 F. 聴覚
使用する材料		教科書 p264～
備考		配布プリント
13 項	目	第13章 感覚
学習目標・ポイント		G. 平衡感覚
使用する材料		教科書 p269～
備考		配布プリント
14 項	目	第13章 感覚
学習目標・ポイント		H. 視覚
使用する材料		教科書 p270～
備考		配布プリント
15 項	目	復習
学習目標・ポイント		範囲内の復習
使用する材料		教科書
備考		配布プリント

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	植物生理Ⅱ
担 当 教 員	加藤 隆史
カリキュラム名	生理学Ⅲ
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	内分泌、生殖、循環、生体防御などの各章を概説する。これら各項目において、身体の生理機能の基本を理解する。
到 達 目 標	生理機能の基本を理解し、専門用語を正しく用いて、その意義・重要性を説明できる
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2003年～2008年 松本歯科大学において生理学・解剖学、その他初期教育科目を担当 2008年～2016年 大阪大学大学院歯学研究科において肉眼解剖学・組織学の教育担当 2016年～現在 大阪大学大学院歯学研究科において生理学の教育担当 2008年～現在 平成医療専門学校の柔道整復師科(2008～2016)鍼灸師科(2016～現在)で生理学を担当 大学院教育の一環として2003年以降現在に至るまで、生理学・睡眠に関する研究を実施。

1 項 目	循環
学習目標・ポイント	心臓血管系
使用する材料	教科書p. 28～p. 32
備考	
2 項 目	循環
学習目標・ポイント	心機能
使用する材料	教科書p. 33～p. 38
備考	
3 項 目	循環
学習目標・ポイント	血液循環・血圧
使用する材料	教科書p. 39～p. 43
備考	
4 項 目	循環
学習目標・ポイント	血圧・循環調節・リンパ
使用する材料	教科書p. 43～p. 47
備考	
5 項 目	循環
学習目標・ポイント	血圧・循環調節・リンパ
使用する材料	教科書p. 47～p. 52
備考	
6 項 目	内分泌
学習目標・ポイント	ホルモンの特徴
使用する材料	教科書p. 130～p. 134
備考	
7 項 目	内分泌
学習目標・ポイント	ホルモンの種類とその働き
使用する材料	教科書p. 135～p. 139
備考	
8 項 目	内分泌
学習目標・ポイント	ホルモンの種類とその働き
使用する材料	教科書p. 139～p. 145
備考	
9 項 目	内分泌
学習目標・ポイント	ホルモンの種類とその働き
使用する材料	教科書p. 146～p. 151
備考	
10 項 目	生殖・成長と老化
学習目標・ポイント	生殖
使用する材料	教科書p. 152～p. 156
備考	
11 項 目	生殖・成長と老化
学習目標・ポイント	妊娠と出産 成長 老化
使用する材料	教科書p. 157～p. 162
備考	
12 項 目	生体防御
学習目標・ポイント	生体の生体防御機構
使用する材料	教科書p. 278～p. 282
備考	
13 項 目	生体防御
学習目標・ポイント	生体の生体防御機構
使用する材料	教科書p. 283～p. 286
備考	
14 項 目	身体活動の協調
学習目標・ポイント	生体の適応 恒常性維持
使用する材料	教科書p. 288～p. 293
備考	
15 項 目	身体活動の協調
学習目標・ポイント	バイオリズム
使用する材料	教科書p. 294～p. 296
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(生理)
担 当 教 員	濱田 さとみ
カリキュラム名	生理学Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	1年次に学んだ生理学の各項を復習する。 人体の恒常性を保つ仕組み、神経、運動、感覚について理解を深める。
到 達 目 標	はり師きゅう師国家試験の出題頻度の高い項目およびその知識を身につけ、 過去問題で正答を導き出すことが出来る。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3 受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。

1 項	目	消化と吸収
学習目標・ポイント		消化管運動と消化液の働き
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
2 項	目	消化と吸収
学習目標・ポイント		消化液の働き、吸収の仕組み（代謝導入・栄養素）
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
3 項	目	代謝・体温
学習目標・ポイント		栄養素とエネルギー代謝、三大栄養素の働きと代謝、
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
4 項	目	代謝・体温
学習目標・ポイント		三大栄養素の働きと代謝、体温調節
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
5 項	目	排泄
学習目標・ポイント		尿生成、腎臓による体液調節
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
6 項	目	排泄
学習目標・ポイント		腎臓による体液調節、蓄尿と排尿
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
7 項	目	内分泌
学習目標・ポイント		ホルモンの分泌部位・階層支配・受容体・作用
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
8 項	目	神経
学習目標・ポイント		ニューロンの構造とその働き、神経の興奮伝導、シナプス伝達
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
9 項	目	神経
学習目標・ポイント		中枢神経系
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
10 項	目	神経
学習目標・ポイント		自律神経系
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
11 項	目	筋
学習目標・ポイント		骨格筋の構造と働き、筋の収縮の仕組み、心筋と平滑筋
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
12 項	目	運動
学習目標・ポイント		骨格筋の神経支配、運動の調節
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
13 項	目	運動
学習目標・ポイント		運動の調節、錐体路系と錐体外路
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
14 項	目	感覚
学習目標・ポイント		特殊感覚
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		
15 項	目	循環
学習目標・ポイント		血液の組成とその働き、血液凝固のしくみ、免疫
使用する材料		教科書、配布プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	病理学概論 I
担 当 教 員	大家 香織
カ リ キ ュ ラ ム 名	病理学概論 I
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間 I 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	病理学について概説する。炎症、退行性病変、進行性病変、循環障害において、人体を構成する細胞・組織・臓器の変化を概説する。
到 達 目 標	病理学とは何かを理解する。人体を構成する細胞・組織・臓器が、各種の病因によってどのように変化するのかを理解し、説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務（授業） 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験80%、レポート20%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 スマートフォンなどを使用した写真撮影を禁止する。
教育・実務業績	1、病理診断業務(2015年～現在、組織診断、術中迅速診断、細胞診、病理解剖) 2、大阪大学歯学部附属病院検査部助教 検査学講義、病院実習担当(2016年～現在)

1 項	目	第1章 病理学とは
学習目標・ポイント		病理学について、概要が把握できる。
使用する材料		テキスト
備考		
2 項	目	第5章 細胞・組織と退行性変化
学習目標・ポイント		細胞の形態変化に注目する。種々の変化を認識する。
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
3 項	目	第5章 退行性変化
学習目標・ポイント		退行性変化を説明する。
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
4 項	目	第6章 進行性変化
学習目標・ポイント		細胞の形態変化に注目する。創傷治癒の際に形成される肉芽組織を理解する。
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
5 項	目	第6章 進行性変化
学習目標・ポイント		進行性変化を説明する。
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
6 項	目	第7章 炎症
学習目標・ポイント		炎症に関与する細胞、炎症の種類は何か理解する。細胞や組織の形態の変化に注目する。
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
7 項	目	第7章 炎症
学習目標・ポイント		炎症に関与する細胞、炎症の種類を説明する。
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
8 項	目	第7章 炎症
学習目標・ポイント		特異性炎に関与する細胞は何か理解する。細胞や組織の形態の変化に注目する。
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
9 項	目	第7章 炎症
学習目標・ポイント		特異性炎について、説明できる。
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
10 項	目	第4章 循環障害
学習目標・ポイント		循環系、充血・うっ血、虚血
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
11 項	目	第4章 循環障害
学習目標・ポイント		出血、止血、塞栓、梗塞
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
12 項	目	第4章 循環障害
学習目標・ポイント		水腫、脱水、ショック
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
13 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
14 項	目	第1、4～7章
学習目標・ポイント		主要な項目を解説できる
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
15 項	目	第1、4～7章
学習目標・ポイント		問題文を読み、正誤の判断ができる。
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	病理学概論 I
担 当 教 員	福田 康夫
カ リ キ ュ ラ ム 名	病理学概論 I
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	病理学総論の講義を通じて、ヒトの各種疾患の種類と成り立ちを理解する。また、国家試験問題に対処できるだけの知識を身に付ける。講義は医歯薬出版の病理学概論の教科書に準じて進め、必要な部分は随時補足説明を行う。
到 達 目 標	ヒトに生じる各種疾患を病理学的観点から説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 (どのような職務に就いて、どのような分野・科目の教育を行ったのか) 2003年より平成医療学園において病理学概論の講義を行ってきた。 また2004年から2024年まで大阪大学歯学部において検査診断学の講義を行ってきた。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 1983年8月 大阪大学歯学部附属病院医員 1991年6月 大阪大学歯学部附属病院助手 2007年4月 大阪大学歯学部附属病院助教 2008年11月～2024年3月 大阪大学歯学部附属病院講師 上記経歴の全てにおいて、口腔病変の病理診断にたずさわってきた。

1 項	目	第1章 病理学とはどのような学問か 第2章 疾病についての基本的考え方
学習目標・ポイント		病理学の役割を理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
2 項	目	第2章 疾病についての基本的考え方 第3章 病因
学習目標・ポイント		病気の原因にどのようなものがあるか理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
3 項	目	第3章 病因
学習目標・ポイント		病気の原因にどのようなものがあるか理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
4 項	目	第3章 病因
学習目標・ポイント		病気の原因にどのようなものがあるか理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
5 項	目	第3章 病因
学習目標・ポイント		病気の原因にどのようなものがあるか理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
6 項	目	第3章 病因
学習目標・ポイント		病気の原因にどのようなものがあるか理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
7 項	目	第3章 病因
学習目標・ポイント		病気の原因にどのようなものがあるか理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
8 項	目	第3章 病因
学習目標・ポイント		病気の原因にどのようなものがあるか理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
9 項	目	第3章 病因
学習目標・ポイント		病気の原因にどのようなものがあるか理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
10 項	目	第4章 循環障害
学習目標・ポイント		循環障害による疾病を理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
11 項	目	第4章 循環障害
学習目標・ポイント		循環障害による疾病を理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
12 項	目	第4章 循環障害
学習目標・ポイント		循環障害による疾病を理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
13 項	目	第5章 退行性病変
学習目標・ポイント		傷害時の細胞の反応を理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
14 項	目	第5章 退行性病変
学習目標・ポイント		傷害時の細胞の反応を理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		
15 項	目	第5章 退行性病変
学習目標・ポイント		傷害時の細胞の反応を理解する
使用する材料		プレゼンテーション
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	病理学概論Ⅱ
担 当 教 員	大家 香織
カ リ キ ュ ラ ム 名	病理学概論Ⅱ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	腫瘍、免疫、先天異常、各種病因について概説する。
到 達 目 標	腫瘍、免疫、先天異常、各種病因について理解し、説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験80%、レポート20%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 スマートフォン等を使用するの写真を撮影を禁止する。
教育・実務業績	1、病理診断業務（2015年～現在、組織診断、術中迅速診断、細胞診、病理解剖） 2、大阪大学歯学部附属病院検査部助教 検査学講義、病院実習担当（2016年～現在）

1 項	目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント		腫瘍の定義、良性・悪性とは
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
2 項	目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント		細胞形態の違い
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
3 項	目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント		腫瘍のリスク因子
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
4 項	目	第9章 免疫・アレルギー
学習目標・ポイント		免疫に関与する細胞について
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
5 項	目	第9章 免疫・アレルギー
学習目標・ポイント		アレルギー、免疫不全
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
6 項	目	第9章 免疫・アレルギー
学習目標・ポイント		免疫機構の図示
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
7 項	目	第10章 先天異常
学習目標・ポイント		先天異常の種類、遺伝との関連
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
8 項	目	第10章 先天異常
学習目標・ポイント		先天異常の種類、遺伝との関連
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		テキスト、配布プリント
9 項	目	第2章、3章 病因
学習目標・ポイント		外因(栄養素、物理的病因、化学的病因)
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
10 項	目	第3章 病因
学習目標・ポイント		外因(生物学的病因)
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
11 項	目	第3章 病因
学習目標・ポイント		外因(練習問題)
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
12 項	目	第2、3、8、9、10章
学習目標・ポイント		後期まとめ
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
13 項	目	第1、4～7章
学習目標・ポイント		前期復習
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
14 項	目	第1～10章
学習目標・ポイント		問題文を読み、正誤の判断ができる。
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		
15 項	目	第1～10章
学習目標・ポイント		主な項目を解説できる
使用する材料		テキスト、配布プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	病理学概論Ⅱ
担 当 教 員	福田 康夫
カ リ キ ュ ラ ム 名	病理学概論Ⅱ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	病理学総論の講義を通じて、ヒトの各種疾患の種類と成り立ちを理解する。また、国家試験問題に対処できるだけの知識を身に付ける。講義は医歯薬出版の病理学概論の教科書に準じて進め、必要な部分は随時補足説明を行う。
到 達 目 標	ヒトに生じる各種疾患を病理学的観点から説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 (どのような職務に就いて、どのような分野・科目の教育を行ったのか) 2003年より平成医療学園において病理学概論の講義を行ってきた。 また2004年から2024年にかけて大阪大学歯学部において検査診断学の講義を行ってきた。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 1983年8月 大阪大学歯学部附属病院医員 1991年6月 大阪大学歯学部附属病院助手 2007年4月 大阪大学歯学部附属病院助教 2008年11月～2024年3月 大阪大学歯学部附属病院講師 上記経歴の全てにおいて、口腔病変の病理診断にたずさわってきた。

1 項 目	第6章 進行性病変
学習目標・ポイント	障害に対する生体の積極的な反応を理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
2 項 目	第6章 進行性病変
学習目標・ポイント	障害に対する生体の積極的な反応を理解する・臓器移植について理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
3 項 目	第6章 進行性病変
学習目標・ポイント	創の治り方および異物がどう処理されるか理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
4 項 目	第7章 炎症
学習目標・ポイント	炎症とはどのような反応か理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
5 項 目	第7章 炎症
学習目標・ポイント	各種の炎症について理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
6 項 目	第7章 炎症
学習目標・ポイント	結核などの特異性炎について理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
7 項 目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント	腫瘍とはどのような病変か理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
8 項 目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント	腫瘍の組織学的特徴について理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
9 項 目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント	各種の腫瘍についてその特徴を理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
10 項 目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント	腫瘍がどのように広がっていくのか理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
11 項 目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント	腫瘍が生体に及ぼす影響および腫瘍の発生原因について理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
12 項 目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント	腫瘍発生の原因・腫瘍の治療方法・代表的な良性腫瘍、悪性腫瘍について理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
13 項 目	第9章 免疫異常・アレルギー
学習目標・ポイント	免疫の基礎およびアレルギー反応について理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
14 項 目	第9章 免疫異常・アレルギー
学習目標・ポイント	免疫不全および自己免疫疾患について理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	
15 項 目	第10章 先天性異常
学習目標・ポイント	代謝異常や奇形などの各種先天異常について理解する
使用する材料	プレゼンテーション
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床医学総論Ⅰ
担 当 教 員	西浦 絵美
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床医学総論Ⅰ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	臨床医学総論はいわゆる診断学として位置づけられているもので、患者の診察から診断までの思考過程を会得することが目的である。鍼灸師は、その診察的特徴からプライマリケアとしての役割を担うため、より患者の側にたった目線からの確かな鑑別診断を行い、患者や家族への心理社会的側面への配慮、予防医学的ケアを東西医学の知識の元で実践できるような知識の教授を行う。
到 達 目 標	治療者-患者の対応について理解できる。医療面接について理解できる。現代医学的診察技法の手法と意義を理解し説明できる。バイタルサインの意味を理解し異常について分かる。全身診察の手法と意義を理解できる。局所の診察の手法と意義について理解できる。一般臨床検査の項目と数値の意味を理解できる。各症候の分類や症状と疾患との関係について理解できる。物理療法や神経ブロックなどの治療法について知っている。心理療法について知っている。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10. 試験について【必要出席数】』に準ずる。 中間試験30%、単位認定試験で70%の合計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う

1 項	目	第1章 第2章
学 習 目 標・ポイント		・医療面接とは何かを知っている ・POSを理解している ・身体診察の手法の概要を理解している
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
2 項	目	第3章 バイタルサイン:発熱、脈拍、不整脈、血圧、呼吸
学 習 目 標・ポイント		・バイタルサイン ・熱型 ・頻脈、徐脈を呈する代表疾患。 ・アダムスストークス症候群・血圧の測定方法および高血圧分類
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
3 項	目	第3章 第4章 全身の診察
学 習 目 標・ポイント		・疾患の特徴的な顔貌、体型 ・JCS、GCS ・肥満とやせ、るいそう
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
4 項	目	第4章 全身の診察:顔貌、精神状態、体型体格
学 習 目 標・ポイント		異常歩行について
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
5 項	目	第4章 全身の診察:顔貌、精神状態、体型体格姿勢、歩行、皮膚・粘膜
学 習 目 標・ポイント		浮腫、発疹について
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
6 項	目	第5章 局所の診察:頭部・顔面・頸部の観察、目耳鼻の診察
学 習 目 標・ポイント		・眼瞼下垂 ・伝音性難聴と感音性難聴
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
7 項	目	第5章 局所の診察:目耳鼻の診察、口舌咽頭喉頭の診察
学 習 目 標・ポイント		・口臭 ・コプリック斑 ・ジフテリアにおける咽頭部の症状 ・舌下神経麻痺、片麻痺における舌の偏位の所見 ・イチゴ舌 ・ハンター舌炎
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
8 項	目	第5章 局所の診察:頸部、胸部、乳房
学 習 目 標・ポイント		・圧痛・疼痛を伴うリンパ節腫脹、伴わないリンパ節腫脹 ・甲状腺腫 ・バセドウ病と橋本病のちがい ・胸郭異常
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
9 項	目	第5章 局所の診察:肺・胸膜
学 習 目 標・ポイント		・胸部打診、肺肝境界、・正常呼吸音の種類 ・気胸と胸水の打診・聴診・声音振とう ・副雑音(う音・胸膜摩擦音)の特徴
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
10 項	目	第5章 局所の診察:心臓
学 習 目 標・ポイント		・心尖拍動 ・心音の聴診部位 ・僧帽弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症における心音の違い ・心雑音について理解している
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
11 項	目	第5章 局所の診察:腹部
学 習 目 標・ポイント		・腹膜炎、虫垂炎、急性胆のう炎に見られる触診の徴候 ・機械性イレウスと麻痺性イレウスの蠕動運動とグル音の違い
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
12 項	目	第5章 局所の診察:腹部
学 習 目 標・ポイント		・腹水
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
13 項	目	第5章 局所の診察:背部、四肢
学 習 目 標・ポイント		・四肢の変形
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
14 項	目	第6章 神経系の診察:知覚検査、反射検査、反射検査(深部反射、病的反射、錐体路障害)
学 習 目 標・ポイント		・錐体路障害、下位運動ニューロン障害の違い ・錐体路障害、錐体外路障害の違い
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		
15 項	目	第6章 神経系の診察:脳神経系検査、髄膜刺激症状
学 習 目 標・ポイント		・髄膜刺激症状
使 用 す る 材 料		教科書
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床医学総論Ⅱ
担 当 教 員	西浦 絵美
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床医学総論Ⅱ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	本科目は診断学のため、広い臨床医学的知識が必要であることから、他の科目（臨床医学各論、解剖学、生理学、リハビリテーション医学など）のリンクした、横断的知識を整理し、理解できることを目的とする。また暗記知識を整理し、4択問題の解き方を理解させる。
到 達 目 標	本科目がどのような科目が理解できる。出題されやすい項目を理解している。視診、聴診、打診、触診に関する知識と、意義を理解している。バイタルに関する知識と、意義を理解している。運動機能検査に関する知識と、意義を理解している。CPRIについて理解している。おもな症状の診察について知っている。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ 教務（授業） 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 中間試験25%、単位認定試験で75%の合計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3 受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校附属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項	目	第7章 運動機能検査:運動麻痺、筋肉の異常
学習目標・ポイント		・神経原性筋萎縮と筋原性筋萎縮の違い
使用する材料		教科書
備考		
2 項	目	第7章 運動機能検査:不随意運動、協調運動障害
学習目標・ポイント		・不随意運動(各振戦の違い、パリスムス、アテトーゼ、ジストニー、ミオクローヌス)・脊髄性失調と小脳性失調の違い、ロンベルグ試験の意義
使用する材料		教科書
備考		
3 項	目	第7章 運動機能検査:徒手による整形外科的検査法
学習目標・ポイント		徒手検査の目的と方法
使用する材料		教科書
備考		
4 項	目	第8章 その他の診察 第9章 臨床検査法:救急時の診察、女性の診察、小児の診察、高齢者の診察、一般検査
学習目標・ポイント		・CPRにおけるBLSの内容、胸骨圧迫心臓マッサージの方法
使用する材料		教科書
備考		
5 項	目	第9章 臨床検査法:一般検査
学習目標・ポイント		・多尿・無尿・尿比重・黄疸と(肝細胞性黄疸、完全閉塞性黄疸、溶血性黄疸、Gilbert病) 赤沈の所見
使用する材料		教科書
備考		
6 項	目	第9章 臨床検査法:血液性化学検査
学習目標・ポイント		・血液性化学検査
使用する材料		教科書
備考		
7 項	目	第9章 臨床検査法:生理学的検査、画像診断の概要
学習目標・ポイント		・生理機能検査や画像診断の種類
使用する材料		教科書
備考		
8 項	目	第10章 おもな症状の診察:頭痛～めまい
学習目標・ポイント		・一次性頭痛の種類とそれぞれの特徴・めまいとめまい感のちがいと特徴・メニエール病と突発性難聴の特徴・伝音性難聴と感音性難聴の違い
使用する材料		教科書
備考		
9 項	目	第10章 おもな症状の診察:耳鳴り、難聴～便秘
学習目標・ポイント		・動悸の要因を理解している・単純性便秘(直腸性・弛緩性)と痙攣性便秘と器質性便秘の特徴の違い
使用する材料		教科書
備考		
10 項	目	第10章 おもな症状の診察:下痢～浮腫
学習目標・ポイント		・蓄尿障害・尿閉・乏尿・無尿・浸透圧利尿(等張性利尿)
使用する材料		教科書
備考		
11 項	目	第10章 おもな症状の診察:肩こり～運動麻痺
学習目標・ポイント		・硬結について・MPS・線維筋痛症・胸郭出口症候群・脊髄症性脊髄症・非特異的腰痛・椎間関節性腰痛・肩甲上神経、腋窩神経・RSD、肩手症候群
使用する材料		教科書
備考		
12 項	目	第10章 おもな症状の診察:食欲不振～発疹
学習目標・ポイント		・月経困難症・蝶形紅斑、くも状血管腫、手掌紅斑・皮膚筋炎、アジソン病、ペーチェット病、尋常性白斑、全身性硬化症の皮膚症状
使用する材料		教科書
備考		
13 項	目	第10章 おもな症状の診察:ショック～意識障害
学習目標・ポイント		・ショックの分類と原因、ウォームショック・貧血の原因、症状、特徴・反回神経麻痺で起こる症状・胸水時の漏出液、滲出液での疾患の違い
使用する材料		教科書
備考		
14 項	目	不定愁訴、治療学、物理療法
学習目標・ポイント		・対症療法・薬物療法・神経ブロック・物理療法
使用する材料		教科書
備考		
15 項	目	治療学:心理療法
学習目標・ポイント		・知能検査、人格検査の種類
使用する材料		教科書
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床医学各論Ⅰ
担 当 教 員	迫 宏典
カリキュラム名	臨床医学各論Ⅰ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	国家試験の前半科目において出題割合が多い科目である。教科書に記載される疾患および関連する疾患の基礎的な知識の定着を目的とする。
到 達 目 標	教科書に記載される疾患および関連する疾患の病態生理などの基礎知識を確り定着させ、国家試験に対応できることを目標とする。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 中間試験50%、単位認定試験50%で合算して判定する。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	〔職歴〕 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど） 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員（～現在に至る） （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰなど） 〔学会発表〕 平成27年（公社）全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 〔研究歴〕 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率（～現在） 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員（～現在） 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員（～令和2年） 〔業 績〕 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項	目	第1章 感染症
学習目標・ポイント		感染症の総論と各論について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	第1章 感染症(2)
学習目標・ポイント		性感染症、食道疾患について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	第2章 消化器疾患(1)
学習目標・ポイント		食道疾患について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	第2章 消化器疾患(2)
学習目標・ポイント		胃腸疾患について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	第3章 肝・胆・膵臓疾患(1)
学習目標・ポイント		肝炎、肝硬変について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	第3章 肝・胆・膵臓疾患(2)
学習目標・ポイント		肝癌や胆嚢炎、膵癌について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	第4章 呼吸器疾患(1)
学習目標・ポイント		感染性呼吸器疾患について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	第4章 呼吸器疾患(2)
学習目標・ポイント		COPDや拘束性肺疾患、肺癌などについて学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	中間試験
学習目標・ポイント		
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	第5章 腎・尿器疾患(1)
学習目標・ポイント		糸球体疾患、ネフローゼなどについて学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
11 項	目	第5章 腎・尿器疾患(2)
学習目標・ポイント		尿路感染症、腫瘍、前立腺疾患について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	第6章 内分泌疾患(1)
学習目標・ポイント		生理学の内分泌の復習を取り入れながら疾患の学習をする
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	第6章 内分泌疾患(2)
学習目標・ポイント		生理学の内分泌の復習を取り入れながら疾患の学習をする
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	第7章 代謝疾患(1)
学習目標・ポイント		糖尿病などについて学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
15 項	目	第7章 代謝疾患(2)
学習目標・ポイント		ビタミン欠乏などについて学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床医学各論Ⅱ
担 当 教 員	迫 宏典
カリキュラム名	臨床医学各論Ⅱ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	国家試験の前半科目において出題割合が多い科目である。教科書に記載される疾患および関連する疾患の基礎的な知識の定着を目的とする。
到 達 目 標	教科書に記載される疾患および関連する疾患の病態生理などの基礎知識を確り定着させ、国家試験に対応できることを目標とする。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 中間試験50%、単位認定試験50%で合算して判定する。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	〔職歴〕 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど） 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員（～現在に至る） （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰなど） 〔学会発表〕 平成27年（公社）全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 〔研究歴〕 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率（～現在） 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員（～現在） 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員（～令和2年） 〔業 績〕 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項	目	第9章 循環器疾患(1)
学習目標・ポイント		心不全、弁膜症について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	第9章 循環器疾患(2)
学習目標・ポイント		狭心症、心筋梗塞などについて学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	第9章 循環器疾患(3)
学習目標・ポイント		先天性心疾患、動脈疾患などについて学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	第10章 血液・造血器疾患(1)
学習目標・ポイント		貧血について学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	第10章 血液・造血器疾患(2)
学習目標・ポイント		白血病、血友病について学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	第11章 神経疾患(1)
学習目標・ポイント		脳梗塞、脳出血などについて学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	第11章 神経疾患(2)
学習目標・ポイント		パーキンソン病など基底核疾患について学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	中間試験
学習目標・ポイント		講義内容の確認
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	第11章 神経疾患(3)
学習目標・ポイント		認知症、重症筋無力症などについて学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	第11章 神経疾患(4)
学習目標・ポイント		ギランバレー症候群などについて学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
11 項	目	第12章 膠原病・リウマチ疾患(1)
学習目標・ポイント		リウマチなどについて学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	第12章 膠原病・リウマチ疾患(2)
学習目標・ポイント		ベーチェット病などの膠原病および膠原病類縁疾患について学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	第13章 その他の領域(1)
学習目標・ポイント		小児科疾患、皮膚科疾患、眼科疾患について学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	第13章 その他の領域(2)
学習目標・ポイント		耳鼻咽喉科疾患、婦人科疾患について学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
15 項	目	第13章 その他の領域(3)
学習目標・ポイント		精神科・心療内科疾患、老人性疾患について学習する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	外科・整形
担 当 教 員	赤井 昂平
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床医学各論Ⅲ
単 位 数（ 時 間 数 ）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	教科書をベースに国家試験に対応した知識および臨床現場にて頻繁に遭遇する外傷・障害の知識を養う。
到 達 目 標	はり師・きゅう師国家試験に出題が予想される外科疾患・整形外科疾患・麻酔科学について理解を深め、国家試験過去問を確実に解けるようにする。また、臨床において頻繁に出会う疾患についても理解を深める。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ(筋) 解剖学Ⅲ(脈管) 臨床医学各論Ⅲ(外科・整形) はりきゅう理論Ⅰ 生体観察(触察解剖) 臨床実技Ⅲ 業務上の業績(臨床経験等) 2024年4月～2026年1月:医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項 目	第13章 その他の領域 B. 一般外科 損傷概論(熱傷／凍瘡と凍傷)
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
2 項 目	第13章 その他の領域 麻酔科(総論)
学習目標・ポイント	麻酔の種類および方法、適応疾患、一般的な薬剤について理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
3 項 目	第8章 整形外科疾患 B. 関節疾患
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
4 項 目	第8章 整形外科疾患 C. 代謝性骨疾患・骨腫瘍
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
5 項 目	第8章 整形外科疾患 D. 筋・腱疾患
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
6 項 目	第8章 整形外科疾患 E. 形態異常
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
7 項 目	第8章 整形外科疾患 F. 脊椎疾患①
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
8 項 目	第8章 整形外科疾患 F. 脊椎疾患②
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
9 項 目	第8章 整形外科疾患 G. 脊髄損傷
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
10 項 目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷(骨折・脱臼・捻挫)①
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
11 項 目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷(骨折・脱臼・捻挫)②
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
12 項 目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷(スポーツ外傷・障害)①
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
13 項 目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷(スポーツ外傷・障害)②
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
14 項 目	第8章 整形外科疾患 I. その他の整形外科疾患
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	
15 項 目	総復習
学習目標・ポイント	今まで学んだことの要点を再確認、期末テスト対策
使用する材料	教科書・配布プリント
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	リハビリテーション医学Ⅰ
担 当 教 員	鍵 隆
科 目 名（中 項 目）	リハビリテーション医学Ⅰ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	教科書を中心に、リハビリテーション医学を理解する。また、国家試験にも対応できるように対策を行う。
到 達 目 標	基本的なリハビリテーション医学を理解し、臨床的な対応もイメージできるようにする。国家試験レベルの知識を習得する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験80%、小テスト20%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』受講の心得に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	担当科目における教育上の業績 H18～23年4月 行岡リハビリテーション専門学校において理学療法研究論講義を担当 H18～現在 平成医療学園専門学校においてリハビリテーション医学を担当 実務上の業績(臨床経験等) 1、大阪府済生会中津病院リハビリテーションセンター勤務 約10年 2、医療法人 前田整形外科勤務 約20年 3、同法人関連整骨院 院長として勤務

1 項	目	第Ⅰ部 第1章 リハビリテーション医学
学習目標・ポイント		理念 歴史 生活機能分類 分野 リハビリ医療 チーム 地域
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
第Ⅰ部		第Ⅰ部 第3章 診断・評価学
学習目標・ポイント		評価 流れ 身体計測 ROM
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
3 項	目	第Ⅰ部 第3章 診断・評価学
学習目標・ポイント		MMT 整形外科学 神経学的
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
4 項	目	第Ⅰ部 第3章 診断・評価学
学習目標・ポイント		ADL 心理 嚥下 片麻痺
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
5 項	目	第Ⅰ部 第3章 診断・評価学
学習目標・ポイント		運動療法 物理療法
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
6 項	目	第Ⅰ部 第4章 治療学
学習目標・ポイント		作業療法 言語療法 補装具
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
7 項	目	第Ⅰ部 第4章 治療学
学習目標・ポイント		復習
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
8 項	目	第Ⅱ部 第1章 整形外科疾患
学習目標・ポイント		運動器 上肢 下肢
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
9 項	目	第Ⅱ部 第1章 整形外科疾患
学習目標・ポイント		運動器 脊椎 脊髄損傷
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
10 項	目	第Ⅱ部 第1章 整形外科疾患
学習目標・ポイント		切断 リウマチ スポーツ傷害
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
11 項	目	第Ⅱ部 第2章 神経疾患
学習目標・ポイント		脳血管障害
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
12 項	目	第Ⅱ部 第2章 神経疾患
学習目標・ポイント		パーキンソン 脊髄小脳 ALS 末梢神経障害
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
13 項	目	第Ⅱ部 第3章 内部障害
学習目標・ポイント		心臓 呼吸 DM 腎
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
14 項	目	第Ⅱ部 第4章 がん
学習目標・ポイント		がん
使用する材料		教科書・配付資料
備考		
15 項	目	第Ⅱ部 第5章 高齢者 第6章 小児
学習目標・ポイント		骨粗鬆症 廃用症候群 認知症 脳性麻痺 筋ジス
使用する材料		教科書・配付資料
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(リハビリ)
担 当 教 員	西浦 絵美
カ リ キ ュ ラ ム 名	リハビリテーション医学Ⅱ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	はり師きゅう師国家試験において、教科書変更に伴うリハビリテーション医学分野の知識の確認と理解を向上し、習熟できることを目的とする。
到 達 目 標	リハビリテーション医学分野における理念と方法・各疾患のリハビリテーションを解説することができる。学生に対して国家試験の対策とサポートをすることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 中間試験25%、単位認定試験で75%の合計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項	目	リハビリテーションと障害
学習目標・ポイント		リハビリテーションの基本理念・ノーマライゼーション・IL
使用する材料		配布資料
備考		
2 項	目	リハビリテーション医学と医療
学習目標・ポイント		リハビリテーション医学の概念・チームアプローチ・進め方、地域ケア
使用する材料		配布資料
備考		
3 項	目	障害の評価
学習目標・ポイント		心身機能・身体構造の評価～摂食嚥下障害の評価
使用する材料		配布資料
備考		
4 項	目	医学的リハビリテーション1
学習目標・ポイント		理学療法、作業療法、言語聴覚療法
使用する材料		配布資料
備考		
5 項	目	医学的リハビリテーション2
学習目標・ポイント		補装具療法、リハビリテーション看護、ソーシャルワーク
使用する材料		配布資料
備考		
6 項	目	脳卒中のリハビリテーション
学習目標・ポイント		脳卒中の評価、急性期・回復期のリハビリテーション、リスク管理
使用する材料		配布資料
備考		
7 項	目	脊髄損傷のリハビリテーション
学習目標・ポイント		脊髄損傷による機能障害、急性期・回復期のリハビリテーション
使用する材料		配布資料
備考		
8 項	目	切断のリハビリテーション
学習目標・ポイント		切断の分類・合併症・リハビリテーション、切断の特徴
使用する材料		配布資料
備考		
9 項	目	小児のリハビリテーション
学習目標・ポイント		特徴、脳性麻痺のリハビリテーション
使用する材料		配布資料
備考		
10 項	目	骨関節疾患のリハビリテーション
学習目標・ポイント		五十肩、頸腕障害、腰痛、変形性膝関節症、変形性股関節症、大腿骨頸部骨折
使用する材料		配布資料
備考		
11 項	目	関節リウマチのリハビリテーション
学習目標・ポイント		関節リウマチの特徴・評価・リハビリテーション
使用する材料		配布資料
備考		
12 項	目	末梢神経障害のリハビリテーション
学習目標・ポイント		末梢神経障害の原因と特徴・評価・リハビリテーション
使用する材料		配布資料
備考		
13 項	目	パーキンソン病のリハビリテーション
学習目標・ポイント		パーキンソン病の症状・評価・リハビリテーション
使用する材料		配布資料
備考		
14 項	目	呼吸器疾患のリハビリテーション
学習目標・ポイント		呼吸器疾患の症状・評価・リハビリテーション
使用する材料		配布資料
備考		
15 項	目	心疾患のリハビリテーション
学習目標・ポイント		心疾患の症状・評価・リハビリテーション
使用する材料		配布資料
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	衛生学・公衆衛生学Ⅰ
担 当 教 員	上野 暁生
カ リ キ ュ ラ ム 名	衛生学・公衆衛生学Ⅰ
単 位 数（時 間 数）	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	公衆衛生学では集団レベルでの健康の増進と疾病の予防を考える。疾病構造の変化や少子高齢化により生活環境は急激に変化している。様々な環境・社会の変化が人々の健康に与える影響について理解する。また感染症や消毒に関する正確な知識を身につけ、今後もパンデミックや災害時にも医療従事者として適切に行動できる素養を身につける。また統計・疫学の考え方を学習する。
到 達 目 標	医療人として最低限必要な衛生学・公衆衛生学の知識を習得する。将来、社会状況が変化しても自ら情報を収集し、対処していける基礎学力を身につける。
成績評価方法及び基準	前期単位認定試験の試験結果、出席状況、授業態度などを総合的に勘案し評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 専任教員として2の科目を担当 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1 項	目	保健衛生行政1
学習目標・ポイント		公衆衛生学の意義を学ぶ。WHOを中心に国際保健を理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	保健衛生行政2
学習目標・ポイント		健康および疾病予防の概念、地域保健の制度を学ぶ。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	食品と健康
学習目標・ポイント		食生活と疾病について学ぶ。国民健康栄養調査、健康日本21、食品添加物について理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	食品と健康
学習目標・ポイント		食中毒と微生物について理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	感染症と病原微生物1
学習目標・ポイント		感染源となる病原微生物について理解する。細菌及びウイルス感染症の概要。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	感染症と病原微生物2
学習目標・ポイント		感染症法の制度、日和見感染や耐性菌、予防接種の理解。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	消毒法
学習目標・ポイント		各種消毒法の解説、消毒法の選び方を学ぶ
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	人口統計
学習目標・ポイント		人口動態統計と人口動態統計から、人口の推移や各種統計指標を学ぶ。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	成人保健と人口動態統計
学習目標・ポイント		死因別死亡率、年齢調整死亡率、生命表を理解し、成人保健の概要を学ぶ。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	母子保健と人口動態統計
学習目標・ポイント		出生率や乳児死亡率などの指標から母子保健対策を学ぶ。疾病統計を理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
11 項	目	疫学
学習目標・ポイント		記述疫学、分析疫学、介入疫学につき、各々の特徴と利用法を理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	精神保健
学習目標・ポイント		精神衛生保健法の概要を理解し、精神保健の意義を考える。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	産業保健と学校保健
学習目標・ポイント		労働安全衛生法・労働者災害補償保険法の概要を理解する。学校保健安全法を理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	環境保健1
学習目標・ポイント		騒音、振動、大気汚染、水質汚濁など日常生活環境を理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
15 項	目	環境保健2
学習目標・ポイント		有機塩素系化合物、有機金属汚染、放射線、地球温暖化などの環境破壊を理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(衛生)
担 当 教 員	上野 暁生
カリキュラム名	衛生学・公衆衛生学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	国家試験対策として公衆衛生学・衛生学の概要を復習し重要なポイントを押さえ理解する。特に国家試験で問われる感染症・病原微生物・消毒の分野と、保健統計、少子高齢化問題、医療行政について重点的に復習する。
到 達 目 標	医療人として最低限必要な保健衛生に関する知識を確認する。医療系国家試験の過去問題を理解し正答することができる。
成績評価方法及び基準	前期授業終了時には過去の国家試験 東洋医学概論の分野で8割以上の問題が正解出来る。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 専任教員として2の科目を担当 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1 項	目	保健衛生行政1
学習目標・ポイント		健康の定義、プライマリヘルスケア、疾病予防、健康日本21
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	保健衛生行政2
学習目標・ポイント		保健所及び市町村の業務、検診とスクリーニング、国民医療費、高齢者医療と介護
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	食品と健康
学習目標・ポイント		食生活と疾病、食事摂取基準、食品添加物、食中毒
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	人口統計
学習目標・ポイント		人口静態統計と人口動態統計
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	成人・高齢者保健と人口動態統計
学習目標・ポイント		死因別死亡率、年齢調整死亡率、生命表と平均余命
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	母子保健と人口動態統計
学習目標・ポイント		出生率、乳児死亡率、周産期死亡率、母子保健対策、疾病統計
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	感染症と病原微生物1
学習目標・ポイント		病原微生物、感染症法
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	感染症と病原微生物2
学習目標・ポイント		感染経路、日和見感染症、新興感染症、予防接種
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	消毒法
学習目標・ポイント		各種消毒法の解説と選び方
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	環境保健1
学習目標・ポイント		騒音、振動、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染など日常生活環境を理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
11 項	目	環境保健2
学習目標・ポイント		有機塩素系化合物、有機金属汚染、放射線、地球温暖化などの環境破壊を理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	疫学
学習目標・ポイント		記述疫学、分析疫学、介入疫学の違いを理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	精神保健
学習目標・ポイント		精神保健衛生と疾病統計、精神衛生保健法の概要、疾病の理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	労働保険
学習目標・ポイント		労働安全衛生法・労働者災害補償保険法の概要を理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
15 項	目	学校保健 授業内試験
学習目標・ポイント		学校保健の概要、確認試験
使用する材料		教科書、プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(医療概論)
担 当 教 員	濱田 さとみ
カリキュラム名	医療概論
単 位 数 (時 間 数)	1(15)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	法治国家においては、法律に基づいて法律の範囲内で業務を行うことになる。あはき法はあはきに関して最低ラインの衛生と健康を担保出来る大切な指針であり、義務であることを認識する。
到 達 目 標	あはき法を主体とし、その他医事法規、衛生関係法規、社会福祉法規、社会保険関係法規、個人情報保護法等についてその概略を勉強することにより、日本におけるあはきの位置づけを理解し卒業後の施術に活かせる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でるぽとでる間 共著出版

1 項	目	付録1 法と制度の沿革
学習目標・ポイント		現在の医療制度において、あはきのおかれている状況を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
2 項	目	1章 1,2,4,5,6節 免許行為1
学習目標・ポイント		何故、あはき業が行えるのかを理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
3 項	目	1章 1,2,4,5,6節 免許行為2)
学習目標・ポイント		何故、あはき業が行えるのかを理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
4 項	目	1章 3、7節 施術上の制限(1
学習目標・ポイント		施術所の名称や広告の制限など実際にあはきを業として行う上での理解を得る。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
5 項	目	1章 3、7節 施術上の制限(2
学習目標・ポイント		施術所の名称や広告の制限など実際にあはきを業として行う上での理解を得る。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
6 項	目	2章 1、2,3節 主な医療関係法規(1
学習目標・ポイント		各医療関係法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
7 項	目	2章 1、2,3節 主な医療関係法規2
学習目標・ポイント		各医療関係法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
8 項	目	2章 4節 主な医療関係法規 5節 薬事法規(1
学習目標・ポイント		各医療関係法規及び薬事法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
9 項	目	2章 4節 主な医療関係法規 5節 薬事法規2
学習目標・ポイント		各医療関係法規及び薬事法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
10 項	目	2章 6節 その他の主な医療・衛生法規(1
学習目標・ポイント		主に感染に関する法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
11 項	目	2章 6節 その他の主な医療・衛生法規2
学習目標・ポイント		主に感染に関する法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
12 項	目	2章 7,8節 主な社会福祉関係法規・社会保険関係法規1
学習目標・ポイント		社会福祉、社会保険の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
13 項	目	2章 7,8節 主な社会福祉関係法規・社会保険関係法規2
学習目標・ポイント		社会福祉、社会保険の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
14 項	目	2章 9節 その他の関係法規まとめ
学習目標・ポイント		あはき師には守秘義務があるが個人情報の取扱いの重要性を理解する。国家試験の過去問により総合的な理解を深める。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
15 項	目	まとめ 評価
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(関係法規)
担 当 教 員	濱田 さとみ
カリキュラム名	関係法規
単 位 数 (時 間 数)	1(15)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	法治国家においては、法律に基づいて法律の範囲内で業務を行うことになる。あはき法はあはきに関して最低ラインの衛生と健康を担保出来る大切な指針であり、義務であることを認識する。
到 達 目 標	あはき法を主体とし、その他医事法規、衛生関係法規、社会福祉法規、社会保険関係法規、個人情報保護法等についてその概略を勉強することにより、日本におけるあはきの位置づけを理解し卒業後の施術に活かせる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でるぽとでる問 共著出版

1 項	目	付録1 法と制度の沿革
学習目標・ポイント		現在の医療制度において、あはきのおかれている状況を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
2 項	目	1章 1,2,4,5,6節 免許行為1
学習目標・ポイント		何故、あはき業が行えるのかを理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
3 項	目	1章 1,2,4,5,6節 免許行為2)
学習目標・ポイント		何故、あはき業が行えるのかを理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
4 項	目	1章 3、7節 施術上の制限(1
学習目標・ポイント		施術所の名称や広告の制限など実際にあはきを業として行う上での理解を得る。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
5 項	目	1章 3、7節 施術上の制限(2
学習目標・ポイント		施術所の名称や広告の制限など実際にあはきを業として行う上での理解を得る。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
6 項	目	2章 1、2,3節 主な医療関係法規(1
学習目標・ポイント		各医療関係法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
7 項	目	2章 1、2,3節 主な医療関係法規2
学習目標・ポイント		各医療関係法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
8 項	目	2章 4節 主な医療関係法規 5節 薬事法規(1
学習目標・ポイント		各医療関係法規及び薬事法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
9 項	目	2章 4節 主な医療関係法規 5節 薬事法規2
学習目標・ポイント		各医療関係法規及び薬事法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
10 項	目	2章 6節 その他の主な医療・衛生法規(1
学習目標・ポイント		主に感染に関する法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
11 項	目	2章 6節 その他の主な医療・衛生法規2
学習目標・ポイント		主に感染に関する法規の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
12 項	目	2章 7,8節 主な社会福祉関係法規・社会保険関係法規1
学習目標・ポイント		社会福祉、社会保険の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
13 項	目	2章 7,8節 主な社会福祉関係法規・社会保険関係法規2
学習目標・ポイント		社会福祉、社会保険の概要を理解する。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
14 項	目	2章 9節 その他の関係法規まとめ
学習目標・ポイント		あはき師には守秘義務があるが個人情報の取扱いの重要性を理解する。国家試験の過去問により総合的な理解を深める。
使用する材料		テキスト、プリント
備考		
15 項	目	まとめ 評価
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	社会保障制度および職業倫理
担 当 教 員	濱田 さとみ
カ リ キ ュ ラ ム 名	社会保障制度および職業倫理
単 位 数（時 間 数）	1(15)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	「医の倫理」の歴史や思想について概観する。現代社会における多様な医療倫理問題を取り上げ、医療を職業と為す者としての道義的・法的責任を考える。日本の社会保障・社会保険制度を概説し、医療経済問題について理解を深める。介護保険制度については特に詳述する。
到 達 目 標	「医の倫理」の基本的な考え方について述べることができる。鍼灸師の職業倫理について理解し実践できる。日本の社会保障制度の概要、医療保健および介護保健について理解し説明できる。社会における鍼灸師の責務について自分なりの意見を持つことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学（脈管）、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でるぽとでる問 共著出版

1 項	目	日本の社会保障制度
学習目標・ポイント		社会保障制度概説、社会福祉、公費負担医療制度
使用する材料		プリント
備考		
2 項	目	日本の医療保険①
学習目標・ポイント		膨れ上がる国民医療費、医療保険の種類
使用する材料		プリント
備考		
3 項	目	日本の医療保険②
学習目標・ポイント		膨れ上がる国民医療費、医療保険の種類
使用する材料		プリント
備考		
4 項	目	特定健康診断・特定保健指導
学習目標・ポイント		メタボ検診
使用する材料		プリント
備考		
5 項	目	医療倫理1
学習目標・ポイント		「医の倫理」バイオエシックスの歴史
使用する材料		プリント
備考		
6 項	目	医療倫理2
学習目標・ポイント		脳死と臓器移植、終末期医療のあり方と安楽死・尊厳死問題、医療資源の配分
使用する材料		プリント
備考		
7 項	目	介護保険制度の現状と運用
学習目標・ポイント		改変を続ける介護保険制度について、内容を理解する
使用する材料		プリント
備考		
8 項	目	復習とレポート作成
学習目標・ポイント		興味を持った課題についてレポートを作成する
使用する材料		プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	経路経穴概論Ⅰ
担 当 教 員	松岡 憲二
カリキュラム名	経路経穴概論Ⅰ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	【授業目的】 一般に「ツボ＝穴」と呼ばれて親しまれている科目で、鍼灸治療を行う上で基本となります。その穴数は361穴あります。 一穴一穴の名前（経穴名）、部位（取り方）、ツボとツボを結んで出来る気血の通り道（経絡名）および五要穴（主要穴）を覚えて頂くことになります。2年生の前期終了時には、ツボの名前を聴くや「即座に所属経絡名と取穴部位が言える」という状態になるまで覚えて頂きます。 【授業概要】 * 別ページに記しました授業計画をもとに、1年生後期は「経絡経穴概論Ⅰ：15コマ」で学習します。 * ツボの名称（経穴名）、ツボの取り方（部位）、経穴間を結ぶ走行ルート（経絡名）および各経絡に存在する五要穴を説明します。 * 経脈（身体を縦に走る気血の通り道）は「14経脈」あります。1年生後期は体幹の前後正中を走行する督脈・任脈の2本と十二経脈の12本〔(1)～(12)〕と称される〔(1)手の太陰肺経～(6)手の太陽小腸経〕までの8経脈について学習します。 * 残る6経脈〔(7)足の太陽膀胱経～(12)足の厥陰肝経〕と奇穴および奇経八脈については、2年生の前期授業にて学習する予定です。
到 達 目 標	2年生の前期終了時には、全経穴において、ツボの名前を聴くや「即座に所属経絡名、取穴部位、五要穴が言える」という状態になるまで覚えて下さい。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験と授業内評価を合算して100%で行います。 * 前期授業終了時において単位認定試験（50%）、経穴呼吸（30%）、中間試験（20%）、受講態度・課題プリント（+α）、の総合評価で算出します。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	Ⅰ. 職務の内容（どのような職務に就いて、どのような役割を果たしたのか） 【経歴】大学を卒業後、昭和51年4月、明治鍼灸柔道整復専門学校 鍼灸科に入学、昭和53年9月卒業。はり師・きゅう師免許取得後、同校の附属治療所勤務として就職、はり師きゅう師専科教員課程（昭和57年）、明治鍼灸教員養成施設（昭和62年）を終了し、平成25年3月定年退職に至るまで36年間専任教員として勤務。以後、同校および平成医療学園専門学校の非常勤講師を行う傍ら、小さな治療院を開設して現在に至る。教員としての在任期間、「はり実技・きゅう実技・体表観察実技・取穴実技・局所解剖学・経絡経穴概論・鍼灸医学演習・経穴解剖学・鍼灸学特論・組織学実習」などの科目を担当。教員生活を通して、特に研究テーマとしたのは鍼灸医学の基礎とする経絡経穴で、昭和58年4月から昭和62年3月に至る4年間は 大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座の研究生として、以後数年は研修生として在籍し、経絡走行および経穴部における局所解剖構造の関連について研究した。 Ⅱ. 担当科目における教育上の業績および実務上の業績 全日本鍼灸学会経穴研究委員として、第54回全日本鍼灸学会学術大会（福岡）ワークショップⅡにおいて頭部から足部の各部所における「経絡走行と類似する解剖構造との関連」について報告し、全日本鍼灸学会学術雑誌に「経絡・経穴の解剖学的並びに臨床的検討」と題して掲載（2006.2.1）した。また刺鍼部位と局所の解剖構造について、共著「鍼灸師・柔整師のための局所解剖カラーアトラス」（南江堂）を出版した。また、東洋療法学校協会より教科書：新版「経絡経穴概論」の執筆委員の一人として依頼を頂き、図および解剖の箇所を担当した。執筆図書（共著）および出版物としては以下のものがある。 * 教科書：旧版「経絡経穴概論」東洋療法学校協会編……………医道の日本社 * 教科書：新版「経絡経穴概論」東洋療法学校協会編：初版（2009）～…医道の日本社 * 『鍼灸師・柔整師のための局所解剖アトラス』……………南江堂 * はり師・きゅう師国家試験問題解説集……………医道の日本社 * 経穴ツボ暗記カード……………アルテミシア その他、十数回にわたる学会発表・論文投稿、講演会講師などをさせて頂いた。

1 項 目	シラバスの説明、総論(1)*経脈・流注・経穴について
学習目標・ポイント	* 十二経脈の名称 * 十二経脈の流注の順番 * 暗唱すべき経穴 (361穴)
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
2 項 目	総論(2)*取穴法の基本
学習目標・ポイント	* 骨度法とは・・・ * 同身寸法とは・・・ * 奇経八脈の概念 * 督脈について
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
3 項 目	督脈①体表から触知出来る骨指標(棘突起・肩甲骨周辺の名称など)
学習目標・ポイント	* 督脈の経穴名と部位説明 [長強～大椎]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
4 項 目	督脈②任脈① * 体表から触知出来る指標(恥骨結合・臍・剣状突起など)
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明: [督脈: 痙門～齶交]、[任脈: 会陰～神闕(臍)]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
5 項 目	任脈②肺経① * 体表から触知出来る指標(鎖骨・胸骨・烏口突起など)
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明: [任脈: 水分～齶交] [肺経: 中府～雲門] * 骨度寸法の応用
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
6 項 目	手の太陰肺経②・五要穴について * 体表から観察出来る横紋・骨指標
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明: [肺経: 天府～少商] * 五要穴(原・郄・絡・募・俞) * 骨度寸法の応用
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
7 項 目	手の陽明大腸経①
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明 [商陽～肩髃] * 骨度寸法の応用
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
8 項 目	手の陽明大腸経②+足の陽明胃経①
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明⇒大腸経: [巨骨～迎香]、胃経: [承泣～頭維]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
9 項 目	足の陽明胃経②
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明⇒胃経: [人迎～天枢]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
10 項 目	【中間試験】(1コマ～8コマまでの内容)
学習目標・ポイント	※中間試験 + 足の陽明胃経③ * 経穴名と部位説明 ⇒ 胃経: [天枢～梁丘]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷

11 項 目	足の陽明胃経④ * 体表から触知出来る指標（膝関節～足関節周辺）
学 習 目 標・ポ イ ン ト	* 経穴名と部位説明 ⇒ 胃経：[梁丘～厲兌]
使 用 す る 材 料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備 考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
12 項 目	足の太陰脾経 ①
学 習 目 標・ポ イ ン ト	* 経穴名と部位説明 ⇒ 脾経：[隠白～衝門]
使 用 す る 材 料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備 考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
13 項 目	足の太陰脾経 ②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	* 経穴名と部位説明 ⇒ 脾経：[衝門～周栄]
使 用 す る 材 料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備 考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
14 項 目	手の少陰心経 ① * 経穴名と部位説明 ⇒ 心経：[極泉～少衝]
学 習 目 標・ポ イ ン ト	手の太陽小腸経 ① * 経穴名と部位説明 ⇒ 小腸経：[少沢～養老]
使 用 す る 材 料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備 考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷
15 項 目	手の太陽小腸経 ②
学 習 目 標・ポ イ ン ト	* 経穴名と部位説明 ⇒ 小腸経：[養老～聴宮]
使 用 す る 材 料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備 考	シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリント及び経穴暗唱カードの印刷配布。 次週、配布プリント印刷

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	経路経穴概論Ⅱ
担 当 教 員	松岡 憲二
カリキュラム名	経路経穴概論Ⅱ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	一般に「ツボ＝穴」と呼ばれて親しまれている科目で、鍼灸治療を行う上で基本となります。14経脈上に経穴数：361穴があり、各経脈の経絡名・経穴名・取穴部位・五要穴・五俞(行)穴を覚えて頂きます。2年生の前期(15コマ)において[足の太陽膀胱経～足の厥陰肝経]の6経脈について学習します。なお、夏季集中講義にて奇穴を学習します。
到 達 目 標	2年生の前期終了時には、全経穴において、ツボの名前を聴くや「即座に所属経絡名、取穴部位、各経絡の五要穴・五俞(行)穴が言える」という状態になるまで覚えて下さい。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	Ⅰ. 職務の内容(どのような職務に就いて、どのような役割を果たしたのか) 【経歴】大学を卒業後、昭和51年4月、明治鍼灸柔道整復専門学校 鍼灸科に入学、昭和53年9月卒業。はり師・きゅう師免許取得後、同校の附属治療所勤務として就職、はり師きゅう師専科教員課程(昭和57年)、明治鍼灸教員養成施設(昭和62年)を終了し、平成25年3月定年退職に至るまで36年間専任教員として勤務。以後、同校および平成医療学園専門学校の非常勤講師を行う傍ら、小さな治療院を開設して現在に至る。教員としての在任期間、「はり実技・きゅう実技・体表観察実技・取穴実技・局所解剖学・経絡経穴概論・鍼灸医学演習・経穴解剖学・鍼灸学特論・組織学実習」などの科目を担当。教員生活を通して、特に研究テーマとしたのは鍼灸医学の基礎とする経絡経穴で、昭和58年4月から昭和62年3月に至る4年間は 大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座の研究生として、以後数年は研修生として在籍し、経絡走行および経穴部における局所解剖構造の関連について研究した。 Ⅱ. 担当科目における教育上の業績および実務上の業績 全日本鍼灸学会経穴研究委員として、第54回全日本鍼灸学会学術大会(福岡)ワークショップⅡにおいて頭部から足部の各部所における「経絡走行と類似する解剖構造との関連」について報告し、全日本鍼灸学会学術雑誌に「経絡・経穴の解剖学的並びに臨床的検討」と題して掲載(2006.2.1)した。また刺鍼部位と局所の解剖構造について、共著「鍼灸師・柔整師のための局所解剖カラーアトラス」(南江堂)を出版した。また、東洋療法学校協会より教科書：新版「経絡経穴概論」の執筆委員の一人として依頼を頂き、図および解剖の箇所を担当した。執筆図書(共著)および出版物としては以下のものがある。 * 教科書：旧版「経絡経穴概論」東洋療法学校協会編・……医道の日本社 * 教科書：新版「経絡経穴概論」東洋療法学校協会編：初版(2009)～……医道の日本社 * 『鍼灸師・柔整師のための局所解剖アトラス』……南江堂 * はり師・きゅう師国家試験問題解説集……医道の日本社 * 経穴ツボ暗記カード……アルテミシア その他、十数回にわたる学会発表・論文投稿、講演会講師などをさせて頂いた。

1 項	目	* 足の太陽膀胱経の概要
学習目標・ポイント		足の太陽膀胱経 ① * 「晴明～天柱」の経穴名と各部位(取り方)の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
2 項	目	足の太陽膀胱経 ②
学習目標・ポイント		* 背部:膀胱経(一行線・二行線上)の経穴名と各取穴部位(取り方)の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
3 項	目	足の太陽膀胱経 ③
学習目標・ポイント		* 腰部から仙骨部「主に八髎穴」の経穴名と各取穴部位(取り方)の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
4 項	目	足の太陽膀胱経 ④
学習目標・ポイント		* 大腿後部から下腿後部「承扶穴～崑崙穴」の経穴名と各取穴部位の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
5 項	目	足の太陽膀胱経 ⑤ + 足の少陰腎経 ①
学習目標・ポイント		* 足部「崑崙穴～至陰」+「湧泉～照海」の経穴名と各取穴部位(取り方)の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
6 項	目	足の少陰腎経 ②
学習目標・ポイント		* 「照海～幽門」の経穴名と各取穴部位の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
7 項	目	足の少陰腎経 ③「幽門～臑府」 + 五俞(行)穴について
学習目標・ポイント		* 五俞(行)穴 [= 井・榮・俞・経・合] の意味と主治(役割)の説明 + 応用例
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
8 項	目	【中間試験】(範囲: 1コマ～7コマまでの範囲・内容 + 胸腹部全経穴)
学習目標・ポイント		手の厥陰心包経 ① * 「天池～中衝」の経穴名と各取穴部位の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
9 項	目	手の少陽三焦経 ①
学習目標・ポイント		* 「関衝～天井」の経穴名と各取穴部位の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
10 項	目	手の少陽三焦経 ②
学習目標・ポイント		* 「天井～翳風」の経穴名と各取穴部位の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
11 項	目	手の少陽三焦経 ③ + 足の少陽胆経 ①
学習目標・ポイント		* 「翳風～糸竹空」および「瞳子髎～曲髎」の経穴名と各取穴部位の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
12 項	目	足の少陽胆経 ②
学習目標・ポイント		* 「曲髎～風池」の経穴名と各部位の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
13 項	目	足の少陽胆経 ③ + 前期末試験概要説明
学習目標・ポイント		* 「風池～環跳」の経穴名と各部位の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
14 項	目	足の少陽胆経 ④
学習目標・ポイント		* 「環跳～足竅陰」の経穴名と各部位の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。
15 項	目	足の厥陰肝経 ①
学習目標・ポイント		* 「大敦～期門」の経穴名と各部位の説明
使用する材料		※教科書「新版:経絡経穴概論」、配布(自作)プリント・スライドプロジェクター
備考		※配布プリントの印刷を依頼する。

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	はりきゅう理論Ⅰ
担 当 教 員	赤井 昂平
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう理論Ⅰ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	鍼灸治療の概要を学ぶことを目的とする。鍼は鍼の種類、手技、刺鍼について、灸は艾の種類、施灸の種類について主に学習する。また、鍼灸治療についての刺激量、適応と限界、リスク管理について理解する。
到 達 目 標	鍼灸治療の概要、道具、リスク管理について説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ（筋） 解剖学Ⅲ（脈管） 臨床医学各論Ⅲ（外科・整形） はりきゅう理論Ⅰ 生体観察（触察解剖） 臨床実技Ⅲ 実務上の業績（臨床経験等） 2024年4月～2026年1月：医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項 目	第1章 概論
学習目標・ポイント	鍼灸施術の定義、鍼灸治療の特徴、鍼灸治療の定義と特徴を理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
2 項 目	第2章 鍼の基礎知識
学習目標・ポイント	鍼と鍼管、古代九鍼、毫鍼各部の名称、長さ、太さ、材質、特徴、について理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
3 項 目	第3章 刺鍼の方式と術式
学習目標・ポイント	刺鍼の方式と前揉、押手、刺手、切皮、刺入について理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
4 項 目	第4章 特殊鍼法
学習目標・ポイント	小児鍼、皮内鍼、灸頭鍼、低周波鍼通電など特殊な鍼法について理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
5 項 目	鍼の小テスト／鍼の臨床効果
学習目標・ポイント	第2～4章までの確認／鍼の効果の紹介、鍼療法の復習、鍼の効果を理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
6 項 目	第5章 灸の基礎知識
学習目標・ポイント	もぐさの品質と種類、線香、それぞれの製造法について理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
7 項 目	第6章 灸術の種類
学習目標・ポイント	有痕灸、無痕灸など灸の種類を理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
8 項 目	灸の小テスト／灸の臨床効果
学習目標・ポイント	第5～6章までの確認 灸の効果を理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
9 項 目	第7章 リスク管理
学習目標・ポイント	1.安全対策の基本／関連用語の定義／施術上の一般注意事項を理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
10 項 目	第7章 リスク管理
学習目標・ポイント	鍼施術の禁忌／灸施術の禁忌／2.感染対策(感染対策の基本、標準予防策①)を理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
11 項 目	第7章 リスク管理
学習目標・ポイント	2.感染対策(標準予防策②)／個人防護具／鍼刺しの予防／感染性廃棄物の処理を理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
12 項 目	第7章 リスク管理
学習目標・ポイント	施術野の消毒／施術器具の洗浄・消毒・滅菌／3.有害事象の種類と対処法①(鍼施術)を理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
13 項 目	第7章 鍼灸の臨床応用
学習目標・ポイント	3.有害事象の種類と対処法②(灸施術)を理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
14 項 目	リスク管理と臨床応用小テスト／臨床に応用する。
学習目標・ポイント	第7章の確認／リスク管理を理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	
15 項 目	第2～7章の要点を総復習
学習目標・ポイント	重要箇所を再度、理解する。
使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対はりきゅう
担 当 教 員	比嘉 翔平
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう理論Ⅱ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	国家試験対策として、国家試験に多く出題される内容を中心に過去問解説を通して、はりきゅうの基礎知識や治効理論の解説を行う。
到 達 目 標	国家試験対策授業のため、国家試験によく出題される問題を中心に8～9割をとれるようにする。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2024年4月～：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 2025年4月～：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表

1 項	目	第9章 鍼灸の治効基礎①
学習目標・ポイント		痛みの感覚受容と伝導について理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
2 項	目	第9章 鍼灸の治効基礎②
学習目標・ポイント		温度感覚の受容と伝導、触圧感覚の受容と伝導について理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
3 項	目	第9章 鍼灸の治効基礎③
学習目標・ポイント		鍼灸刺激と反射について理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
4 項	目	第9章 鍼灸の治効基礎④
学習目標・ポイント		鍼鎮痛について理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
5 項	目	第10章 鍼灸療法の一般治効理論①
学習目標・ポイント		鍼灸刺激による生体反応について理解する（鎮痛）
使用する材料		プリント・教科書
備考		
6 項	目	第10章 鍼灸療法の一般治効理論②
学習目標・ポイント		鍼灸刺激による生体反応について理解する（鎮痛）
使用する材料		プリント・教科書
備考		
7 項	目	第10章 鍼灸療法の一般治効理論③
学習目標・ポイント		鍼灸刺激による生体反応について理解する（反射）
使用する材料		プリント・教科書
備考		
8 項	目	第10章 鍼灸療法の一般治効理論④
学習目標・ポイント		鍼灸刺激による生体反応について理解する（反射）
使用する材料		プリント・教科書
備考		
9 項	目	第10章 鍼灸療法の一般治効理論⑤
学習目標・ポイント		鍼灸刺激による生体反応について理解する（炎症）
使用する材料		プリント・教科書
備考		
10 項	目	第10章 鍼灸療法の一般治効理論⑥
学習目標・ポイント		鍼灸刺激による生体反応について理解する（炎症）
使用する材料		プリント・教科書
備考		
11 項	目	第11章 関連学説
学習目標・ポイント		関連学説について要点を理解し、覚える。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
12 項	目	第1～7章 鍼灸の基礎知識の復習①
学習目標・ポイント		鍼の基礎知識について理解し、覚える。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
13 項	目	第1～7章 鍼灸の基礎知識の復習②
学習目標・ポイント		灸の基礎知識について理解し、覚える。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
14 項	目	問題演習①
学習目標・ポイント		模試や実力試験の問題について解説
使用する材料		プリント・教科書
備考		
15 項	目	問題演習②
学習目標・ポイント		模試や実力試験の問題について解説
使用する材料		プリント・教科書
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学概論Ⅰ
担 当 教 員	木場 宜子
カリキュラム名	東洋医学概論Ⅰ
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	現代医学は非常に進み我々はその恩恵を受けてきたが、その一方で「検査の結果、異常なし」など医療システムから外れた患者を孤独にする側面も持つ。東洋医学を基礎から学び理解することで、このような状態の患者に対して健康を取り戻し生活の質の改善を計ることができる。その力を養う。
到 達 目 標	①東洋医学の歴史を学ぶ。 ②陰陽・五行の考え方を理解し、陰陽、五行の指標を用いて人体を理解する。 ③生体物質と神（気血津液精 寒熱 虚実）について学ぶ。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価（小テストやレポート）を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 【実務実績】H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、令和8年現在に至るまで開業中 【学会実績】H19日本鍼灸史学会 『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 口頭発表 H20日本鍼灸史学会 『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 口頭発表 H21日本鍼灸史学会 『後藤流の灸法』 口頭発表 H22日本鍼灸史学会発表 『香川流の灸法』 口頭発表 H23日本鍼灸史学会 『名古屋玄医の灸法』 口頭発表 H24日本鍼灸史学会 『和田東郭の灸法』 口頭発表

1 項	目	東洋医学の沿革沿革
学習目標・ポイント		東洋医学・漢方・鍼灸の歴史①
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		歴史は日本と中国を比較しながら、時代の変化とともに発展した鍼灸について学ぶ。
2 項	目	東洋医学の沿革
学習目標・ポイント		東洋医学・漢方・鍼灸の歴史②
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		歴史は日本と中国を比較しながら、時代の変化とともに発展した鍼灸について学ぶ。
3 項	目	陰陽学説(第1章 2節の人体の見方を加えながらおこなう)
学習目標・ポイント		陰陽論の概念・陰陽互根・制約・消長・転化・陰陽の医学的応用
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		基本的な枠組み・ものさしとしての考え方を理解する。
4 項	目	五行学説
学習目標・ポイント		五行論の概念・五行・相生と相克・五行の色体表・五行の医学的応用
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		基本的な枠組み・ものさしとしての考え方を理解する。
5 項	目	五行学説
学習目標・ポイント		五行論の概念・五行・相生と相克・五行の色体表・五行の医学的応用
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		基本的な枠組み・ものさしとしての考え方を理解する。
6 項	目	東洋医学的治療
学習目標・ポイント		治療原則・古代九鍼(満城漢墓出土の金鍼・銀鍼)馬王堆漢墓医書・治療法(異法方宜論)
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		治療原則は2年でも学ぶので、概論のみ説明する。
7 項	目	生理物質(精・気・血・津液) 精
学習目標・ポイント		先天の精と後天の精・精の働きと病理・病態
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		精虚は腎虚でも学ぶので、病態を軽めにあとの部分を厚くする。
8 項	目	生理物質(気の生理)
学習目標・ポイント		原気・宗気・営気・衛気について・気的作用・気機
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		
9 項	目	生理物質(血の生理)
学習目標・ポイント		血の化生・血的作用
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		
10 項	目	生理物質(津液の生理)と生理物質の相互関係
学習目標・ポイント		津液の化生・津液的作用・津液の代謝・精と生理物質の相互関係
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		生理物質の相互関係はとても難しいので、この内容を11～13でも繰り返すこと。
11 項	目	気の病理
学習目標・ポイント		気虚・気陷・気脱・気鬱・気滞・気逆・(精と気・気と血・気と津液も目を通す)
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		生理の部分を思い出しながら、病態を理解できるようにする。
12 項	目	血の病理
学習目標・ポイント		血虚・血瘀・血熱・(精と血・気と血・血と津液)
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		
13 項	目	津液の病理
学習目標・ポイント		津液不足と湿・水・飲・痰・(津液と精・気と津液・血と津液)
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		
14 項	目	神
学習目標・ポイント		五神・五志・七情・神と生理物質の関係・神の病理
使用する材料		東洋医学概論・プリント
備考		今まで習った生理物質との関係とつながるように工夫する。
15 項	目	前期で習った分野を復習し、定期テスト対策を行う。
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学概論Ⅱ
担 当 教 員	木場 宜子
カリキュラム名	東洋医学概論Ⅱ
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	現代医学は非常に進み我々はその恩恵を受けてきたが、その一方で「検査の結果、異常なし」など医療システムから外れた患者を孤独にする側面も持つ。東洋医学を基礎から学び理解することで、このような状態の患者に対して健康を取り戻し生活の質の改善を計ることができる。その力を養う。
到 達 目 標	①五臓の生理機能・生理特性を理解する
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価（小テストやレポート）を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 【実務実績】H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、令和8年現在に至るまで開業中 【学会実績】H19日本鍼灸史学会 『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 口頭発表 H20日本鍼灸史学会 『家庭に於ける実際の看護の秘訣の鍼灸』 口頭発表 H21日本鍼灸史学会 『後藤流の灸法』 口頭発表 H22日本鍼灸史学会発表 『香川流の灸法』 口頭発表 H23日本鍼灸史学会 『名古屋玄医の灸法』 口頭発表 H24日本鍼灸史学会 『和田東郭の灸法』 口頭発表

1 項	目	蔵象
学習目標・ポイント		蔵象学説とは
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		前期の復習と共に始める。早く進めば、肝系統に入っていく
2 項	目	肝系統
学習目標・ポイント		肝系統とは・肝胆の生理・病理・病証
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		疏泄・蔵血・昇発・条達・関連領域・胆の生理
3 項	目	肝系統
学習目標・ポイント		肝系統とは・肝胆の生理・病理・病証
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		肝鬱気滞・肝血虚・肝陰虚・肝火上炎・肝陽上亢・肝胆湿熱
4 項	目	心系統
学習目標・ポイント		心系統とは・心小腸の生理・病理・病証
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		主血と神志、生理特性と関連領域・小腸の生理
5 項	目	心系統
学習目標・ポイント		心系統とは・小腸の生理・病理・病証
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		心気虚・心陽虚・心血虚・心陰虚・心火亢盛・心血瘀阻小腸実熱
6 項	目	脾系統
学習目標・ポイント		脾系統とは・脾胃の生理・病理・病証
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		運化・統血・昇清・喜燥惡質
7 項	目	脾系統
学習目標・ポイント		脾系統とは・脾胃の生理・病理・病証
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		脾気虚・脾陽虚・脾虚湿性・食滯胃脘・胃火上炎・胃陰虚・脾胃湿熱
8 項	目	肺系統
学習目標・ポイント		肺系統とは・肺大腸の生理・病理・病証
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		宣発・肅降・主気・華蓋・嬌臓
9 項	目	肺系統
学習目標・ポイント		肺系統とは・肺大腸の生理・病理・病証
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		肺気虚・肺陰虚・風寒犯肺風熱犯肺・痰湿阻肺・糟粕の伝化・大腸湿熱
10 項	目	腎系統
学習目標・ポイント		腎系統とは・腎膀胱の生理・病理・病証
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		蔵精・主水・納気・封蔵・陰陽の根本・膀胱の生理
11 項	目	腎系統
学習目標・ポイント		腎系統とは・腎膀胱の生理・病理・病証
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		腎精不足・腎気虚・腎陽虚・腎陰虚・膀胱湿熱・
12 項	目	三焦
学習目標・ポイント		三焦の生理作用・部位・機能面でみる三焦
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		このコマで余った時間を利用して、蔵象のまとめを行う
13 項	目	六腑の協調関係 全身の気機
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
14 項	目	臓と臓のつながり
学習目標・ポイント		臓と臓は表裏関係、相克関係、相生関係で繋がっていることを理解し病機を理解できるようにする
使用する材料		東洋医学概論教科書・プリント
備考		
15 項	目	テスト対策まとめ授業
学習目標・ポイント		授業の総まとめ
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学概論Ⅲ
担 当 教 員	木場 宜子
カリキュラム名	東洋医学概論Ⅲ
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	現代医学は非常に進み我々はその恩恵を受けてきたが、その一方で「検査の結果、異常なし」など医療システムから外れた患者を孤独にする側面も持つ。東洋医学を基礎から学び理解することで、このような状態の患者に対して健康を取り戻し生活の質の改善を計ることができる。その力を養う。
到 達 目 標	四診を学ぶ。 舌理、脈理を学ぶ。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価（小テストやレポート）を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 【実務実績】H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、令和8年現在に至るまで開業中 【学会実績】H19日本鍼灸史学会 『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 口頭発表 H20日本鍼灸史学会 『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 口頭発表 H21日本鍼灸史学会 『後藤流の灸法』 口頭発表 H22日本鍼灸史学会発表 『香川流の灸法』 口頭発表 H23日本鍼灸史学会 『名古屋玄医の灸法』 口頭発表 H24日本鍼灸史学会 『和田東郭の灸法』 口頭発表

1 項 目	五臓の相互関係 復習
学習目標・ポイント	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
使用する材料	有神・無神・仮神、五色、形、態、舌(正常舌・舌神・舌色・舌形・舌態・舌苔(苔色・苔質))
備考	
2 項 目	四診(望診)
学習目標・ポイント	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
使用する材料	有神・無神・仮神、五色、形、態、舌(正常舌・舌神・舌色・舌形・舌態・舌苔(苔色・苔質))
備考	
3 項 目	四診(望診)
学習目標・ポイント	舌診(正常舌・舌神・舌色・舌形・舌態・舌苔(苔色・苔質))
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
4 項 目	四診(望診)
学習目標・ポイント	舌診(正常舌・舌神・舌色・舌形・舌態・舌苔(苔色・苔質))
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
5 項 目	四診(望診)
学習目標・ポイント	舌診(正常舌・舌神・舌色・舌形・舌態・舌苔(苔色・苔質))
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
6 項 目	四診(聞診)
学習目標・ポイント	声診、五音、五声、呼吸、発語、異常音、気味)
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
7 項 目	四診(聞診)
学習目標・ポイント	声診、五音、五声、呼吸、発語、異常音、気味)
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
8 項 目	四診(問診)
学習目標・ポイント	主訴、寒熱、飲食、睡眠、二便、情志・その他(五官・頭部・汗・疼痛・月経など)
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
9 項 目	四診(問診)
学習目標・ポイント	主訴、寒熱、飲食、睡眠、二便、情志・その他(五官・頭部・汗・疼痛・月経など)
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
10 項 目	四診(問診)
学習目標・ポイント	主訴、寒熱、飲食、睡眠、二便、情志・その他(五官・頭部・汗・疼痛・月経など)
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
11 項 目	四診(問診)
学習目標・ポイント	主訴、寒熱、飲食、睡眠、二便、情志・その他(五官・頭部・汗・疼痛・月経など)
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
12 項 目	四診(切診)
学習目標・ポイント	脈診(寸口診法・脈状診)祖脈、平脈、六部定位脈診、按診、腹診 四診合参
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
13 項 目	四診(切診)
学習目標・ポイント	脈診(寸口診法・脈状診)祖脈、平脈、六部定位脈診、按診、腹診 四診合参
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
14 項 目	四診(切診)
学習目標・ポイント	脈診(寸口診法・脈状診)祖脈、平脈、六部定位脈診、按診、腹診 四診合参
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	
15 項 目	四診(切診)
学習目標・ポイント	脈診(寸口診法・脈状診)祖脈、平脈、六部定位脈診、按診、腹診 四診合参
使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学概論Ⅳ
担 当 教 員	木場 宜子
カリキュラム名	東洋医学概論Ⅳ
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	現代医学は非常に進み我々はその恩恵を受けてきたが、その一方で「検査の結果、異常なし」など医療システムから外れた患者を孤独にする側面も持つ。東洋医学を基礎から学び理解することで、このような状態の患者に対して健康を取り戻し生活の質の改善を計ることができる。その力を養う。
到 達 目 標	①刺法②針灸の補瀉③難経六十九難、七十五難④治法⑤治療原則
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価（小テストやレポート）を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 指示のない限り携帯を授業中みるのは禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 【実務実績】H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、令和8年現在に至るまで開業中 【学会実績】H19日本鍼灸史学会 『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 口頭発表 H20日本鍼灸史学会 『家庭に於ける実際の看護の秘訣の鍼灸』 口頭発表 H21日本鍼灸史学会 『後藤流の灸法』 口頭発表 H22日本鍼灸史学会発表 『香川流の灸法』 口頭発表 H23日本鍼灸史学会 『名古屋玄医の灸法』 口頭発表 H24日本鍼灸史学会 『和田東郭の灸法』 口頭発表

1 項	目	弁証
学習目標・ポイント		八綱病証
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		表裏間熱虚実陰陽
2 項	目	弁証
学習目標・ポイント		八綱病証
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		表裏間熱虚実陰陽
3 項	目	弁証
学習目標・ポイント		経絡弁証・六淫弁証・六経弁証
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
4 項	目	弁証
学習目標・ポイント		経絡弁証・六淫弁証・六経弁証
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
5 項	目	弁証
学習目標・ポイント		衛気営血弁証・三焦弁証
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
6 項	目	弁証
学習目標・ポイント		衛気営血弁証・三焦弁証
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
7 項	目	弁証
学習目標・ポイント		六淫弁証
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
8 項	目	弁証
学習目標・ポイント		六経弁証
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
9 項	目	標本・主客・論治 治則
学習目標・ポイント		扶正祛邪・治病求本・標本同治・陰陽の調整・正治と反治
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
10 項	目	論治 治法
学習目標・ポイント		治法八法・生理物質の病証に帯する治法・臓腑病証に対する治法・外感病に対する治法
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
11 項	目	論治 治法
学習目標・ポイント		治法八法・生理物質の病証に帯する治法・臓腑病証に対する治法・外感病に対する治法
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
12 項	目	鍼灸の補瀉と取穴の補瀉
学習目標・ポイント		鍼と灸の手法の補瀉と六十九難
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
13 項	目	選穴の原則
学習目標・ポイント		局所取穴・遠隔取穴・循経取穴・特定穴
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		前コマの六十九難の取穴の補瀉を少し確認する
14 項	目	刺法
学習目標・ポイント		九刺・十二刺・五刺
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		
15 項	目	弁証論治の進め方と証の決定
学習目標・ポイント		
使用する材料		東洋医学概論の教科書・プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	触察解剖
担 当 教 員	赤井 昂平
カ リ キ ュ ラ ム 名	生体観察
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	触診によって、体表から観察できる構造の位置を探し出すことと構造の特徴に気づく
到 達 目 標	取穴に必要なランドマークを体表から確認し、触診できる知識と技術を習得する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ(筋) 解剖学Ⅲ(脈管) 臨床医学各論Ⅲ(外科・整形) はりきゅう理論Ⅰ 生体観察(触察解剖) 臨床実技Ⅲ 実務上の業績(臨床経験等) 2024年4月～2026年1月:医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項 目	授業の説明および注意事項・体表解剖（総論）
学 習 目 標・ポイント	評価方法の説明、触診について
使 用 す る 材 料	
備 考	
2 項 目	頭顔面部の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
3 項 目	体幹前面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
4 項 目	体幹前面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
5 項 目	体幹後面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
6 項 目	体幹後面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
7 項 目	上肢前面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
8 項 目	上肢前面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
9 項 目	上肢後面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
10 項 目	上肢後面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
11 項 目	下肢前面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
12 項 目	下肢前面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
13 項 目	下肢後面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
14 項 目	下肢後面の触察
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。
15 項 目	下肢後面の触察、実技試験
学 習 目 標・ポイント	身体刺鍼の際、適格に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使 用 す る 材 料	水生マーカー、タックシール
備 考	軽装になれるように用意しておく。

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	(運動学・各論・リハ)演習
担 当 教 員	西浦 絵美／迫 宏典
科 目 名 (中 項 目)	はりきゅうの適応判断
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	現代医学における鍼灸治療適応疾患に関する知識を養う。
到 達 目 標	臨床において患者の主訴が鍼灸適応であるのか、判断できる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意	『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	西浦 絵美 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。 迫 宏典 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在に至る) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在に至る) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年)

1 項 目	頭痛の鍼灸適応
学習目標・ポイント	頭痛での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
2 項 目	顔面痛の鍼灸適応
学習目標・ポイント	顔面痛での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
3 項 目	顔面麻痺の鍼灸適応
学習目標・ポイント	顔面麻痺での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
4 項 目	歯痛・眼精疲労の鍼灸適応
学習目標・ポイント	歯痛・眼精疲労での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
5 項 目	鼻閉・鼻汁・脱毛症の鍼灸適応
学習目標・ポイント	鼻閉・鼻汁・脱毛症での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
6 項 目	耳鳴・難聴の鍼灸適応
学習目標・ポイント	耳鳴・難聴での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
7 項 目	咳嗽・喘息・胸痛の鍼灸適応
学習目標・ポイント	咳嗽・喘息・胸痛での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
8 項 目	腹痛・悪心と嘔吐の鍼灸適応
学習目標・ポイント	腹痛・悪心と嘔吐での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
9 項 目	便秘と下痢・月経異常の鍼灸適応
学習目標・ポイント	便秘と下痢・月経異常での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
10 項 目	肩こり・頸肩腕痛の鍼灸適応
学習目標・ポイント	肩こり・頸肩腕痛での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
11 項 目	肩関節痛・上肢痛の鍼灸適応
学習目標・ポイント	肩関節痛・上肢痛での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
12 項 目	腰下肢痛・膝痛の鍼灸適応
学習目標・ポイント	腰下肢痛・膝痛での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
13 項 目	運動麻痺の鍼灸適応
学習目標・ポイント	運動麻痺での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
14 項 目	疲労・倦怠感の鍼灸適応
学習目標・ポイント	疲労・倦怠感での鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	
15 項 目	老年・高齢者に対する鍼灸適応
学習目標・ポイント	老年・高齢者に対する鍼灸が適応と場合と治療について
使用する材料	プリント・教科書（東洋医学臨床論）
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(病理)
担 当 教 員	内野 容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	病態生理学
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	2年次に学習した内容をもう一度復習し、国家試験に合格できる知識を養う。
到 達 目 標	各病態の定義や分類を知り、その代表疾患について理解する。 国家試験に出題されている重要項目についての知識を得る。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 前期末試験80%＋平常点(提出物・出席)20%の計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。

1 項	目	腫瘍 1.腫瘍の一般
学習目標・ポイント		良性腫瘍と悪性腫瘍の違いについて理解する 組織学的悪性度の評価について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	腫瘍 1.腫瘍の一般
学習目標・ポイント		発癌因子について、転移の種類について、腫瘍マーカーについて理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	腫瘍 2.腫瘍の各論 3.癌の影響
学習目標・ポイント		腫瘍の各論、癌の生体に及ぼす影響について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	炎症 1.炎症の一般
学習目標・ポイント		炎症の仕組みについて理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	炎症 2.炎症担当細胞
学習目標・ポイント		炎症に関わる各細胞の働きについて理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	炎症 3.炎症の分類
学習目標・ポイント		各炎症分類と代表疾患を理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	免疫異常・アレルギー 1.液性免疫と細胞性免疫 2.アレルギー
学習目標・ポイント		
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	病因 1.内因
学習目標・ポイント		素因(年齢、性、体質、遺伝)、内分泌について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	病因 2.外因
学習目標・ポイント		栄養の不足と過剰、物理的病因について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	病因 2.外因 先天性異常 1.総論
学習目標・ポイント		化学的病因、生物的要因について理解する 遺伝子異常、染色体異常、環境因子による異常を理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		

11 項	目	先天性異常 循環障害 1.充血とうっ血 2.貧血と虚血
学習目標・ポイント		遺伝子異常、染色体異常、環境因子による異常を理解する 先天性自己免疫疾患、後天性自己免疫疾患について理解する 充血とうっ血の違いについて理解する 神経性貧血と閉塞性貧血、圧迫性貧血について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	循環障害 3.出血 4.塞栓症
学習目標・ポイント		出血の種類について理解する 静脈性塞栓症と動脈性塞栓症について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	循環障害 5.梗塞 6.浮腫・水腫
学習目標・ポイント		貧血性梗塞と出血性梗塞について理解する 浮腫・水腫の原因について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	退行性病変 萎縮・変性・壊死と死 評価試験
学習目標・ポイント		萎縮の分類と代表疾患を理解する 変性の分類と代表疾患を理解する 壊死と死、アポトーシスの違いを理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
15 項	目	進行性病変肥大と増殖、再生、化生、移植、創傷治癒、異物の処理
学習目標・ポイント		肥大と増殖の違いについて理解する 再生能力による分類を理解する 化生について理解する 移植の種類と拒絶反応について理解する 創傷治癒の過程、異物の処理方法について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学臨床論Ⅰ
担 当 教 員	比嘉 翔平
カリキュラム名	東洋医学臨床論Ⅰ
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	臨床での遭遇頻度が高い疾患の病態・徒手検査・治療方針を理解する。また、鍼灸治療の適応判断および治療に伴う配穴を考えることができる。
到 達 目 標	西洋医学的な病態・徒手検査が理解できる。また、自ら疾患に対する徒手検査を考えることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ 教務（授業） 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で試験（70%）、小テスト（20%）、授業内評価（10%）を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3 受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2024年4月～：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 2025年4月～：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表

1 項	目	肩関節痛①
学習目標・ポイント		肩関節痛を引き起こす疾患の病態・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		肩こり、肩関節周囲炎（五十肩、腱板炎、上腕二頭筋長頭腱炎、インピンジメント症候群）
2 項	目	肩関節痛②
学習目標・ポイント		頸、肩周囲の骨・筋の理解。肩関節痛を引き起こす疾患の病態・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		肩関節周囲炎（五十肩、腱板炎、上腕二頭筋長頭腱炎、インピンジメント症候群）
3 項	目	肩関節痛③
学習目標・ポイント		頸、肩周囲の骨・筋の理解。肩関節痛を引き起こす疾患の病態・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		肩関節周囲炎（五十肩、腱板炎、上腕二頭筋長頭腱炎、インピンジメント症候群）
4 項	目	腰痛①
学習目標・ポイント		腰椎の形態、周囲の筋肉の理解。腰痛の鑑別ができ、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		筋筋膜性腰痛、椎間関節性腰痛、変形性脊椎症
5 項	目	腰痛②
学習目標・ポイント		腰椎の形態、周囲の筋肉の理解。腰痛の鑑別ができ、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		筋筋膜性腰痛、椎間関節性腰痛、変形性脊椎症
6 項	目	腰下肢痛①
学習目標・ポイント		腰椎の形態、周囲の筋肉の理解。腰痛の鑑別ができ、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎分離すべり症
7 項	目	腰下肢痛②
学習目標・ポイント		腰椎の形態、周囲の筋肉の理解。腰痛・腰下肢痛の鑑別ができ、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎分離すべり症
8 項	目	腰下肢痛③
学習目標・ポイント		腰椎の形態、周囲の筋肉の理解。腰痛・腰下肢痛の鑑別ができ、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		腰部脊柱管狭窄症、閉塞性動脈硬化症
9 項	目	頸肩腕痛①
学習目標・ポイント		頸椎の形態、周囲の筋肉の理解、頸肩腕の鑑別ができ、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		変形性頸椎症、頸部脊柱管狭窄症、頸椎椎間板ヘルニア
10 項	目	頸肩腕痛②
学習目標・ポイント		頸椎の形態、周囲の筋肉の理解、頸肩腕の鑑別ができ、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		変形性頸椎症、頸部脊柱管狭窄症、頸椎椎間板ヘルニア
11 項	目	膝痛①
学習目標・ポイント		膝周囲の骨・筋肉・靱帯の理解。膝痛の鑑別、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		変形性膝関節症、腸脛靱帯炎、膝蓋靱帯炎、鵞足炎
12 項	目	膝痛②
学習目標・ポイント		膝周囲の骨・筋肉・靱帯の理解。膝痛の鑑別、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		変形性膝関節症、腸脛靱帯炎、膝蓋靱帯炎、鵞足炎
13 項	目	下肢痛①
学習目標・ポイント		下肢の骨・筋肉・靱帯等の深部組織の理解。膝痛の鑑別、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		脛骨神経障害、腓骨神経障害、梨状筋症候群、坐骨神経痛、ハンター管症候群
14 項	目	下肢痛②
学習目標・ポイント		下肢の骨・筋肉・靱帯等の深部組織の理解。膝痛の鑑別、病態・症状・徒手検査を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		脛骨神経障害、腓骨神経障害、梨状筋症候群、坐骨神経痛、ハンター管症候群
15 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		単位認定試験に向けて確認を行う。
使用する材料		プリント・教科書
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学臨床論Ⅱ
担 当 教 員	比嘉 翔平
カリキュラム名	東洋医学臨床論Ⅱ
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	臨床での遭遇頻度が高い疾患の病態・徒手検査・治療方針を理解する。また、鍼灸治療の適応判断および治療に伴う配穴を考えることができる。
到 達 目 標	前期授業終了時には西洋医学的な病態・徒手検査、配穴が理解できている。 自ら疾患に対する徒手検査・治療法（配穴）を考えることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ 教務（授業） 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で試験（70%）、小テスト（20%）、授業内評価（10%）を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3 受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～ 2024年4月～ 2025年4月～ ：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 ：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 ：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～ ：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表

1 項	目	前年度の復習
学習目標・ポイント		前年度の授業内容について、どのくらい身につけているのか確認する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
2 項	目	運動器疾患①
学習目標・ポイント		前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
3 項	目	運動器疾患②
学習目標・ポイント		前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
4 項	目	運動器疾患③
学習目標・ポイント		前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
5 項	目	運動器疾患④
学習目標・ポイント		前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
使用する材料		プリント・教科書
備考		スポーツ外傷(上肢)
6 項	目	運動器疾患⑤
学習目標・ポイント		前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
使用する材料		プリント・教科書
備考		スポーツ外傷(下肢)
7 項	目	頭痛
学習目標・ポイント		頭痛の鑑別ができ、病態・症状を理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		筋収縮性頭痛、片頭痛、緊張性頭痛、群発性頭痛
8 項	目	顔面痛・顔面神経麻痺
学習目標・ポイント		顔面痛・顔面神経麻痺の鑑別ができ、病態・症状を理解し治療法を考えられる。
使用する材料		プリント・教科書
備考		三叉神経痛、末梢性顔面神経麻痺、中枢性顔面神経麻痺
9 項	目	めまい・耳鳴り・難聴
学習目標・ポイント		内耳の血流障害について理解できる。病態を把握し治療方針を考えられる。
使用する材料		プリント・教科書
備考		メニエール病、突発性難聴、良性発作性頭位めまい症、前庭神経炎、聴神経鞘腫
10 項	目	歯痛、眼精疲労、鼻閉鼻汁、脱毛
学習目標・ポイント		病態・症状を理解し治療方針を考えられる。
使用する材料		プリント・教科書
備考		
11 項	目	咳嗽・喘息・胸痛
学習目標・ポイント		喘息、胸痛の病態・症状を理解する。また重篤症状、刺入深度についても理解する。
使用する材料		プリント・教科書
備考		気胸、喘息、肋間神経痛
12 項	目	腹痛・悪心嘔吐・便秘・下痢
学習目標・ポイント		腹部の疾患を理解し、鑑別ができる。
使用する材料		プリント・教科書
備考		胃炎、胃痙攣、GERD、便秘の3分類と治療、過敏性腸症候群
13 項	目	排尿障害
学習目標・ポイント		排尿異常の機序の理解、排尿障害の疾患の理解・鑑別・治療方針が考えられる。
使用する材料		プリント・教科書
備考		前立腺炎、神経因性膀胱、過活動膀胱、膀胱炎
14 項	目	月経異常・更年期障害
学習目標・ポイント		女性疾患全般の理解、鍼灸治療について理解できる。
使用する材料		プリント・教科書
備考		子宮内膜症、PMS、月経過多
15 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		単位認定試験に向けて確認を行う。
使用する材料		プリント・教科書
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学臨床論Ⅲ
担 当 教 員	上野 暁生
カリキュラム名	東洋医学臨床論Ⅲ
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	鍼灸師が臨床上遭遇しやすい疾患の東洋医学的な病態、配穴を理解する。その他以下の内容も理解する。 ・鍼灸治療適応か否か、注意すべき(病院受診を促すべき)疾患の理解。 ・後期は東洋医学的な病態(弁証論治)、配穴に重点を置く。
到 達 目 標	後期授業終了時には東洋医学的な病態(弁証論治)配穴が理解出来ている。 疾患に対し自らに弁証論治を行い、治療法(配穴)を考えることが出来る。
成績評価方法及び基準	前期単位認定試験の試験結果、出席状況、授業態度などを総合的に勘案し評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1 項	目	東洋医学概論の復習
学習目標・ポイント		東洋医学概論の授業内容についてどのくらい身に付いているのか確認
使用する材料		プリント・教科書
備考		
2 項	目	東洋医学概論の復習
学習目標・ポイント		東洋医学概論の授業内容についてどのくらい身に付いているのか確認
使用する材料		プリント・教科書
備考		
3 項	目	東洋医学概論の復習
学習目標・ポイント		東洋医学概論の授業内容についてどのくらい身に付いているのか確認
使用する材料		プリント・教科書
備考		
4 項	目	肩こり
学習目標・ポイント		肩こりの東洋医学的分類を理解し鑑別できる。風寒邪、肝血虚、寒飲、気滞血瘀
使用する材料		プリント・教科書
備考		
5 項	目	腰痛
学習目標・ポイント		腰痛の3つの東洋医学的タイプの症状を理解し治療ができる。気滞血瘀、寒湿邪、腎気虚、腎陽虚、肝腎陰虚
使用する材料		プリント・教科書
備考		
6 項	目	頭痛①
学習目標・ポイント		頭痛の東洋医学的考え方の分類を理解し鑑別できる。また治療穴を考え配穴ができる。外感性の頭痛、肝火上炎、肝陽上亢
使用する材料		プリント・教科書
備考		
7 項	目	頭痛②
学習目標・ポイント		頭痛の東洋医学的考え方の分類を理解し鑑別できる。また治療穴を考え配穴ができる。気血両虚、痰濁、腎虚、瘀血
使用する材料		プリント・教科書
備考		
8 項	目	痺証①(関節痛)
学習目標・ポイント		痺証について理解できる。痺証の分類ができる。行痺、着痺、痛痺、熱痺
使用する材料		プリント・教科書
備考		
9 項	目	痺証②
学習目標・ポイント		痺証について理解できる。痺証型か否か鑑別できる。肝腎陰虚、腎陽虚、骨痺
使用する材料		プリント・教科書
備考		
10 項	目	悪心、嘔吐
学習目標・ポイント		東洋医学的考え方の分類を理解し鑑別できる。気虚便秘、血虚便秘、胃熱による便秘、気滞便秘、肝脾不和、脾胃陽虚
使用する材料		プリント・教科書
備考		
11 項	目	食欲不振
学習目標・ポイント		食欲不振の東洋医学的分類を理解し鑑別できる。胃陰虚、脾胃湿熱
使用する材料		プリント・教科書
備考		
12 項	目	便秘
学習目標・ポイント		便秘の分類を理解し鑑別が出来る。主な病証を理解し治療が出来る。熱秘、氣秘、虚秘、冷秘
使用する材料		プリント・教科書
備考		
13 項	目	下痢
学習目標・ポイント		下痢の分類を理解し鑑別が出来る。主な病証を理解し治療が出来る。外邪、傷食、肝鬱、脾胃虚弱、腎陽虚
使用する材料		プリント・教科書
備考		
14 項	目	月経異常
学習目標・ポイント		奇形八脈についての理解。月経異常の分類を理解し鑑別出来る。経早、経遅、経乱
使用する材料		プリント・教科書
備考		
15 項	目	全範囲のまとめ
学習目標・ポイント		単位認定試験に向けて確認を行う
使用する材料		プリント・教科書
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(東概)
担 当 教 員	上野 暁生
カリキュラム名	東洋医学臨床論Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	国家試験で過去に出てきた東洋医学概論の出題ポイントを暗記する。
到 達 目 標	前期授業終了時には過去の国家試験 東洋医学概論の分野で8割以上の問題が正解出来る。
成績評価方法及び基準	前期単位認定試験の試験結果、出席状況、授業態度などを総合的に勘案し評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 専任教員として2の科目を担当 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1 項 目	東洋医学の基礎（東洋医学の特色、陰陽五行論）
学習目標・ポイント	陰陽、五行論の問題演習・解説、五行色体表を覚える。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
2 項 目	気血津液の生理、病証
学習目標・ポイント	気血津液の問題演習・解説、気血津液の病証を覚える。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
3 項 目	六臓六腑、五臓病証
学習目標・ポイント	蔵象を確実に覚える。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
4 項 目	臟腑経絡論、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証
学習目標・ポイント	経絡の流れを考えながら、どのような症状がでるかを理解。臟腑経絡論、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証の問題演習・解説、気血津液の病証を覚える。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
5 項 目	病因論（内因、外因、不内外因）
学習目標・ポイント	内因、外因、不内外因の特徴を理解。内因、外因、不内外因の問題演習・解説。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
6 項 目	病理と病証（八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証①）
学習目標・ポイント	八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証を覚える。八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証の問題演習・解説。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
7 項 目	病理と病証（八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証①）
学習目標・ポイント	八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証を覚える。八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証の問題演習・解説。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
8 項 目	病理と病証（五臓六腑の病理病証②、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証）
学習目標・ポイント	五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証を覚える。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
9 項 目	病理と病証（五臓六腑の病理病証②、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証）
学習目標・ポイント	五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証を覚える。五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証の問題演習・解説。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
10 項 目	東洋医学的診察法と証の立て方（四診法）
学習目標・ポイント	四診によって得られる情報から、治療法が浮かぶようにする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
11 項 目	東洋医学的診察法と証の立て方（四診法）
学習目標・ポイント	四診によって得られる情報から、治療法が浮かぶようにする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
12 項 目	東洋医学的診察法と証の立て方（四診法）
学習目標・ポイント	四診によって得られる情報から、治療法が浮かぶようにする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
13 項 目	治療法
学習目標・ポイント	刺法、治療原則を理解する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
14 項 目	治療法
学習目標・ポイント	刺法、治療原則を理解する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
15 項 目	総復習
学習目標・ポイント	前期にて行った範囲を過去問、合同模試、実力試験の問題を使用し、復習を行う
使用する材料	教科書、プリント
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(経穴)
担 当 教 員	濱田 さとみ
カリキュラム名	東洋医学臨床応用 I
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	はり師・きゅう師国家試験の過去問を中心に演習を進め、必要に応じて講義を行う。 第29回はり師・きゅう師国家試験から問題数の改変に伴い、経絡経穴概論の問題数も増えたため、出題傾向を踏まえ、点数を取れるようにする。
到 達 目 標	経絡経穴概論の正答率が70%以上獲得できるようにする。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でるポとでる問 共著出版

1 項 目	正経十二経脈、要穴、奇経八脈について
学習目標・ポイント	正経十二経脈、要穴、奇経八脈の要点を把握する
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
2 項 目	取穴について
学習目標・ポイント	要穴を中心とした取穴部位を把握する
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
3 項 目	1～2コマで実施した内容の小テスト、過去問
学習目標・ポイント	小テストにて把握できているか確認をする
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	小テスト:10パーセント評価
4 項 目	督脈、任脈、手の太陰肺経、手の陽明大腸経について
学習目標・ポイント	督脈、任脈、手の太陰肺経、手の陽明大腸経の経穴・取穴・解剖学的部位を把握する
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
5 項 目	足の陽明胃経、足の太陰脾経、手の少陰心経、手の太陽小腸経について
学習目標・ポイント	足の陽明胃経、足の太陰脾経、手の少陰心経、手の太陽小腸経の経穴・取穴・解剖学的部位を把握する
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
6 項 目	4～5コマで実施した内容の小テスト、過去問
学習目標・ポイント	小テストにて把握できているか確認をする
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	小テスト:10パーセント評価
7 項 目	足の太陽膀胱経、足の少陰腎経、手の厥陰心包経、手の少陽三焦経について
学習目標・ポイント	足の太陽膀胱経、足の少陰腎経、手の厥陰心包経、手の少陽三焦経の経穴・取穴・解剖学的部位を把握する
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
8 項 目	足の少陽胆経、足の厥陰肝経、要穴
学習目標・ポイント	足の少陽胆経、足の厥陰肝経の経穴・取穴・解剖学的部位を把握する。また1～6の総復習を実施する
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
9 項 目	7～8コマで実施した内容の小テスト、過去問
学習目標・ポイント	小テストにて把握できているか確認をする
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	小テスト:10パーセント評価
10 項 目	要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について
学習目標・ポイント	過去問を中心に要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について復習をする。(過去問を中心に)
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
11 項 目	要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について
学習目標・ポイント	過去問を中心に要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について復習をする。(過去問を中心に)
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
12 項 目	要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について
学習目標・ポイント	過去問を中心に要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について復習をする。
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
13 項 目	10～12コマで実施した内容の小テスト、過去問
学習目標・ポイント	小テストにて把握できているか確認をする
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	小テスト:10パーセント評価
14 項 目	確認問題
学習目標・ポイント	1～12コマで実施した内容の確認問題を解くことで自身の苦手項目を把握する
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
15 項 目	過去問のまとめ
学習目標・ポイント	前期単位認定試験に向け、ランダムに選んだ過去問を解くことで実力を図る。
使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対（東臨）
担 当 教 員	比嘉 翔平
カリキュラム名	東洋医学臨床応用Ⅱ
単 位 数（時間数）	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	国家試験対策として、国家試験に多く出題される東臨の基礎知識や理論に関して、過去問題によく出題される内容を過去問を中心に解説していく。
到 達 目 標	国試対策授業のため、国試によく出題される問題を中心に8～9割を取れるようにする。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ 教務（授業） 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定実技試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3 受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2024年4月～：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 2025年4月～：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表

1 項 目	頭痛
学習目標・ポイント	頭痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
2 項 目	顔面痛、顔面麻痺
学習目標・ポイント	顔面痛、顔面麻痺についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
3 項 目	歯痛、眼精疲労、鼻閉鼻汁、脱毛症
学習目標・ポイント	歯痛、眼精疲労、鼻閉鼻汁、脱毛症についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
4 項 目	めまい、耳鳴りと難聴
学習目標・ポイント	めまい、耳鳴りと難聴についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
5 項 目	咳嗽、喘息、胸痛
学習目標・ポイント	咳嗽、喘息、胸痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
6 項 目	腹痛、悪心と嘔吐、便秘と下痢
学習目標・ポイント	腹痛、悪心と嘔吐、便秘と下痢についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
7 項 目	月経異常、排尿障害、インポテンツ
学習目標・ポイント	月経異常、排尿障害、インポテンツについての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
8 項 目	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛
学習目標・ポイント	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
9 項 目	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛
学習目標・ポイント	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
10 項 目	上肢痛
学習目標・ポイント	上肢痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
11 項 目	腰下肢痛、膝痛
学習目標・ポイント	腰下肢痛、膝痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
12 項 目	運動麻痺
学習目標・ポイント	運動麻痺についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
13 項 目	スポーツ障害、老年医学
学習目標・ポイント	スポーツ障害、老年医学についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
14 項 目	のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠
学習目標・ポイント	のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
15 項 目	確認問題
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	(解剖・生理)演習
担 当 教 員	西浦 絵美／濱田 さとみ
カリキュラム名	社会鍼灸学
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学・生理学を復習する。各単元ごとの穴埋めで概略を理解し、過去問を解くことでアウトプットできるようにする。
到 達 目 標	国家試験の解剖・生理の問題を7割以上解けるようになる。
成績評価方法及び基準	授業内評価で行う。 【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	前期の科目で行えなかった分野を中心に、講義、問題解説を行う。 【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でポとでる問 共著出版 西浦 絵美 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う

1 項 目	消化器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
2 項 目	消化器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理の教科書、プリント、過去問
備考	
3 項 目	運動器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
4 項 目	人体の構成、生理学基礎
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理、解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
5 項 目	循環器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
6 項 目	循環器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理学の教科書、プリント、過去問
備考	
7 項 目	感覚器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖学の教科書、プリント、過去問
備考	
8 項 目	感覚
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理学の教科書、プリント、過去問
備考	
9 項 目	泌尿・生殖器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖学の教科書、プリント、過去問
備考	
10 項 目	泌尿・生殖器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理学の教科書、プリント、過去問
備考	
11 項 目	呼吸器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
12 項 目	呼吸器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理、解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
13 項 目	神経系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
14 項 目	神経系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理の教科書、プリント、過去問
備考	
15 項 目	評価
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖、生理の教科書、配布資料
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技Ⅰ
担 当 教 員	比嘉 翔平
カリキュラム名	基礎実技Ⅰ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	はり治療における鍼の扱い方や手技・刺鍼方法、刺鍼における注意点、患者への配慮について学び、安心かつ安全に施術を行うための臨床基礎の基盤を身に付ける
到 達 目 標	感染防止・有害事象に対するリスク管理に関する正しい知識を身につける。 片手挿管・刺鍼の角度（直刺・斜刺・横刺）が正確にでき、一連の流れに従って衛生的な刺鍼が行える。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 中間実技試験（30%）と単位認定実技試験（70%）を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～ ：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2024年4月～ ：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 2025年4月～ ：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～ ：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表

1 項 目	鍼灸用具についてと実技授業の心構え
学習目標・ポイント	授業時の服装、実技前の準備と実技終了時の片付
使用する材料	プリント(授業中の注意事項、実技室使用の注意事項)
備考	
2 項 目	管鍼法:両手挿管法と片手挿管法①
学習目標・ポイント	鍼の起源について:管鍼法と撚鍼法の違いを理解し、管鍼法の基本手技を学ぶ
使用する材料	DS鍼:寸6-3
備考	
3 項 目	管鍼法:片手挿管法②
学習目標・ポイント	片手挿管法の一連の流れを理解する:押手、切皮弾入
使用する材料	DS鍼:寸6-3
備考	
4 項 目	刺鍼の一連の流れ①
学習目標・ポイント	前揉法～押手～弾入・切皮～抜鍼～後揉法～片手挿管
使用する材料	DS鍼:寸6-3
備考	
5 項 目	刺鍼の一連の流れ②
学習目標・ポイント	刺入:送り込み刺法・旋撚刺法
使用する材料	DS鍼:寸6-3
備考	
6 項 目	刺鍼の一連の流れ③
学習目標・ポイント	刺鍼の角度:直刺・斜刺・横刺
使用する材料	DS鍼:寸6-3
備考	
7 項 目	刺鍼中の手技①:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	①単刺術②雀啄術③間歇術④屋漏術⑤振戦術
使用する材料	DS鍼:寸6-3
備考	
8 項 目	刺鍼中の手技①:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	⑥置鍼術⑦旋撚術⑧回旋術⑨乱鍼術
使用する材料	DS鍼:寸6-3
備考	
9 項 目	刺鍼中の手技②:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	⑩副刺激術⑪示指打法⑫随鍼術⑬内調術
使用する材料	DS鍼:寸6-3
備考	M4:浅刺-呼吸時-坐位の刺鍼
10 項 目	刺鍼中の手技②:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	⑭細指術⑮管散術⑯鍼尖転移法⑰刺鍼転向法
使用する材料	DS鍼:寸6-3
備考	
11 項 目	実技チェック
学習目標・ポイント	片手挿管、刺入法(送り込み刺法・旋撚刺法)
使用する材料	DS鍼:寸6-3
備考	
12 項 目	手指の消毒と刺鍼部の消毒
学習目標・ポイント	自身の下肢に刺鍼
使用する材料	DS鍼:寸3-1、寸6-3(各3本/人)
備考	
13 項 目	片手挿管トライアル、刺入法、刺入角度
学習目標・ポイント	自身の下肢に刺鍼
使用する材料	DS鍼:寸3-1、寸6-3(各3本/人)
備考	
14 項 目	片手挿管トライアル、刺入法、刺入角度
学習目標・ポイント	自身の下肢に刺鍼
使用する材料	DS鍼:寸6-3(各3本/人)
備考	
15 項 目	まとめ
学習目標・ポイント	指定した刺鍼方法にて正確に刺鍼する。
使用する材料	DS鍼:寸3-1、寸6-3(各3本/人)
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技Ⅱ
担 当 教 員	木場 宜子
カリキュラム名	基礎実技Ⅱ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目的	お灸は治療においても、また予防医学の面でも、非常に優れた効果を持つ。灸術の基礎を学び身につけることで、鍼灸師になったときにも、鍼と同じくらい灸治療ができるようにする。
到 達 目 標	目的に応じた大きさ、形を選択し、安全に施灸することができる。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価（小テストやレポート）を合わせて100％で評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 指示のない限り携帯を授業中みるのは禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 【実務実績】H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、令和8年現在に至るまで開業中 【学会実績】H19日本鍼灸史学会 『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 口頭発表 H20日本鍼灸史学会 『家庭に於ける実際の看護の秘訣の鍼灸』 口頭発表 H21日本鍼灸史学会 『後藤流の灸法』 口頭発表 H22日本鍼灸史学会発表 『香川流の灸法』 口頭発表 H23日本鍼灸史学会 『名古屋玄医の灸法』 口頭発表 H24日本鍼灸史学会 『和田東郭の灸法』 口頭発表

1 項	目	きゅう道具の説明 ガイダンス
学習目標・ポイント		道具について 板に線を引く
使用する材料		
備考		
2 項	目	お灸体験 お灸の効能(足三里・三陰交・太溪)
学習目標・ポイント		隔物灸でお灸をしてみよう
使用する材料		艾・線香
備考		
3 項	目	艾の品質と鑑別 艾の保存 艾炷の捻り方①
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
4 項	目	灸術の種類 艾炷の捻り方②
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
5 項	目	灸術の種類 艾炷の捻り方③
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
6 項	目	施灸練習① 板の上に 5／分
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
7 項	目	施灸練習② 板の上に 10／分
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置けて早く据える
使用する材料		艾・線香
備考		
8 項	目	施灸練習③ 板の上に 10／分
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置けて早く据える
使用する材料		艾・線香
備考		
9 項	目	施灸練習④ 八分灸を据えよう
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
10 項	目	施灸練習⑤ 八分灸を据えよう
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
11 項	目	施灸練習⑥ 八分灸を据えよう
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
12 項	目	足三里に据えよう
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
13 項	目	三陰交に据えよう
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
14 項	目	合谷に据えよう
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
15 項	目	足三里、三陰交、合谷に据えよう
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技Ⅲ
担 当 教 員	比嘉 翔平
カリキュラム名	基礎実技Ⅲ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	人体に対して安全かつ衛生的に刺鍼ができる知識・技術を習得する。
到 達 目 標	安全な刺鍼深度を知り、人体の各部位に対し、思い通りの深さ・角度に刺鍼できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定実技試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2024年4月～：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 2025年4月～：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表

1 項	目	クリーンニードルテクニック、刺鍼転向法
学習目標・ポイント		鍼：足三里・三陰交
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
2 項	目	下腿部の刺鍼
学習目標・ポイント		安全に施術ができる
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
3 項	目	大腿部の刺鍼
学習目標・ポイント		安全に施術ができる
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
4 項	目	腰部の刺鍼
学習目標・ポイント		安全に施術ができる
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
5 項	目	上肢の刺鍼
学習目標・ポイント		安全に施術ができる
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
6 項	目	背部の刺鍼
学習目標・ポイント		安全に施術ができる
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
7 項	目	頸肩部の刺鍼
学習目標・ポイント		安全に施術ができる
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
8 項	目	肩背部への刺鍼
学習目標・ポイント		安全に施術ができる
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
9 項	目	仙骨部の刺鍼
学習目標・ポイント		安全に施術ができる
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
10 項	目	頭・顔面部の刺鍼
学習目標・ポイント		安全に施術ができる
使用する材料		DS鍼：寸3-1（2本/人）、1寸-01（5本/人）
備考		
11 項	目	腹部の刺鍼
学習目標・ポイント		安全に施術ができる
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
12 項	目	総復習1
学習目標・ポイント		1～11コマの総復習
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
13 項	目	総復習2
学習目標・ポイント		1～11コマの総復習
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
14 項	目	総復習2
学習目標・ポイント		試験対策
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		
15 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		指定した部位に、指定した方法で、正確に刺鍼する。
使用する材料		DS鍼：寸3-1または寸3-3（6本/人）
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技Ⅳ
担 当 教 員	木場 宜子
カ リ キ ュ ラ ム 名	基礎実技Ⅳ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	お灸は治療においても、また予防医学の面でも、非常に優れた効果を持つ。灸術の基礎を学び身につけることで、鍼灸師になったときにも、鍼と同じくらい灸治療ができるようにする。
到 達 目 標	様々な症状に対してどんな灸法を用いるか選択できるようにする。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価（小テストやレポート）を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 指示のない限り携帯を授業中みるのは禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 【実務実績】H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、令和8年現在に至るまで開業中 【学会実績】H19日本鍼灸史学会 『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 口頭発表 H20日本鍼灸史学会 『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 口頭発表 H21日本鍼灸史学会 『後藤流の灸法』 口頭発表 H22日本鍼灸史学会発表 『香川流の灸法』 口頭発表 H23日本鍼灸史学会 『名古屋玄医の灸法』 口頭発表 H24日本鍼灸史学会 『和田東郭の灸法』 口頭発表

1 項	目	下肢の灸
学習目標・ポイント		足三里 三陰交など
使用する材料		艾・線香
備考		
2 項	目	下肢の灸 四畔の灸 失眠
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
3 項	目	背中の灸 胃の六つ灸 小児斜差の灸 ちりけの灸
学習目標・ポイント		糸状灸の練習 八分灸の練習
使用する材料		艾・線香
備考		
4 項	目	背中の灸 胃の六つ灸 小児斜差の灸 ちりけの灸
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
5 項	目	背中の灸 張介賓四華穴
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
6 項	目	背中の灸 張介賓四華穴（縄を用いた取穴法）
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
7 項	目	後藤良山の灸
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
8 項	目	尋常性疣贅、鶏眼などへの施灸 焦灼灸のやり方を学ぶ
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
9 項	目	腹部への灸
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
10 項	目	逆子の灸
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
11 項	目	『名家灸選』棒灸 腋窩の灸から学ぶ据え方
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
12 項	目	深谷伊三郎 澤田健 の灸法から学ぶ据え方
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
13 項	目	深谷伊三郎 澤田健 の灸法から学ぶ据え方
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
14 項	目	深谷伊三郎 澤田健 の灸法から学ぶ据え方
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		
15 項	目	深谷伊三郎 澤田健 の灸法から学ぶ据え方
学習目標・ポイント		きれいに真っ直ぐ置くことを中心に練習する。紙に施灸する。
使用する材料		艾・線香
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実技Ⅰ
担 当 教 員	迫 宏典
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実技Ⅰ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	疾患に対する知識と検査を習得し、治療部位に適切に鍼灸治療を行うことを目的とする。各疾患に対して、主症状や鑑別ポイントを中心に解説し、徒手検査(必要に応じて、反射・知覚・筋力検査)を学習する。その後、治療部位に鍼灸治療を行う。
到 達 目 標	患者の主症状から必要な検査を行い病態把握し、適切な治療を行えるようになることを目標とする。
成績評価方法及び基準	前期単位認定試験成績を最終成績とする。 (前期単位認定試験にて徒手検査、はりきゅう実技を評価し60点以上を合格、59点未満を不合格とする。)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	実技マニュアル、はりきゅう道具持参
教 育・実 務 業 績	[職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰなど) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) [業 績] 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項	目	ガイダンス、頸部(頸椎症・外傷性頸部症候群・頸椎捻挫)
学習目標・ポイント		病態把握について必要な反射、触覚、筋力、関節可動域の概要を説明する。 疾患、検査(反射)、治療部位
使用する材料		プリント
備考		打鍵器、寸3-1番
2 項	目	頸部(頸椎症性神経根症・頸椎症性脊髄症・頸椎椎間板ヘルニア) ①
学習目標・ポイント		疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料		プリント
備考		打鍵槌、寸3-1番、寸3-3番
3 項	目	頸部(頸椎症性神経根症・頸椎症性脊髄症・頸椎椎間板ヘルニア) ②
学習目標・ポイント		疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料		プリント
備考		打鍵槌、寸3-1番、寸3-3番
4 項	目	胸郭出口症候群①
学習目標・ポイント		疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料		プリント
備考		寸3-1番、寸3-3番
5 項	目	胸郭出口症候群②
学習目標・ポイント		疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料		プリント
備考		寸3-1番、寸3-3番
6 項	目	肩関節障害(腱板損傷・腱板断裂)
学習目標・ポイント		疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料		プリント
備考		寸3-1番、寸3-3番
7 項	目	肩関節障害(肩峰下インピンジメント・肩峰下滑液包炎)
学習目標・ポイント		疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料		プリント
備考		寸3-1番、寸3-3番
8 項	目	肩関節障害(上腕二頭筋長頭腱炎)
学習目標・ポイント		疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料		プリント
備考		寸3-1番、寸3-3番
9 項	目	上肢末梢神経障害①
学習目標・ポイント		疾患、検査、治療部位
使用する材料		プリント
備考		寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
10 項	目	上肢末梢神経障害②
学習目標・ポイント		疾患、検査、治療部位
使用する材料		プリント
備考		寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番

11 項	目	試験説明・徒手検査復習
学 習 目 標・ポイント		徒手検査に必要なスキルを身につける。
使 用 す る 材 料		プリント
備 考		打鍵槌など
12 項	目	鍼灸実技・取穴復習
学 習 目 標・ポイント		鍼灸実技に必要なスキルを身につける。
使 用 す る 材 料		プリント
備 考		寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
13 項	目	上肢MMT①
学 習 目 標・ポイント		検査（上腕二頭筋、腕頭骨筋、上腕三頭筋、浅指屈筋、深指屈筋、背側骨間筋、掌側骨間筋）
使 用 す る 材 料		プリント
備 考		
14 項	目	上肢MMT②
学 習 目 標・ポイント		検査（上腕二頭筋、腕頭骨筋、上腕三頭筋、浅指屈筋、深指屈筋、背側骨間筋、掌側骨間筋）
使 用 す る 材 料		プリント
備 考		
15 項	目	総復習（頸部、胸郭部、肩部）
学 習 目 標・ポイント		
使 用 す る 材 料		
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実技Ⅱ
担 当 教 員	比嘉 翔平
カリキュラム名	臨床実技Ⅱ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	腰下肢の疾患に対する知識と検査を習得し、治療部位に適切に鍼灸治療を行うことを目的とする。各疾患に対して、主症状や鑑別ポイントを中心に解説し、徒手検査(必要に応じて、反射・知覚・筋力検査)を学習する。その後、治療部位に鍼灸治療を行う。
到 達 目 標	患者の主症状から必要な検査を行い病態把握し、適切な治療を行えるようになることを目標とする。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定実技試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習(3年生)の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～ 2024年4月～ 2025年4月～ ：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 ：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 ：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績(臨床経験等) 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術(大学院) 2023年4月～ ：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表(優秀賞) 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表(Web発表) 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表

1 項	目	授業の概要説明
学習目標・ポイント		他の臨床実技の授業との関連性、徒手検査の意義を知る。
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		
2 項	目	腰下肢(変形性腰椎症)
学習目標・ポイント		疾患(変形性腰椎症)、検査(EHL・FHL・踵歩き・爪先歩き)、治療部位(腰部の通電)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		寸6-3番6本
3 項	目	腰下肢(腰椎椎間板ヘルニア)
学習目標・ポイント		疾患(腰椎ヘルニア)、検査(バビンスキー・チャッドック・膝足クローヌス)、治療部位(灸頭鍼)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		寸6-3番6本、灸(灸頭鍼用もぐさ)
4 項	目	腰下肢(腰部脊柱管狭窄症)
学習目標・ポイント		疾患(脊柱管狭窄症)、検査(下肢長)、治療部位(陰部神経・梨状筋)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		寸6-3番6本、メジャー
5 項	目	腰下肢(分離すべり)
学習目標・ポイント		疾患(分離・すべり症)、腰下肢の治療復習
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		寸6-3番8本
6 項	目	腰下肢(梨状筋)
学習目標・ポイント		疾患(陰部神経・梨状筋)、検査(下肢長)、治療部位(陰部神経・梨状筋)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		寸6-3番6本、メジャー
7 項	目	腰下肢(梨状筋)
学習目標・ポイント		疾患(陰部神経・梨状筋)、検査(下肢長)、治療部位(陰部神経・梨状筋)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		寸6-3番6本、メジャー
8 項	目	腰下肢(坐骨神経)
学習目標・ポイント		疾患(陰部神経・梨状筋)、検査(下肢長)、治療部位(陰部神経・梨状筋)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		寸6-3番6本、メジャー
9 項	目	腰下肢(坐骨神経)
学習目標・ポイント		疾患(陰部神経・梨状筋)、検査(下肢長)、治療部位(陰部神経・梨状筋)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		寸6-3番6本、メジャー
10 項	目	腰下肢(筋筋膜性腰痛)
学習目標・ポイント		疾患(筋筋膜性腰痛)、筋の触診、治療部位(腰部の筋)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		
11 項	目	腰下肢(筋筋膜性腰痛)
学習目標・ポイント		疾患(筋筋膜性腰痛)、筋の触診、治療部位(腰部の筋)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		
12 項	目	腰下肢(筋筋膜性腰痛)
学習目標・ポイント		疾患(筋筋膜性腰痛)、筋の触診、治療部位(腰部の筋)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		
13 項	目	腰下肢(圧迫骨折)
学習目標・ポイント		疾患(圧迫骨折)、筋の触診、治療部位(腰部の筋)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		
14 項	目	腰下肢(圧迫骨折)
学習目標・ポイント		疾患(圧迫骨折)、筋の触診、治療部位(腰部の筋)
使用する材料		寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
備考		
15 項	目	腰下肢の総まとめ
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実技Ⅲ
担 当 教 員	赤井 昂平
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実技Ⅲ
単 位 数（ 時 間 数 ）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	疾患に対する知識と検査を習得し、治療部位に適切に鍼灸治療を行うことを目的とする。各疾患に対して、主症状や鑑別ポイントを中心に解説し、徒手検査(必要に応じて、反射・知覚・筋力検査)を学習する。その後、治療部位に鍼灸治療を行う。
到 達 目 標	患者の主症状から必要な検査を行い病態把握し、適切な治療を行えるようになることを目標とする。
成績評価方法及び基準	前期単位認定試験成績を最終成績とする。 (前期単位認定試験にて徒手検査、はりきゅう実技を評価し60点以上を合格、59点未満を不合格とする。)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	実技マニュアル、はりきゅう道具持参
教育・実務業績	令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ(筋) 解剖学Ⅲ(脈管) 臨床医学各論Ⅲ(外科・整形) はりきゅう理論Ⅰ 生体観察(触察解剖) 臨床実技Ⅲ 業務上の業績 2024年4月～2026年1月:医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習①
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
2 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習①
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
3 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習②
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
4 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習②
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
5 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習③
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
6 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習③
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
7 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習④
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
8 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習④
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
9 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習⑤
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
10 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習⑤
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
11 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習⑥
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
12 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習⑥
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
13 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習⑦
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
14 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習⑦
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼
15 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習⑧
学習目標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使用する材料		配布資料
備考		打鍵槌、各種鍼

16 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習⑧
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
17 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習⑨
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
18 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習⑨
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
19 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習⑩
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
20 項	目	臨床実技Ⅰ・臨床実技Ⅱ 試験内容確認(総復習)①
学 習 目 標・ポイント		徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)試験に向けた詳細を確認
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
21 項	目	臨床実技Ⅰ・臨床実技Ⅱ 試験内容確認(総復習)②
学 習 目 標・ポイント		徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)試験に向けた詳細を確認
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
22 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習⑩
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
23 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習⑪
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
24 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習⑪
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
25 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習⑫
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
26 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習⑫
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
27 項	目	臨床実技Ⅰ 実技演習⑬
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
28 項	目	臨床実技Ⅱ 実技演習⑬
学 習 目 標・ポイント		現在までに学習した徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)の復習を行う。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
29 項	目	臨床実技Ⅰ・臨床実技Ⅱ 試験内容確認(総復習)③
学 習 目 標・ポイント		徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)試験に向けた詳細を確認
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼
30 項	目	臨床実技Ⅰ・臨床実技Ⅱ 試験内容確認(総復習)④
学 習 目 標・ポイント		徒手検査・鍼灸実技・取穴(経穴)試験に向けた詳細を確認
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		打鍵槌、各種鍼

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	取穴実技
担 当 教 員	濱田 さとみ
カリキュラム名	臨床実技Ⅳ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	* 身体各部において、体表より触知出来る解剖学的指標（骨・筋・脈管 etc）を確認する。 * マーカーにて指標を描写、経穴部にシールを貼付するなど、視覚に訴えながら学習する。 * 解剖学的指標を基に、十四経脈（督脈・任脈・正経十二経）の流注を理解し、確認する。
到 達 目 標	* マーカーにて骨・筋・腱・関節 etcの形状を描く、または確認することが出来る。 * 十四経絡上の主要なる経穴を取穴法(部位)に基ずき、正確に取穴することが出来る。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。 ※ 単位認定試験の配分 [1回目:25% ・ 2回目:30% ・ 3回目:35%]と授業内評価[授業態度:10%]
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でるぽとでる問 共著出版

1 項	目	導入・手の太陰肺経・手の陽明大腸の前腕部
学習目標・ポイント		前腕部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
2 項	目	導入・手の太陰肺経・手の陽明大腸の前腕部
学習目標・ポイント		前腕部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
3 項	目	心包経・心経の取穴
学習目標・ポイント		前腕部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
4 項	目	心包経・心経の取穴
学習目標・ポイント		前腕部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
5 項	目	三焦経・小腸経の取穴
学習目標・ポイント		前腕部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
6 項	目	三焦経・小腸経の取穴
学習目標・ポイント		前腕部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
7 項	目	前腕の取穴の確認
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
8 項	目	中間評価①
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
9 項	目	胃経・胆経の取穴
学習目標・ポイント		下腿部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
10 項	目	胃経・胆経の取穴
学習目標・ポイント		下腿部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
11 項	目	脾経・腎経の取穴
学習目標・ポイント		下腿部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
12 項	目	脾経・腎経の取穴
学習目標・ポイント		下腿部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
13 項	目	肝経・膀胱経の取穴
学習目標・ポイント		下腿部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
14 項	目	肝経・膀胱経の取穴
学習目標・ポイント		下腿部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
15 項	目	肝経・膀胱経の取穴
学習目標・ポイント		下腿部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		

16 項	目	肝経・膀胱経の取穴
学習目標・ポイント		下腿部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
17 項	目	背部の取穴
学習目標・ポイント		背部の骨指標。並ぶ経穴の位置関係
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
18 項	目	背部の取穴
学習目標・ポイント		背部の骨指標。並ぶ経穴の位置関係
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
19 項	目	腰部の取穴
学習目標・ポイント		腰部の骨指標。並ぶ経穴の位置関係
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
20 項	目	腰部の取穴
学習目標・ポイント		腰部の骨指標。並ぶ経穴の位置関係
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
21 項	目	体幹前面の取穴
学習目標・ポイント		体幹前面の骨指標。並ぶ経穴の位置関係
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
22 項	目	体幹前面の取穴
学習目標・ポイント		体幹前面の骨指標。並ぶ経穴の位置関係
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
23 項	目	頭頸部の取穴
学習目標・ポイント		頭頸部の骨指標。並ぶ経穴の位置関係
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
24 項	目	大腿部の取穴
学習目標・ポイント		大腿部の骨指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
25 項	目	肩関節周囲の取穴
学習目標・ポイント		肩周囲の骨指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
26 項	目	肩関節周囲の取穴
学習目標・ポイント		肩関節の骨指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
27 項	目	肩関節周囲の取穴
学習目標・ポイント		肩関節の骨指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
28 項	目	肩関節周囲の取穴
学習目標・ポイント		肩関節の骨指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
29 項	目	肩関節周囲の取穴
学習目標・ポイント		肩関節の骨指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		
30 項	目	肩関節周囲の取穴
学習目標・ポイント		肩関節の骨指標
使用する材料		プリント、経絡経穴概論教科書
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅰ
担 当 教 員	酒井 良和
カリキュラム名	応用実技Ⅰ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目的	現代医学的考え方において鍼灸治療の適不適についての鑑別の判断とともに、主要症候の適応となるものに対する治療ができ、東洋医学的考え方においては、主要症候における証分類に従って治療を行うことができる。
到 達 目 標	主要症候に対する現代医学的・東洋医学的からの鑑別方法の理解と治療が行える。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおりⅠ 教務（授業） 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『学生のしおりⅢ 学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 1.昭和53年9月から平成20年3月（定年退職）まで明治東洋医学院専門学校において 鍼灸理論・鍼灸実技・東洋医学概論・臨床医学各論（特に消化器系） ・臨床実習・治療所実習を担当 2.平成20年4月から明治東洋医学院専門学校非常勤講師として 応用実技・経絡治療実技を担当 3.平成22年4月から履正社医療スポーツ専門学校非常勤講師として応用実技を担当 4.平成20年4月から森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師として 東洋医学概論・主要症候に対する実技および平成30年4月から 応用鍼灸実技Ⅱを担当 5.平成25年4月から平成医療学園専門学校非常勤講師として応用実技Ⅰ／Ⅲ および令和2年4月からはりきゅう臨床学Ⅰを担当 実務上の業績 1.職務の内容 昭和50年から平成20年までの間。庶務課長・事務次長 『全ての事務関係（入学試験、入学式、卒業式、書類関係等）』 処理教務主任・教務課長・教務次長・教務部長 『教務全般の事務関係（試験、成績、シラバス、時間割り等）』 処理。 治療所長『鍼灸柔整附属治療所の患者管理・治療に関する処理・調整』 2.臨床経験 昭和53年から平成20年3月まで明治東洋医学院専門学校附属治療所で 平成20年4月以降はさかい鍼灸院で治療に携わっています。 研究実績 証の客観化 問診情報のクラスター分析による蔵府の検討（会議録） 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)60巻3号 Page475(2010.05) 耳鳴患者の問診情報の分析（会議録） 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)60巻3号 教員養成学科における臨床教育実習の導入について（会議録） 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)56巻3号

1 項 目	咳嗽
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本／人
備考	
2 項 目	喘息
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本／人
備考	
3 項 目	胸痛
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本／人
備考	
4 項 目	腹痛1
学習目標・ポイント	現代医学的な理解(含定義)と鑑別方法および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 6本／人 灸点紙 2枚／人
備考	
5 項 目	腹痛2
学習目標・ポイント	東洋医学的な理解(含定義)と弁証および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本／人
備考	
6 項 目	悪心・嘔吐
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 1本／人
備考	
7 項 目	肥満・食欲不振
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 50mm20号 6本／人 バイオネックス0.6 1本／人
備考	
8 項 目	便秘1
学習目標・ポイント	現代医学的な理解(含定義)と鑑別方法および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm20号 6本／人 40mm16号 1本／人
備考	
9 項 目	便秘2
学習目標・ポイント	東洋医学的な理解(含定義)と弁証および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 7本／人
備考	
10 項 目	下痢1
学習目標・ポイント	現代医学的な理解(含定義)と鑑別方法および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 3本／人
備考	
11 項 目	下痢2
学習目標・ポイント	東洋医学的な理解(含定義)と弁証および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本／人 灸点紙 4枚／人
備考	
12 項 目	排尿障害
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本／人
備考	
13 項 目	勃起障害
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 50mm20号 2本／人 40mm16号 1本／人
備考	
14 項 目	勃起障害
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 50mm20号 2本／人 40mm16号 1本／人
備考	
15 項 目	勃起障害
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 50mm20号 2本／人 40mm16号 1本／人
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅱ
担 当 教 員	木場 宜子
カリキュラム名	応用実技Ⅱ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目的	現代医学は非常に進み我々はその恩恵を受けてきたが、その一方で人間関係の疎外が進み、エビデンスから外れた患者を孤独にする側面も持つ。東洋医学を基礎から学び理解することで、治療に応用できるようにする。
到 達 目 標	四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価（小テストやレポート）を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 指示のない限り携帯を授業中みるのは禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 【実務実績】H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、令和8年現在に至るまで開業中 【学会実績】H19日本鍼灸史学会 『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 口頭発表 H20日本鍼灸史学会 『家庭に於ける実際の看護の秘訣の鍼灸』 口頭発表 H21日本鍼灸史学会 『後藤流の灸法』 口頭発表 H22日本鍼灸史学会発表 『香川流の灸法』 口頭発表 H23日本鍼灸史学会 『名古屋玄医の灸法』 口頭発表 H24日本鍼灸史学会 『和田東郭の灸法』 口頭発表

1 項	目	治療の基本 背部俞穴で治療する
学習目標・ポイント		九刺の輸刺 俞穴各論
使用する材料		ユニコ寸3-1
備考		
2 項	目	治療の基本 背部俞穴で治療する
学習目標・ポイント		九刺の輸刺 俞穴各論
使用する材料		ユニコ寸3-1
備考		
3 項	目	治療の基本 背部俞穴で治療する
学習目標・ポイント		九刺の輸刺 俞穴各論 単刺術 置針
使用する材料		ユニコ寸3-1
備考		
4 項	目	気虚、気滞、陽虚の治療穴と治療法
学習目標・ポイント		
使用する材料		寸3-1 散モグサ
備考		
5 項	目	気虚、気滞、陽虚の治療穴と治療法
学習目標・ポイント		
使用する材料		寸3-1 散モグサ
備考		
6 項	目	血虚、血瘀、陰虚の治療穴と治療法
学習目標・ポイント		
使用する材料		寸3-1 散モグサ
備考		
7 項	目	血虚、血瘀、陰虚の治療穴と治療法
学習目標・ポイント		
使用する材料		寸3-1 散モグサ
備考		
8 項	目	痰湿、湿熱の治療穴と治療法
学習目標・ポイント		
使用する材料		寸3-1 散モグサ
備考		
9 項	目	痰湿、湿熱の治療穴と治療法
学習目標・ポイント		
使用する材料		寸3-1 散モグサ
備考		
10 項	目	治療体験
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療の原則を選穴し、治療する
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
11 項	目	治療体験
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療の原則を選穴し、治療する
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
12 項	目	治療体験
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
13 項	目	治療体験
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
14 項	目	治療体験
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
15 項	目	治療体験
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅲ
担 当 教 員	酒井 良和
カリキュラム名	応用実技Ⅲ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目的	現代医学的考え方において鍼灸治療の適不適についての鑑別の判断とともに、主要症候の適応となるものに対する治療ができ、東洋医学的考え方においては、主要症候における証分類に従って治療を行うことができる。
到 達 目 標	主要症候に対する現代医学的・東洋医学的からの鑑別方法の理解と治療が行える。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおりⅠ 教務（授業） 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『学生のしおりⅢ 学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 1.昭和53年9月から平成20年3月（定年退職）まで明治東洋医学院専門学校において 鍼灸理論・鍼灸実技・東洋医学概論・臨床医学各論（特に消化器系） ・臨床実習・治療所実習を担当 2.平成20年4月から明治東洋医学院専門学校非常勤講師として 応用実技・経絡治療実技を担当 3.平成22年4月から履正社医療スポーツ専門学校非常勤講師として応用実技を担当 4.平成20年4月から森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師として 東洋医学概論・主要症候に対する実技および平成30年4月から 応用鍼灸実技Ⅱを担当 5.平成25年4月から平成医療学園専門学校非常勤講師として応用実技Ⅰ／Ⅲ および令和2年4月からはりきゅう臨床学Ⅰを担当 実務上の業績 1.職務の内容 昭和50年から平成20年までの間。庶務課長・事務次長 『全ての事務関係（入学試験、入学式、卒業式、書類関係等）』 処理教務主任・教務課長・教務次長・教務部長 『教務全般の事務関係（試験、成績、シラバス、時間割等）』 処理。 治療所長『鍼灸柔整附属治療所の患者管理・治療に関する処理・調整』 2.臨床経験 昭和53年から平成20年3月まで明治東洋医学院専門学校附属治療所で 平成20年4月以降はさかい鍼灸院で治療に携わっています。 研究実績 証の客観化 問診情報のクラスター分析による蔵府の検討（会議録） 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)60巻3号 Page475(2010.05) 耳鳴患者の問診情報の分析（会議録） 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)60巻3号 教員養成学科における臨床教育実習の導入について（会議録） 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)56巻3号

1 項 目	月経異常1
学習目標・ポイント	現代医学的な理解(含定義)と鑑別方法および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm20号 5本／人 パルス1台／2人
備考	
2 項 目	月経異常2
学習目標・ポイント	東洋医学的な理解(含定義)と弁証および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本／人 灸点紙4枚／人
備考	
3 項 目	肩こり
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本／人
備考	
4 項 目	頸肩腕痛
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 8本／人
備考	
5 項 目	肩関節痛
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 6本／人
備考	
6 項 目	上肢痛
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本／人
備考	
7 項 目	腰下肢痛
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 2本／人・40mm20号 4本／人・50mm20号 2本／人
備考	
8 項 目	膝痛
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本／人
備考	
9 項 目	運動麻痺
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本／人・40mm20号 2本／人 パルス1台／2人
備考	
10 項 目	高血圧症
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 6本／人
備考	
11 項 目	低血圧症
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 7本／人
備考	
12 項 目	発熱
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 7本／人
備考	
13 項 目	発熱
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 7本／人
備考	
14 項 目	発熱
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 7本／人
備考	
15 項 目	のぼせと冷え
学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 9本／人 灸点紙 1枚／人
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅳ
担 当 教 員	木場 宜子
カ リ キ ュ ラ ム 名	応用実技Ⅳ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	現代医学は非常に進み我々はその恩恵を受けてきたが、その一方で人間関係の疎外が進み、エビデンスから外れた患者を孤独にする側面も持つ。東洋医学を基礎から学び理解することで、治療に応用できるようにする。
到 達 目 標	四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価（小テストやレポート）を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 指示のない限り携帯を授業中みるのは禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 【実務実績】H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、令和8年現在に至るまで開業中 【学会実績】H19日本鍼灸史学会 『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 口頭発表 H20日本鍼灸史学会 『家庭に於ける実際の看護の秘訣の鍼灸』 口頭発表 H21日本鍼灸史学会 『後藤流の灸法』 口頭発表 H22日本鍼灸史学会発表 『香川流の灸法』 口頭発表 H23日本鍼灸史学会 『名古屋玄医の灸法』 口頭発表 H24日本鍼灸史学会 『和田東郭の灸法』 口頭発表

1 項	目	前期の復習 背部俞穴 要穴を用いて治療する
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
2 項	目	前期の復習 背部俞穴 要穴を用いて治療する
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
3 項	目	自律神経失調症 不定愁訴に対しての鍼灸 基本の治療と鰓弓由来筋のアプローチ
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
4 項	目	自律神経失調症 不定愁訴に対しての鍼灸 基本の治療と鰓弓由来筋のアプローチ
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
5 項	目	自律神経失調症 不定愁訴に対しての鍼灸 基本の治療と鰓弓由来筋のアプローチ
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
6 項	目	不妊症の治療
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
7 項	目	不妊症の治療
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
8 項	目	不妊症の治療
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
9 項	目	お灸の練習(浮腫に対しての治療)
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
10 項	目	治療体験（自由課題）レポート提出
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
11 項	目	治療体験（自由課題）レポート提出
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
12 項	目	治療体験（自由課題）レポート提出
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
13 項	目	治療体験（自由課題）レポート提出
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
14 項	目	治療体験（自由課題）レポート提出
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		
15 項	目	治療体験（自由課題）レポート提出
学習目標・ポイント		四診を用いて診断し、治療を組み立てることができる。
使用する材料		寸3-1、2、3番 きゅう道具
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	総合実技Ⅰ（西洋医学）
担 当 教 員	迫 宏典
科 目 名（中 項 目）	総合実技Ⅰ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	西洋医学的病態把握および治療計画を実施できる。
到 達 目 標	3年次の治療実習にて西洋医学的病態把握および治療計画を実施できる。
成績評価方法及び基準	学期末(2月中旬)に行う時間外の実技試験(総合実技Ⅰ、Ⅱ)の結果、出席状況、授業態度などを総合的に勘案し評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	〔職歴〕 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど) 〔学会発表〕 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 〔研究歴〕 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) 〔業 績〕 令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰

1 項 目	症例に基づく病態把握の実施(総論)
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
2 項 目	症例に基づく病態把握の実施(上肢)①
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
3 項 目	症例に基づく病態把握の実施(上肢)②
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
4 項 目	症例に基づく病態把握の実施(上肢)③
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
5 項 目	症例に基づく病態把握の実施(上肢)④
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
6 項 目	症例に基づく病態把握の実施(下肢)①
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
7 項 目	症例に基づく病態把握の実施(下肢)②
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
8 項 目	症例に基づく病態把握の実施(下肢)③
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
9 項 目	症例に基づく病態把握の実施(下肢)④
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
10 項 目	症例に基づく病態把握の実施(体幹)①
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
11 項 目	症例に基づく病態把握の実施(体幹)②
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
12 項 目	症例に基づく病態把握の実施(体幹)③
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
13 項 目	症例に基づく病態把握の実施(体幹)④
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
14 項 目	症例に基づく病態把握の実施(その他)
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	
15 項 目	症例に基づく病態把握の実施(まとめ)
学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	総合実技Ⅱ（東洋医学）
担 当 教 員	上野 暁生
カ リ キ ュ ラ ム 名	総合実技Ⅱ
単 位 数（時 間 数）	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	問診、四診、弁証論治、治療が自ら計画立て、行えるようにする。
到 達 目 標	3年次の治療実習にて問診、四診、弁証論治、治療が自ら計画立て、行えるようにする。
成績評価方法及び基準	2月中旬に行う時間外の実技試験（総合実技Ⅰ、Ⅱ）の結果、出席状況、授業態度などを総合的に勘案し評価を行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1 項 目	病態把握について(東洋医学的な問診について)
学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
2 項 目	病態把握に基づいた治療(気、血、津液弁証)
学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
3 項 目	病態把握について(気、血、津液弁証)
学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
4 項 目	病態把握に基づいた治療(肝の弁証)
学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
5 項 目	病態把握について(肝の弁証)
学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
6 項 目	病態把握に基づいた治療(心の弁証)
学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
7 項 目	病態把握について(脾の弁証)
学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
8 項 目	病態把握に基づいた治療(脾の弁証)
学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
9 項 目	病態把握について(肺の弁証)
学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
10 項 目	病態把握に基づいた治療(肺の弁証)
学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
11 項 目	病態把握について(腎の弁証)
学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
12 項 目	病態把握に基づいた治療(腎の弁証)
学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
13 項 目	病態把握に基づいた治療(気血津液、臓腑弁証の復習)
学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
14 項 目	病態把握に基づいた治療(気血津液、臓腑弁証の復習)
学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	
15 項 目	病態把握に基づいた治療(気血津液、臓腑弁証の復習)
学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅴ
担 当 教 員	竹本 晋史
カ リ キ ュ ラ ム 名	総合実技Ⅲ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	臨床家としてモデルには自信向上の為に鍼灸施術を受けて頂くという謙虚な姿勢を持ち、相互向上の意識を持てるようになる。鍼を自由に扱えるようになる。
到 達 目 標	疼痛、苦痛の評価が出来るようになる。 患者本位の考えが持てるようになる。 解剖学を理解し正確に施術できるようになる。
成績評価方法及び基準	平常点 10% 試験 90%
	臨床で多く遭遇する疾患に対する施術法を学びます。 解剖学をベースとした筋肉への施術が基本です。 “痛む場所を治療する人はしばしば途方に暮れる”を考えましょう。
教 育・実 務 業 績	平成12年 竹本鍼灸整骨院開設 平成19年4月～平成医療学園専門学校 柔道整復師科 専科教員 平成24年4月～平成医療学園専門学校 柔道整復師科 学科長 平成29年9月～柔道整復認定実技審査員 令和3年4月～平成医療学園専門学校 教務部長 平成17年～現在 筋骨格画像研究会会長 平成17年～現在 鍼灸柔整新聞(旧日本鍼灸マッサージ新聞) 柔道整復と超音波画像観察装置連載(年2回) 平成18年4月 超音波による骨・筋・関節の観察(南山堂)執筆協力 平成20年9月 運動器の超音波(南山堂)執筆協力 平成26年3月 東洋療法教員養成学科卒業 平成26年4月～鍼灸科3年応用実技Ⅲ授業担当

1 項 目	はじめに
学習目標・ポイント	臨床家としてのスタート・ゴールの目標を立てる。
使用する材料	1寸3分
備考	
2 項 目	基礎手技の理解
学習目標・ポイント	基本鍼灸術(直刺・斜刺・横刺)の理解と実践・施鍼の角度別効果を知り、実践技術を持つ
使用する材料	0～5番寸6・寸3×人数分及び衛生用具
備考	
3 項 目	頸部痛①
学習目標・ポイント	僧帽筋、肩甲挙筋、肩甲骨の位置(置鍼・単刺)
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
4 項 目	頸部痛②
学習目標・ポイント	胸鎖乳突筋、斜角筋、(置鍼・単刺)
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
5 項 目	頸部痛③
学習目標・ポイント	肩甲挙筋、前鋸筋、菱形筋、(置鍼・単刺)
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
6 項 目	肩部痛①
学習目標・ポイント	肩甲上腕リズムを考える
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
7 項 目	肩部痛②
学習目標・ポイント	肩甲胸郭関節の動き
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
8 項 目	肩部痛③
学習目標・ポイント	腱板へのアプローチ
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
9 項 目	腰痛症①
学習目標・ポイント	上殿皮神経、広背筋へのアプローチ
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
10 項 目	腰痛症②
学習目標・ポイント	腹斜筋へのアプローチ
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
11 項 目	腰痛症③
学習目標・ポイント	後頭下筋群へのアプローチ
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
12 項 目	膝痛①
学習目標・ポイント	スクリーホームムーブメントを考える
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
13 項 目	膝痛②
学習目標・ポイント	中殿筋へのアプローチ
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
14 項 目	膝痛③
学習目標・ポイント	膝窩筋へのアプローチ
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
15 項 目	実技審査・評価
学習目標・ポイント	臨床報告と実践・施術を想定させ、臨床能力を判定・評価する
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実習Ⅰ
担 当 教 員	西浦 絵美
カリキュラム名	臨床実習Ⅰ
単 位 数（時間数）	1(45)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	治療見学実習を通じ、臨床の基礎学力向上を図る。
到 達 目 標	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
成績評価方法及び基準	レポート100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
2 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
3 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
4 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
5 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
6 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
7 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
8 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
9 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
10 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
11 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
12 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
13 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
14 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
15 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	

16 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
17 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
18 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
19 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
20 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
21 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
22 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
23 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
24 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
25 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
26 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
27 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
28 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
29 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
30 項 目	治療見学実習(90分)
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実習Ⅱ
担 当 教 員	西浦 絵美
カリキュラム名	臨床実習Ⅱ
単 位 数（時間数）	1(45)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目的	臨床実習を通じ、衛生的で安全な臨床環境を整える方法、医療面接の導入、治療方法など実際の臨床現場に必要な知識を養う。
到 達 目 標	臨床現場での衛生・安全を考慮した臨床現場の環境を整え、コミュニケーションの取り方を学び、習得する。
成績評価方法及び基準	レポート100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項 目	衛生操作・基礎実技の復習(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	臨床現場での衛生操作、基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習、治療見学実習をして臨床に生かせる術を学ぶ
使 用 す る 材 料	臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
2 項 目	衛生操作・基礎実技の復習(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	臨床現場での衛生操作、基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習、治療見学実習をして臨床に生かせる術を学ぶ
使 用 す る 材 料	臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
3 項 目	医療面接・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	医療面接の技法を学び、実際の治療現場で活かせるコミュニケーションの量り方を学ぶ
使 用 す る 材 料	臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
4 項 目	医療面接・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	医療面接の技法を学び、実際の治療現場で活かせるコミュニケーションの量り方を学ぶ
使 用 す る 材 料	臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
5 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使 用 す る 材 料	臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
6 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使 用 す る 材 料	臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
7 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使 用 す る 材 料	臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
8 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使 用 す る 材 料	臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
9 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使 用 す る 材 料	臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
10 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使 用 す る 材 料	臨床実習簿
備 考	
11 項 目	鍼通電療法について(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	鍼通電療法を実施することで得られる効果とは、また病態に合わせた治療方法について学ぶ
使 用 す る 材 料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
12 項 目	頭皮鍼鍼通電療法(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	どのような病態に対し効果が得られるのか、また病態に合わせた治療方法について学ぶ
使 用 す る 材 料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
13 項 目	灸頭鍼①(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	灸頭鍼の艾炷の作成方法、治療方法を学ぶ
使 用 す る 材 料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
14 項 目	灸頭鍼②(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	灸頭鍼の艾炷の作成方法、治療方法を学ぶ
使 用 す る 材 料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考	
15 項 目	耳ツボ・美容鍼について(90分)
学 習 目 標・ポ イ ン ト	美容×痛み治療について、また美容鍼・耳ツボを学ぶ
使 用 す る 材 料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考	

16 項	目	スポーツ鍼灸①(90分)
学 習 目 標・ポイント		コミュニケーションの方法と実践、触察について
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
17 項	目	スポーツ鍼灸②(90分)
学 習 目 標・ポイント		コミュニケーションの方法と実践、触察について
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
18 項	目	スポーツ鍼灸③
学 習 目 標・ポイント		触察の実践・鍼灸によるコンディショニング
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
19 項	目	スポーツ鍼灸④(90分)
学 習 目 標・ポイント		触察の実践・鍼灸によるコンディショニング
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
20 項	目	スポーツ鍼灸⑤(90分)
学 習 目 標・ポイント		コミュニケーションの方法と実践、触察について
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
21 項	目	スポーツ鍼灸⑥(90分)
学 習 目 標・ポイント		触察の実践・鍼灸によるコンディショニング
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
22 項	目	スポーツ鍼灸⑦(90分)
学 習 目 標・ポイント		触察の実践・鍼灸によるコンディショニング
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
23 項	目	美容鍼灸①(90分)
学 習 目 標・ポイント		鍼灸治療と美容の関わりについて
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
24 項	目	美容鍼灸②(90分)
学 習 目 標・ポイント		鍼灸治療と美容の関わりについて
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
25 項	目	美容鍼灸③(90分)
学 習 目 標・ポイント		鍼灸治療と美容の関わりについて
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
26 項	目	美容鍼灸④(90分)
学 習 目 標・ポイント		鍼灸治療と美容の関わりについて
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
27 項	目	美容鍼灸⑤(90分)
学 習 目 標・ポイント		鍼灸治療と美容の関わりについて
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
28 項	目	美容鍼灸⑥(90分)
学 習 目 標・ポイント		鍼灸治療と美容の関わりについて
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
29 項	目	美容鍼灸⑦(90分)
学 習 目 標・ポイント		鍼灸治療と美容の関わりについて
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		
30 項	目	美容鍼灸⑧(90分)
学 習 目 標・ポイント		鍼灸治療と美容の関わりについて
使 用 す る 材 料		配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実習Ⅲ
担 当 教 員	西浦 絵美
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習Ⅲ
単 位 数（時 間 数）	1(45)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	対学生で患者担い、主観的・客観的な観点から鍼灸治療の導入～治療終了までを体験し、臨床能力向上を意図とする
到 達 目 標	患者体験、また婦人科系疾患、末梢神経障害などの概要・鍼灸治療について学び、習得する。
成績評価方法及び基準	レポートで授業態度等で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校附属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項 目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料	
備考	
2 項 目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料	
備考	
3 項 目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料	
備考	
4 項 目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料	
備考	
5 項 目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料	
備考	
6 項 目	末梢神経障害について(90分)
学習目標・ポイント	上肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
7 項 目	末梢神経障害について(90分)
学習目標・ポイント	下肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
8 項 目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について(90分)
学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
9 項 目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について(90分)
学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
10 項 目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について(90分)
学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
11 項 目	医療面接の復習(90分)
学習目標・ポイント	医療面接の技法、コミュニケーションの図り方について学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
12 項 目	痛みについて(90分)
学習目標・ポイント	痛みとは何かを理解し、評価方法、診断、治療方法について学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
13 項 目	病態把握について(90分)
学習目標・ポイント	病態把握をするために必要な知識・勉強方法について
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
14 項 目	病態把握検討技法について(90分)
学習目標・ポイント	ある痛みを対象にどのように病態把握をしていくのかを学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
15 項 目	病態把握検討技法について(90分)
学習目標・ポイント	ある痛みを対象にどのように病態把握をしていくのかを学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	

16 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
17 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
18 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
19 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
20 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
21 項	目	末梢神経障害について(90分)
学習目標・ポイント		上肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
22 項	目	末梢神経障害について(90分)
学習目標・ポイント		下肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
23 項	目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について(90分)
学習目標・ポイント		婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
24 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
25 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
26 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
27 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
28 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
29 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		
30 項	目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント		鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実習Ⅳ
担 当 教 員	西浦 絵美
カリキュラム名	臨床実習Ⅳ
単 位 数（時間数）	1(45)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目的	対学生で患者・鍼灸師役をそれぞれ担い、主観的・客観的な観点から鍼灸治療の導入～治療終了までを体験し、臨床能力向上を意図とする
到 達 目 標	臨床能力向上を目的とし、医療面接・徒手検査・病態把握・取穴実技・はりきゅう実技が基準値を超えるようにする。
成績評価方法及び基準	レポート100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項 目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント	鍼灸師科2年生を対象に鍼灸師役を担うことで、(模擬)臨床経験を重ね。臨床能力を養う
使用する材料	実技バッグ
備考	
2 項 目	カルテ書きについて(90分)
学習目標・ポイント	実際に診た患者を対象にカルテの書き方を学ぶ(現病歴・現症・病態把握・治療方法など)
使用する材料	カルテ、実技バッグ
備考	
3 項 目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント	鍼灸師科2年生を対象に鍼灸師役を担うことで、(模擬)臨床経験を重ね。臨床能力を養う
使用する材料	実技バッグ
備考	
4 項 目	カルテ書きについて(90分)
学習目標・ポイント	実際に診た患者を対象にカルテの書き方を学ぶ(現病歴・現症・病態把握・治療方法など)
使用する材料	カルテ、実技バッグ
備考	
5 項 目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント	鍼灸師科2年生を対象に鍼灸師役を担うことで、(模擬)臨床経験を重ね。臨床能力を養う
使用する材料	実技バッグ
備考	
6 項 目	カルテ書きについて(90分)
学習目標・ポイント	実際に診た患者を対象にカルテの書き方を学ぶ(現病歴・現症・病態把握・治療方法など)
使用する材料	カルテ、実技バッグ
備考	
7 項 目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント	鍼灸師科2年生を対象に鍼灸師役を担うことで、(模擬)臨床経験を重ね。臨床能力を養う
使用する材料	実技バッグ
備考	
8 項 目	カルテ書きについて(90分)
学習目標・ポイント	実際に診た患者を対象にカルテの書き方を学ぶ(現病歴・現症・病態把握・治療方法など)
使用する材料	カルテ、実技バッグ
備考	
9 項 目	模擬臨床実習について(90分)
学習目標・ポイント	鍼灸師科2年生を対象に鍼灸師役を担うことで、(模擬)臨床経験を重ね。臨床能力を養う
使用する材料	実技バッグ
備考	
10 項 目	カルテ書きについて(90分)
学習目標・ポイント	実際に診た患者を対象にカルテの書き方を学ぶ(現病歴・現症・病態把握・治療方法など)
使用する材料	カルテ、実技バッグ
備考	
11 項 目	末梢神経障害について(90分)
学習目標・ポイント	上肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
12 項 目	末梢神経障害について(90分)
学習目標・ポイント	下肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
13 項 目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について(90分)
学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
14 項 目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について(90分)
学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
15 項 目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について(90分)
学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	

16 項	目	高齢者に対する鍼灸治療①(90分)
学習目標・ポイント		高齢化社会における鍼灸師の役割について
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
17 項	目	高齢者に対する鍼灸治療②(90分)
学習目標・ポイント		高齢化社会に於ける鍼灸師の役割について、鍼灸実践
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
18 項	目	泌尿器疾患に対する鍼灸治療①(90分)
学習目標・ポイント		泌尿器疾患に対する鍼灸治療について(基礎)
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
19 項	目	泌尿器疾患に対する鍼灸治療②(90分)
学習目標・ポイント		泌尿器疾患に対する鍼灸治療について(応用)
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
20 項	目	身体触察と治療的応用①(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
21 項	目	身体触察と治療的応用②(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
22 項	目	身体触察と治療的応用③(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
23 項	目	身体触察と治療的応用④(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
24 項	目	身体触察と治療的応用⑤(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
25 項	目	身体触察と治療的応用⑥(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
26 項	目	身体触察と治療的応用⑦(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
27 項	目	身体触察と治療的応用⑧(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
28 項	目	身体触察と治療的応用⑨(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
29 項	目	身体触察と治療的応用⑩(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
30 項	目	身体触察と治療的応用⑪(90分)
学習目標・ポイント		身体触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	救急救命
担 当 教 員	濱田 さとみ
カリキュラム名	総合領域 I
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	救急救命:救急救命:応急処置の方法を学び、その重要性について理解する。
到 達 目 標	救急救命:治療家として、あらゆる状況・場面において人命尊重を第1に考え、速やかに対応できる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でるポとでる問 共著出版

1 項	目	オリエンテーション
	学習目標・ポイント	授業の概要説明
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命
2 項	目	救命救急の必要性・理論・AED
	学習目標・ポイント	応急処置の重要性の理解
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命(座学)
3 項	目	救命救急の必要性・理論・AED
	学習目標・ポイント	応急処置の重要性の理解
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命(座学)
4 項	目	救命救急の必要性・理論・AED
	学習目標・ポイント	応急処置の重要性の理解
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命(座学)
5 項	目	救命救急の必要性・理論・AED
	学習目標・ポイント	応急処置の重要性の理解
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命(座学)
6 項	目	練習
	学習目標・ポイント	胸骨圧迫式心臓マッサージ・人工呼吸ができる
	使用する材料	配布資料、心肺蘇生練習用人形、消毒綿花・フェイスペーパー
	備考	救急救命(実技)
7 項	目	練習
	学習目標・ポイント	AEDの使用法が分かる
	使用する材料	配布資料、練習用AED、心肺蘇生練習用人形、消毒綿花・フェイスペーパー
	備考	救急救命(実技)
8 項	目	熱中症
	学習目標・ポイント	応急処置の重要性の理解
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命(座学)
9 項	目	熱中症
	学習目標・ポイント	応急処置の重要性の理解
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命(座学)
10 項	目	熱中症
	学習目標・ポイント	応急処置の重要性の理解
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命(座学)
11 項	目	気道異物除去と子供の心肺蘇生
	学習目標・ポイント	ハイムリック法・背部叩打法・気道確保・小児と大人の違い
	使用する材料	配布資料、練習用人形
	備考	救急救命(実技)
12 項	目	気道異物除去と子供の心肺蘇生
	学習目標・ポイント	ハイムリック法・背部叩打法・気道確保・小児と大人の違い
	使用する材料	配布資料、練習用人形
	備考	救急救命(実技)
13 項	目	気道異物除去と子供の心肺蘇生
	学習目標・ポイント	ハイムリック法・背部叩打法・気道確保・小児と大人の違い
	使用する材料	配布資料、練習用人形
	備考	救急救命(実技)
14 項	目	実技評価
	学習目標・ポイント	効果判定
	使用する材料	練習用AED、心肺蘇生練習用人形、消毒綿花・フェイスペーパー・スキルレポーター
	備考	救急救命
15 項	目	実技評価
	学習目標・ポイント	効果判定
	使用する材料	練習用AED、心肺蘇生練習用人形、消毒綿花・フェイスペーパー・スキルレポーター
	備考	救急救命

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅵ
担 当 教 員	濱田 さとみ
カリキュラム名	総合領域Ⅱ
単 位 数（時間数）	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	ニーズの高い美容鍼灸、スポーツ領域鍼灸での理論・施術法・注意点を学び 卒後幅広い領域の患者対応ができる臨床力を身につける。
到 達 目 標	美容鍼灸の施術の流れと手技を身につける。 筋腱移行部への刺鍼が出来る。
成績評価方法及び基準	①出席日数 各3点、授業態度3点 × 授業回数15回(90点) 加点方式 ②実技試験 ①+②÷2+10点＝成績
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。 実技試験欠席(公欠省く)のものに関しては、再試は実施しない。 授業態度:授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でポとでる問 共著出版

1 項	目	ガイダンス
学習目標・ポイント		美容鍼とは、刺鍼練習セルフ
使用する材料		配布資料
備考		美容鍼灸
2 項	目	皮膚の構造について
学習目標・ポイント		顔評価、刺鍼練習
使用する材料		配布資料
備考		美容鍼灸
3 項	目	リスク管理
学習目標・ポイント		同意書、カウンセリング、顔評価、刺鍼練習
使用する材料		配布資料
備考		美容鍼灸
4 項	目	①ブレ施術、タオルワーク、頭部への施術
学習目標・ポイント		施術効果を高める導入、患者満足度につながるタオルワーク
使用する材料		バスタオルを余分に持参させる
備考		美容鍼灸
5 項	目	②ブレ施術、タオルワーク、頭部への施術
学習目標・ポイント		施術効果を高める導入、患者満足度につながるタオルワーク
使用する材料		バスタオルを余分に持参させる
備考		美容鍼灸
6 項	目	①東洋医学と美容
学習目標・ポイント		全身への治療法、練習
使用する材料		鍼
備考		美容鍼灸
7 項	目	②東洋医学と美容
学習目標・ポイント		全身への治療法、練習
使用する材料		鍼
備考		美容鍼灸
8 項	目	個別の肌悩み、くま、しわ 頭部への施術①
学習目標・ポイント		しみ、くまへの対応
使用する材料		鍼 パイオネックス
備考		美容鍼灸
9 項	目	個別の肌悩み、各種しわへの対応 頭部への施術②
学習目標・ポイント		
使用する材料		鍼 パイオネックス
備考		美容鍼灸
10 項	目	通し練習①
学習目標・ポイント		導入、頭部への施術、全身の施術
使用する材料		鍼 パイオネックス
備考		
11 項	目	通し練習②
学習目標・ポイント		導入、頭部への施術、全身の施術
使用する材料		鍼 パイオネックス
備考		
12 項	目	通し練習②
学習目標・ポイント		導入、頭部への施術、全身の施術
使用する材料		鍼 パイオネックス
備考		
13 項	目	スポーツ1 肉離れ
学習目標・ポイント		スポーツ鍼灸の目的 鍼通電
使用する材料		鍼
備考		
14 項	目	スポーツ2 足関節捻挫
学習目標・ポイント		足関節の構造
使用する材料		鍼
備考		
15 項	目	スポーツ3 局所別施術
学習目標・ポイント		足底アーチの構造 運動鍼
使用する材料		鍼
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技演習
担 当 教 員	赤井 昂平
カリキュラム名	統合教育科目 I
単 位 数（時間数）	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	・医療人として相応しい態度を身に付ける。 ・鍼灸の安全性に対する正しい知識を身に付ける。 ・鍼灸の基本的な手技を学ぶ。
到 達 目 標	安全かつ衛生的な鍼灸施術ができるようになる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ（筋） 解剖学Ⅲ（脈管） 臨床医学各論Ⅲ（外科・整形） はりきゅう理論Ⅰ 生体観察（触察解剖） 臨床実技Ⅲ 実務上の業績（臨床経験等） 2024年4月～2026年1月：医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
2 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
3 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
4 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
5 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
6 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
7 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
8 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
9 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
10 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
11 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
12 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
13 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
14 項	目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける。
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱの授業資料
備考		基礎実技Ⅰ・Ⅱのシラバス参照
15 項	目	評価
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎科目演習
担 当 教 員	上野 暁生・内野 容子・赤井 昂平
カリキュラム名	統合教育科目Ⅰ
単 位 数（時間数）	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	前期:解剖・生理・東概の小テスト・問題演習を行い理解を深める。 後期:解剖・生理・東臨・経穴の小テスト・問題演習を行い理解を深める。
到 達 目 標	解剖・生理・東概・東臨・経穴の1年次履修範囲の理解をする。
成績評価方法及び基準	授業内にて各先生が行う小テストの点数、各先生毎に配布される課題、出席率にて評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	氏名:内野 容子 【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部、顔面・舌の痛みや麻痺に対する鍼灸治療を行う。 氏名:上野 暁生 平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習 氏名:西浦 絵美 令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職

1 項 目	東洋医学概論 演習①
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
2 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学①
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
3 項 目	動物生理Ⅰで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	ニューロンの構造および神経線維の伝導、シナプス伝達の仕組みについて理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
4 項 目	東洋医学概論 演習②
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
5 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学②
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
6 項 目	動物生理Ⅰで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	中枢神経(大脳・間脳・脳幹・小脳・脊髄)について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
7 項 目	東洋医学概論 演習③
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
8 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学③
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
9 項 目	動物生理Ⅰで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	末梢神経(自律神経・脳神経・脊髄神経)について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
10 項 目	東洋医学概論 演習④
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
11 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学④
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
12 項 目	解剖、生理、東概で学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	解剖、生理、東概で学んだ内容について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
13 項 目	解剖、生理、東概で学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	解剖、生理、東概で学んだ内容について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
14 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学⑤
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
15 項 目	解剖、生理、東概で学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	解剖、生理、東概で学んだ内容について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目 I C
担 当 教 員	濱田 さとみ・迫 宏典
カリキュラム名	統合教育科目 I
単 位 数（時間数）	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	鍼灸治療およびその他患者のケアに関わる技術の知識、技術の習得を目標とする。
到 達 目 標	・各講義内容(アロマ・レーザー鍼治療など)を理解し、実践できる。 ・鍼灸治療に使われる医療器具、その他備品について製造や構造について見識を深める。
成績評価方法及び基準	授業出席および授業態度、実力試験の成績から総合的に判断する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	患者のケアを目的としてできることを考えた場合、鍼灸治療はもちろんのこと、アロマセラピーなど付随するものはたくさんあります。鍼灸治療はできて当たり前(国家資格を持っている)の中で、その他のスペシャリティーを持っておくことはとても大切です。また、一言に鍼灸治療と言っても治療技術もさまざまあり、知っていれば知っているほど患者を治すツールが増えていきます。授業を機に、貪欲に見識を増やしていきましょう。
教育・実務業績	濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でポとでる間 共著出版 迫 宏典 【職歴】 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰ など) 【学会発表】 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 【研究歴】 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) 【業 績】 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項	目	アロマセラピー①
学習目標・ポイント		精油の基礎知識、アロマセラピーのメカニズムを理解する。
使用する材料		紙コップ、お湯、精油
備考		
2 項	目	アロマセラピー②
学習目標・ポイント		精油の薬理作用、安全のための注意
使用する材料		天然塩、チャック袋、精油
備考		
3 項	目	アロマセラピー③
学習目標・ポイント		アロマセラピーの歴史
使用する材料		無水エタノール、精製水、スプレー容器、精油
備考		
4 項	目	アロマセラピー④
学習目標・ポイント		アロマセラピーと健康学
使用する材料		
備考		
5 項	目	アロマセラピー⑤
学習目標・ポイント		アロマセラピーに関する法律
使用する材料		
備考		
6 項	目	アロマセラピー⑥
学習目標・ポイント		アロマセラピーと環境香りテストと濃度計算
使用する材料		植物油、点眼容器、精油
備考		
7 項	目	アロマセラピー⑦
学習目標・ポイント		実習（吸入、バスソルト）
使用する材料		
備考		
8 項	目	アロマセラピー⑧
学習目標・ポイント		実習（ルームスプレー、マッサージオイル）
使用する材料		
備考		
9 項	目	アロマハンドトリートメントについて⑨
学習目標・ポイント		アロマハンドトリートメントの意義および活動範囲について知る。
使用する材料		
備考		
10 項	目	アロマハンドトリートメントの準備と確認⑩
学習目標・ポイント		アロマハンドトリートメントを実践するための準備ができる。
使用する材料		
備考		
11 項	目	アロマハンドトリートメントの実践⑪
学習目標・ポイント		トリートメントオイルの作成手順を知る。
使用する材料		
備考		
12 項	目	アロマハンドトリートメントの実践⑫
学習目標・ポイント		アロマハンドトリートメントを実践できる。
使用する材料		
備考		
13 項	目	鍼灸物品の製造に関して①
学習目標・ポイント		鍼の製造過程について説明し、鍼への関心を高める。
使用する材料		
備考		
14 項	目	鍼灸物品の製造に関して②
学習目標・ポイント		灸の製造過程について説明し、灸への関心を高める。
使用する材料		
備考		
15 項	目	特殊な鍼灸治療技術
学習目標・ポイント		レーザー治療について学び、さまざま治療方法があることを知る。
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅠD
担 当 教 員	濱田 さとみ・迫 宏典
カリキュラム名	統合教育科目Ⅰ
単 位 数（時間数）	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	・各期講義授業範囲の習熟度を確認する。実力試験では特に、習熟度を客観的に自己評価し、苦手分野の抽出および修正を目的とする。 ・実技授業（はり・きゅう・経営）では、鍼灸技術の向上だけでなく、治療院開業に向け経営について学ぶ。
到 達 目 標	・前期／後期における授業内容の理解を目的とする。 ・鍼灸治療への関心および学習への向上心を持ち、学業に集中できるようにする。
成績評価方法及び基準	授業出席および授業態度、実力試験の成績から総合的に判断する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	講義科目および実技科目の各期範囲までの習熟度を確認します。 現在までの習熟度を確認し、客観的に自己評価してください。苦手分野の抽出や修正を行ってください。
教育・実務業績	濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でポとでる問 共著出版 迫 宏典 【職歴】 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰ など) 【学会発表】 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－ 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－ 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 【研究歴】 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) 【業 績】 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項	目	実技(はり実技)①
学習目標・ポイント		基礎実技(両手挿管・片手挿管、押手、刺手)の確認
使用する材料		鍼灸道具一式・基礎実技Ⅰ配布資料
備考		
2 項	目	実技(はり実技)②
学習目標・ポイント		基礎実技(刺入技術)の確認、人体へ刺入する練習
使用する材料		鍼灸道具一式・基礎実技Ⅰ配布資料
備考		
3 項	目	実技(はり実技)③・実技(きゅう実技)①
学習目標・ポイント		人体へ刺入する練習、基礎実技(艾炷作成)の確認
使用する材料		鍼灸道具一式・基礎実技Ⅰ・Ⅱ配布資料
備考		
4 項	目	実技(きゅう実技)②
学習目標・ポイント		基礎実技(艾炷作成)の確認、灸の種類紹介
使用する材料		鍼灸道具一式・基礎実技Ⅱ配布資料
備考		
5 項	目	実技(きゅう実技)③
学習目標・ポイント		人体へ施灸する練習
使用する材料		鍼灸道具一式・基礎実技Ⅱ配布資料
備考		
6 項	目	実技(治療院経営について)①
学習目標・ポイント		雅祭でのクラス取纏めや模擬店運営などから開業に向け、経営について学ぶ。
使用する材料		
備考		
7 項	目	実技(治療院経営について)②
学習目標・ポイント		雅祭でのクラス取纏めや模擬店運営などから開業に向け、経営について学ぶ。
使用する材料		
備考		
8 項	目	実技(治療院経営について)③
学習目標・ポイント		雅祭でのクラス取纏めや模擬店運営などから開業に向け、経営について学ぶ。
使用する材料		
備考		
9 項	目	実力試験①(前半)
学習目標・ポイント		前期授業範囲(解剖・生理) 60問
使用する材料		
備考		
10 項	目	実力試験①(後半)
学習目標・ポイント		前期授業範囲(東洋医学概論・はりきゅう理論) 60問
使用する材料		
備考		
11 項	目	実力試験②(前半)
学習目標・ポイント		後期授業範囲(解剖・生理・東洋医学概論) 60問
使用する材料		
備考		
12 項	目	実力試験②(後半)
学習目標・ポイント		後期授業範囲(経絡経穴概論・東洋医学臨床論・はりきゅう理論) 60問
使用する材料		
備考		
13 項	目	学術研究①
学習目標・ポイント		学術大会に参加し、エビデンスに基づく鍼灸治療の実際を知る。また、大会から鍼灸に対する探求心を育み、鍼灸について深く知る機会としたい。
使用する材料		
備考		
14 項	目	学術研究②
学習目標・ポイント		学術大会に参加し、エビデンスに基づく鍼灸治療の実際を知る。また、大会から鍼灸に対する探求心を育み、鍼灸について深く知る機会としたい。
使用する材料		
備考		
15 項	目	学術研究③
学習目標・ポイント		学術大会に参加し、エビデンスに基づく鍼灸治療の実際を知る。また、大会から鍼灸に対する探求心を育み、鍼灸について深く知る機会としたい。
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅠE
担 当 教 員	濱田 さとみ・迫 宏典
カリキュラム名	統合教育科目Ⅰ
単 位 数（時間数）	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	基礎医学である解剖学(神経学・脈管学・内臓学)の知識を確認することを目的に、国家試験に向けて問題演習を行い、問題を解くことになれる。
到 達 目 標	・後期解剖学的知識の定着(神経学・脈管学・内臓学) ・国家試験過去問を解けること、また、理解できること
成績評価方法及び基準	成績評価は以下の方法にて行い、基準を満たした者に単位認定を行う。(「教員便覧」参照) 1) 後期授業内試験にて基準点(60%)を満たすこと。 2) 1)において不合格となった者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は60点を上限とする) 3) 1)を正当な理由で欠席した者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は80点を上限とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	解剖学は基礎医学です。“基礎”ということは、すべての医学の基礎であり、すべての科目に関わります。国家試験では、解剖学としての出題数が11問と非常に少ないですが、他の科目では解剖学的知識を基礎として問題が問われることが多々あります。前期・後期の段階で躓いたまま学校生活を続ければ、最後につけが回ってきます。つまり、3年生で大変なことになります。苦手であっても理解しようとする努力は続けてください。
	濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でポとでる問 共著出版 迫 宏典 【職歴】 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰ など) 【学会発表】 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」 【研究歴】 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) 【業 績】 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項	目	解剖学(神経学)①
学習目標・ポイント		後期内容(解剖学 神経学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	解剖学(神経学)②
学習目標・ポイント		後期内容(解剖学 神経学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	解剖学(神経学)③
学習目標・ポイント		後期内容(解剖学 神経学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	解剖学(神経学)④
学習目標・ポイント		後期内容(解剖学 神経学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	解剖学(神経学)⑤
学習目標・ポイント		後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	解剖学(脈管学)①
学習目標・ポイント		後期内容(解剖学 脈管学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	解剖学(脈管学)②
学習目標・ポイント		後期内容(解剖学 脈管学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	解剖学(脈管学)③
学習目標・ポイント		後期内容(解剖学 脈管学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	解剖学(脈管学)④
学習目標・ポイント		後期内容(解剖学 脈管学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	解剖学(脈管学)⑤
学習目標・ポイント		後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		

11 項	目	解剖学(内臓)①
学 習 目 標・ポイント		後期内容(解剖学 内臓学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
12 項	目	解剖学(内臓)②
学 習 目 標・ポイント		後期内容(解剖学 内臓学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
13 項	目	解剖学(内臓)③
学 習 目 標・ポイント		後期内容(解剖学 内臓学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
14 項	目	解剖学(内臓)④
学 習 目 標・ポイント		後期内容(解剖学 内臓学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		
15 項	目	解剖学(内臓)⑤
学 習 目 標・ポイント		後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使 用 す る 材 料		教科書、プリント
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目 I F
担 当 教 員	濱田 さとみ・迫 宏典
カリキュラム名	統合教育科目 I
単 位 数（時間数）	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目的	鍼灸治療に関わる東洋医学の基礎知識の定着を目的とする。
到 達 目 標	・前期／後期の東洋医学的知識の定着 ・国家試験過去問を解けること、また、理解できること
成績評価方法及び基準	成績評価は以下の方法にて行い、基準を満たした者に単位認定を行う。（「教員便覧」参照） 1) 後期授業内試験にて基準点(60%)を満たすこと。 2) 1)において不合格となった者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。（*採点は60点を上限とする） 3) 1)を正当な理由で欠席した者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。（*採点は80点を上限とする）
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	鍼灸に関わる東洋医学は、西洋医学でいう解剖・生理と同様に非常に大切な理論であり、治療の際に必ず必要となる基礎知識です。 国家試験の科目配点も非常に高い科目です。諦めずに頑張りましょう。
教育・実務業績	濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 迫 宏典 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でポトとる問 共著出版 迫 宏典 【職歴】 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰ など) 【学会発表】 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－ 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－ 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 【研究歴】 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) 【業 績】 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項 目	東洋医学概論①
学習目標・ポイント	前期／後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	
備考	
2 項 目	東洋医学概論②
学習目標・ポイント	前期／後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	
備考	
3 項 目	東洋医学概論③
学習目標・ポイント	前期／後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	
備考	
4 項 目	東洋医学概論④
学習目標・ポイント	前期／後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	
備考	
5 項 目	東洋医学概論⑤
学習目標・ポイント	前期／後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料	
備考	
6 項 目	東洋医学臨床論①
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。（1年後期終了時点での範囲）
使用する材料	
備考	
7 項 目	東洋医学臨床論②
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。（1年後期終了時点での範囲）
使用する材料	
備考	
8 項 目	東洋医学臨床論③
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。（1年後期終了時点での範囲）
使用する材料	
備考	
9 項 目	東洋医学臨床論④
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。（1年後期終了時点での範囲）
使用する材料	
備考	
10 項 目	東洋医学臨床論⑤
学習目標・ポイント	後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料	
備考	

11 項 目	経絡経穴概論①
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。（1年後期終了時点での範囲）
使用する材料	
備考	
12 項 目	経絡経穴概論②
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。（1年後期終了時点での範囲）
使用する材料	
備考	
13 項 目	経絡経穴概論③
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。（1年後期終了時点での範囲）
使用する材料	
備考	
14 項 目	経絡経穴概論④
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。（1年後期終了時点での範囲）
使用する材料	
備考	
15 項 目	経絡経穴概論⑤
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。（1年後期終了時点での範囲）
使用する材料	
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目 I G
担 当 教 員	濱田 さとみ・迫 宏典
カリキュラム名	統合教育科目 I
単 位 数（時間数）	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目的	鍼灸治療に関わる東洋医学の基礎知識の定着を目的とする。
到 達 目 標	・後期生理学的知識の定着 ・国家試験過去問を解けること、また、理解できること ・鍼灸により関心を持てるようにすること。また、エビデンスに基づく治療ができること。
成績評価方法及び基準	成績評価は以下の方法にて行い、基準を満たした者に単位認定を行う。（「教員便覧」参照） 1) 後期授業内試験にて基準点(60%)を満たすこと。 2) 1)において不合格となった者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。（*採点は60点を上限とする） 3) 1)を正当な理由で欠席した者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。（*採点は80点を上限とする）
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	生理学は基礎医学です。“基礎”ということは、すべての医学の基礎であり、すべての科目に関わります。国家試験では、生理学としての出題数が11問と非常に少ないですが、他の科目では生理学的知識を基礎として問題が問われることが多々あります。特に、臨床医学各論など配点の高い科目で必要となります。 前期・後期の段階で頂いたまま学校生活を続けられ、最後につけが回ってきます。つまり、3年生で大変なことになります。苦手であっても理解しようとする努力は続けてください。
教育・実務業績	濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 解剖学(脈管)、生理学、国対生理学、鍼灸実技担当 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 生理学、病理学、はき理論、国対経穴、徒手検査実技担当 2021年4月～ 平成医療学園専門学校教員として在籍 国対生理、国対経穴、触察解剖、取穴実技、救急救命、社会保障制度担当 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。 2020年 有限会社ラウンドフラットより はり師きゅう師国家試験対策でるポとでる問 共著出版 迫 宏典 【職歴】 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰ など) 【学会発表】 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」 【研究歴】 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) 【業 績】 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項 目	生理学(植物生理)①
学習目標・ポイント	後期内容(植物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
2 項 目	生理学(植物生理)②
学習目標・ポイント	後期内容(植物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
3 項 目	生理学(植物生理)③
学習目標・ポイント	後期内容(植物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
4 項 目	生理学(植物生理)④
学習目標・ポイント	後期内容(植物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
5 項 目	生理学(植物生理)⑤
学習目標・ポイント	後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
6 項 目	生理学(動物生理)①
学習目標・ポイント	後期内容(動物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
7 項 目	生理学(動物生理)②
学習目標・ポイント	後期内容(動物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
8 項 目	生理学(動物生理)③
学習目標・ポイント	後期内容(動物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
9 項 目	生理学(動物生理)④
学習目標・ポイント	後期内容(動物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
10 項 目	生理学(動物生理)⑤
学習目標・ポイント	後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	

11 項	目	基礎医学知識の確認(解剖・生理)
学 習 目 標・ポイント		後期までの医学的知識について確認し、学習方法の確認、修正を目的とする。
使 用 す る 材 料		
備 考		
12 項	目	基礎医学知識の確認(解剖・生理)
学 習 目 標・ポイント		後期までの医学的知識について確認し、学習方法の確認、修正を目的とする。
使 用 す る 材 料		
備 考		
13 項	目	鍼灸に関わる知識の集積①
学 習 目 標・ポイント		鍼灸への興味を引き出し、エビデンスに基づく鍼灸研究および治療のあり方について学ぶ。
使 用 す る 材 料		
備 考		
14 項	目	鍼灸に関わる知識の集積②
学 習 目 標・ポイント		鍼灸への興味を引き出し、エビデンスに基づく鍼灸研究および治療のあり方について学ぶ。
使 用 す る 材 料		
備 考		
15 項	目	鍼灸に関わる知識の集積③
学 習 目 標・ポイント		鍼灸への興味を引き出し、エビデンスに基づく鍼灸研究および治療のあり方について学ぶ。
使 用 す る 材 料		
備 考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅡA
担 当 教 員	比嘉 翔平・赤井 昂平
カ リ キ ュ ラ ム 名	統合教育科目Ⅱ
単 位 数（時 間 数）	5(150)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	1年生、2年生で習った内容の復習を中心に行う。 来年度の国家試験に向けて基礎的な内容の理解を深める。
到 達 目 標	国家試験問題を参考に演習を行い、基礎的な内容の確認を行う。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【比嘉 翔平】 1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2024年4月～：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 2025年4月～：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表 【赤井 昂平】 令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ（筋） 解剖学Ⅲ（脈管） 臨床医学各論Ⅲ（外科・整形） はりきゅう理論Ⅰ 生体観察（触察解剖） 臨床実技Ⅲ 実務上の業績（臨床経験等） 2024年4月～2026年1月：医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		生命徴候(バイタルサイン)の診察
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
2 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		全身の診察
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
3 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		局所の診察
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
4 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		神経系の診察
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
5 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		運動機能検査
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
6 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		臨床検査法
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
7 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		おもな症状の診察法
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
8 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		感染症
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
9 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		消化器疾患、肝・胆・膵疾患
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
10 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		呼吸器疾患、腎・尿器疾患
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
11 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		内分泌疾患、代謝栄養疾患
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
12 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		整形外科疾患
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
13 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		循環器疾患、血液・造血器疾患
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
14 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		神経疾患
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		
15 項	目	臨床医学演習
学習目標・ポイント		リウマチ性疾患・膠原病
使用する材料		臨床医学総論／臨床医学各論 教科書
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅡB
担 当 教 員	比嘉 翔平・赤井 昂平
カリキュラム名	統合教育科目Ⅱ
単 位 数（時間数）	5(150)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	教員指導のもとで研究活動を行い、情報収集、吟味、データ集積、整理、分析、論文作成に関する一連の作業を、実践を通じて修得する。
到 達 目 標	① 自らの研究テーマを立案する・班員と意見交換ができる。 ② 文献等の検索、収集を実践できる。 ③ 情報を吟味し、必要なものを選択することができる。 ④ 適切な研究計画を作成することができる。 ⑤ 研究を計画的に実践し、必要なデータを客観的に収集できる。 ⑥ 目的に準じた結果を適切に解釈し、論理的に文章家することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【比嘉 翔平】 1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2024年4月～：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 2025年4月～：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表 【赤井 昂平】 令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ（筋） 解剖学Ⅲ（脈管） 臨床医学各論Ⅲ（外科・整形） はりきゅう理論Ⅰ 生体観察（触察解剖） 臨床実技Ⅲ 実務上の業績（臨床経験等） 2024年4月～2026年1月：医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項	目	研究ガイダンス①
学習目標・ポイント		卒業論文作成までの流れを知る。研究テーマについて班員と意見交換を行い、様々な意見を知る。
使用する材料		
備考		研究班の発表、班長の決定を行う。
2 項	目	研究ガイダンス②
学習目標・ポイント		研究テーマについて意見交換を行い、様々な意見を知る。研究テーマ(概要)を決定する。
使用する材料		
備考		
3 項	目	研究テーマに関する情報収集①
学習目標・ポイント		問題提起から研究方針を絞る。
使用する材料		
備考		
4 項	目	研究方針・プロトコルの考案①
学習目標・ポイント		研究の実施に関する手順を知る。
使用する材料		
備考		
5 項	目	研究方針・プロトコルの考案②
学習目標・ポイント		研究方針から目的・方法を考える。
使用する材料		
備考		
6 項	目	研究方針・プロトコルの考案③
学習目標・ポイント		研究方針から目的・方法を考える。
使用する材料		
備考		
7 項	目	研究方針・プロトコルの考案④
学習目標・ポイント		研究方針から目的・方法を考える。
使用する材料		
備考		
8 項	目	研究の実施①
学習目標・ポイント		考えた目的・方法を元に研究を実施する。
使用する材料		
備考		
9 項	目	研究の実施②
学習目標・ポイント		考えた目的・方法を元に研究を実施する。
使用する材料		
備考		
10 項	目	研究の実施③
学習目標・ポイント		考えた目的・方法を元に研究を実施する。
使用する材料		
備考		
11 項	目	研究の実施④
学習目標・ポイント		考えた目的・方法を元に研究を実施する。
使用する材料		
備考		
12 項	目	実験結果のまとめ
学習目標・ポイント		実験から得られたデータをまとめる。
使用する材料		
備考		
13 項	目	実験結果の考察
学習目標・ポイント		実験から得られたデータから考察できることを挙げる。また、班員同士で意見交換を行う。
使用する材料		
備考		
14 項	目	発表資料の作成①
学習目標・ポイント		抄録と発表資料を作成する。
使用する材料		
備考		
15 項	目	発表資料の作成②
学習目標・ポイント		抄録と発表資料を作成する。
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅡC
担 当 教 員	比嘉 翔平・赤井 昂平
カリキュラム名	統合教育科目Ⅱ
単 位 数（時間数）	5(150)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	1年生、2年生で習った内容の復習を中心に行う。 来年度の国家試験に向けて基礎的な内容の理解を深める。
到 達 目 標	鍼灸臨床に関わるその他の医療知識を養う。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【比嘉 翔平】 1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2024年4月～：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 2025年4月～：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表 【赤井 昂平】 令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ（筋） 解剖学Ⅲ（脈管） 臨床医学各論Ⅲ（外科・整形） はりきゅう理論Ⅰ 生体観察（触察解剖） 臨床実技Ⅲ 実務上の業績（臨床経験等） 2024年4月～2026年1月：医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項	目	アロマセラピー①
学習目標・ポイント		精油の基礎知識、アロマセラピーのメカニズムを理解する。
使用する材料		
備考		
2 項	目	アロマセラピー②
学習目標・ポイント		精油の薬理作用、安全のための注意
使用する材料		
備考		
3 項	目	アロマセラピー③
学習目標・ポイント		アロマセラピーの歴史
使用する材料		
備考		
4 項	目	アロマセラピー④
学習目標・ポイント		アロマセラピーの健康学
使用する材料		
備考		
5 項	目	アロマセラピー⑤
学習目標・ポイント		アロマセラピーに関する法律
使用する材料		
備考		
6 項	目	アロマセラピー⑥
学習目標・ポイント		アロマセラピーと環境香りテストと濃度計算
使用する材料		
備考		
7 項	目	アロマセラピー⑦
学習目標・ポイント		実習（吸入、バスソルト）
使用する材料		
備考		
8 項	目	アロマセラピー⑧
学習目標・ポイント		実習（ルームスプレー、マッサージオイル）
使用する材料		
備考		
9 項	目	系統的な痛み教育①
学習目標・ポイント		痛みのメカニズム、病態時の痛みの機序
使用する材料		
備考		
10 項	目	系統的な痛み教育②
学習目標・ポイント		各組織の痛み、その他の痛みと要因
使用する材料		
備考		
11 項	目	系統的な痛み教育③
学習目標・ポイント		鎮痛機序
使用する材料		
備考		
12 項	目	系統的な痛み教育④
学習目標・ポイント		問診と検査
使用する材料		
備考		
13 項	目	系統的な痛み教育⑤
学習目標・ポイント		各部位の診断
使用する材料		
備考		
14 項	目	医療面接①
学習目標・ポイント		医療面接とは（コミュニケーション、身だしなみ、技法、質問法）
使用する材料		
備考		
15 項	目	医療面接②
学習目標・ポイント		カルテの書き方（S.O.A.P形式を用いて）
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅡD
担 当 教 員	比嘉 翔平・赤井 昂平
カリキュラム名	統合教育科目Ⅱ
単 位 数（時間数）	5(150)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	1年生、2年生で習った内容の復習を中心に行う。 来年度の国家試験に向けて基礎的な内容の理解を深める。
到 達 目 標	国家試験問題を参考に演習を行い、基礎的な内容の確認を行う。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【比嘉 翔平】 1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2024年4月～：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 2025年4月～：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表 【赤井 昂平】 令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ（筋） 解剖学Ⅲ（脈管） 臨床医学各論Ⅲ（外科・整形） はりきゅう理論Ⅰ 生体観察（触察解剖） 臨床実技Ⅲ 実務上の業績（臨床経験等） 2024年4月～2026年1月：医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		肝の生理と病理、病証
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
2 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		胆の生理と病理、病証
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
3 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		心の生理と病理、病証
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
4 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		小腸の生理と病理、病証
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
5 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		脾の生理と病理、病証
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
6 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		胃の生理と病理、病証
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
7 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		肺の生理と病理、病証
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
8 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		大腸の生理と病理、病証
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
9 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		腎の生理と病理、病証
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
10 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		膀胱の生理と病理、病証
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
11 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		心・脾・肝の相互関係
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
12 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		心・肺・脾の相互関係
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
13 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		肺・脾・腎の相互関係
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
14 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		脾・肝・腎の相互関係
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		
15 項	目	東洋医学演習
学習目標・ポイント		肺・脾・肝の相互関係
使用する材料		東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅡE
担 当 教 員	比嘉 翔平・赤井 昂平
カリキュラム名	統合教育科目Ⅱ
単 位 数（時間数）	5(150)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	1年生、2年生で習った内容の復習を中心に行う。 来年度の国家試験に向けて基礎的な内容の理解を深める。
到 達 目 標	国家試験問題を参考に演習を行い、基礎的な内容の確認を行う。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【比嘉 翔平】 1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センター実習（3年生）の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月：明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目：「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月：明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～：平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2024年4月～：平成医療学園専門学校にて東洋療法養成学科講義を担当 2025年4月～：明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 地域コミュニティ学寄付講座 客員研究員 2、実務上の業績（臨床経験等） 2018年4月～2023年3月：明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術（大学院生） 2019年4月～2021年9月：京都桂川鍼灸院mythos361での施術（大学院） 2023年4月～：平成医療学園専門学校附属鍼灸整骨院での施術 3、研究業績 2018年：第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表（優秀賞） 2019年：第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年：第50回日本慢性疼痛学会 口演発表（Web発表） 2022年：第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年：第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表 2025年：第55回日本慢性疼痛学会 口演発表 【赤井 昂平】 令和3年 国際東洋医療学院 鍼灸科 卒業 令和6年 国際東洋医療学院 柔道整復科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成科 卒業 令和8年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 解剖学Ⅱ（筋） 解剖学Ⅲ（脈管） 臨床医学各論Ⅲ（外科・整形） はりきゅう理論Ⅰ 生体観察（触察解剖） 臨床実技Ⅲ 実務上の業績（臨床経験等） 2024年4月～2026年1月：医療法人垣尚会兵田クリニックでの施術

1 項	目	阪大解剖見学実習①
学習目標・ポイント		実習を通して人体の構造を理解する。
使用する材料		
備考		
2 項	目	阪大解剖見学実習②
学習目標・ポイント		実習を通して人体の構造を理解する。
使用する材料		
備考		
3 項	目	阪大解剖見学実習③
学習目標・ポイント		実習を通して人体の構造を理解する。
使用する材料		
備考		
4 項	目	第1回実力試験(前半)
学習目標・ポイント		現在までの各科目の習熟度を測るとともに、今後の勉強方法について考え、計画を立てる。
使用する材料		
備考		
5 項	目	第1回実力試験(後半)
学習目標・ポイント		現在までの各科目の習熟度を測るとともに、今後の勉強方法について考え、計画を立てる。
使用する材料		
備考		
6 項	目	解剖学演習①
学習目標・ポイント		解剖学(筋・骨)
使用する材料		
備考		
7 項	目	解剖学演習②
学習目標・ポイント		解剖学(内臓)
使用する材料		
備考		
8 項	目	解剖学演習③
学習目標・ポイント		解剖学(内臓)
使用する材料		
備考		
9 項	目	解剖学演習④
学習目標・ポイント		解剖学(脈管・神経)
使用する材料		
備考		
10 項	目	生理学演習①
学習目標・ポイント		生理学の基礎、血液の組成と働き
使用する材料		
備考		
11 項	目	生理学演習②
学習目標・ポイント		呼吸、消化と吸収
使用する材料		
備考		
12 項	目	生理学演習③
学習目標・ポイント		代謝、神経
使用する材料		
備考		
13 項	目	生理学演習④
学習目標・ポイント		神経、筋
使用する材料		
備考		
14 項	目	第2回実力試験(前半)
学習目標・ポイント		現在までの各科目の習熟度を測るとともに、今後の勉強方法について考え、計画を立てる。
使用する材料		
備考		
15 項	目	第2回実力試験(後半)
学習目標・ポイント		現在までの各科目の習熟度を測るとともに、今後の勉強方法について考え、計画を立てる。
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅢA
担 当 教 員	迫 宏典／西浦 絵美
カリキュラム名	統合教育科目Ⅲ
単 位 数（時間数）	5(100)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
到 達 目 標	国家試験受験に於いて必要とされる知識の定着を確認する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業出席数および模擬試験の成績を以て評価する。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど） 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員（～現在に至る） （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰなど） [学会発表] 平成27年（公社）全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率（～現在） 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員（～現在） 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員（～令和2年） [業 績] 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰 【西浦 絵美】 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項 目	模擬試験1(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
2 項 目	模擬試験1(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
3 項 目	模擬試験2(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
4 項 目	模擬試験2(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
5 項 目	模擬試験3(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
6 項 目	模擬試験3(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
7 項 目	模擬試験4(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
8 項 目	模擬試験4(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
9 項 目	模擬試験5(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
10 項 目	模擬試験5(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅢB
担 当 教 員	迫 宏典／西浦 絵美
カリキュラム名	統合教育科目Ⅲ
単 位 数（時間数）	5(100)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
到 達 目 標	国家試験受験に於いて必要とされる知識の定着を確認する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業出席数および模擬試験の成績を以て評価する。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど） 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員（～現在に至る） （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰなど） [学会発表] 平成27年（公社）全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率（～現在） 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員（～現在） 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員（～令和2年） [業 績] 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰 【西浦 絵美】 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項 目	模擬試験1(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
2 項 目	模擬試験1(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
3 項 目	模擬試験2(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
4 項 目	模擬試験2(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
5 項 目	模擬試験3(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
6 項 目	模擬試験3(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
7 項 目	模擬試験4(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
8 項 目	模擬試験4(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
9 項 目	模擬試験5(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
10 項 目	模擬試験5(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅢC
担 当 教 員	迫 宏典／西浦 絵美
カリキュラム名	統合教育科目Ⅲ
単 位 数（時間数）	5(100)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
到 達 目 標	国家試験受験に於いて必要とされる知識の定着を確認する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業出席数および模擬試験の成績を以て評価する。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど） 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員（～現在に至る） （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰなど） [学会発表] 平成27年（公社）全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率（～現在） 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員（～現在） 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員（～令和2年） [業 績] 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰 【西浦 絵美】 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項 目	模擬試験1(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
2 項 目	模擬試験1(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
3 項 目	模擬試験2(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
4 項 目	模擬試験2(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
5 項 目	模擬試験3(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
6 項 目	模擬試験3(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
7 項 目	模擬試験4(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
8 項 目	模擬試験4(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
9 項 目	模擬試験5(前半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	
10 項 目	模擬試験5(後半科目)
学習目標・ポイント	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
使用する材料	配布問題
備考	

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対リハ・総論
担 当 教 員	西浦 絵美
カリキュラム名	統合教育科目Ⅲ
単 位 数（時間数）	5(100)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	国家試験に向けての臨床医学総論の知識を深め、重要なポイントを復習する。
到 達 目 標	臨床医学総論における各症状の理解と検査法を解説することができる。学生に対して国家試験の対策とサポートをすることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内で小テスト3回(60%)、授業内試験40%の合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項	目	国対リハビリ
学習目標・ポイント		確認テストとその解説
使用する材料		配布プリント、プロジェクター
備考		
2 項	目	国対リハビリ
学習目標・ポイント		第1章 リハビリテーション総説
使用する材料		配布プリント、プロジェクター
備考		
3 項	目	国対リハビリ
学習目標・ポイント		第1章 リハビリテーション総説
使用する材料		配布プリント、プロジェクター
備考		
4 項	目	国対リハビリ
学習目標・ポイント		第1章 リハビリテーション総説
使用する材料		配布プリント、プロジェクター
備考		
5 項	目	国対リハビリ
学習目標・ポイント		確認テストとその解説
使用する材料		配布プリント、プロジェクター
備考		
6 項	目	国対総論
学習目標・ポイント		確認テストとその解説
使用する材料		配布プリント、プロジェクター
備考		
7 項	目	国対総論
学習目標・ポイント		第1章 診察の概要
使用する材料		配布プリント、プロジェクター
備考		
8 項	目	国対総論
学習目標・ポイント		第2章 診察の方法
使用する材料		配布プリント、プロジェクター
備考		
9 項	目	国対総論
学習目標・ポイント		第2章 診察の方法
使用する材料		配布プリント、プロジェクター
備考		
10 項	目	国対総論
学習目標・ポイント		確認テストとその解説
使用する材料		配布プリント、プロジェクター
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅢE国対(各論)
担 当 教 員	迫 宏典
カリキュラム名	統合教育科目Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	5(100)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	現代医学における鍼灸治療適応疾患に関する知識を養う。
到 達 目 標	臨床において患者の主訴が鍼灸適応であるのか、判断できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰ など) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) [業 績] 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項	目	内分泌疾患1
学習目標・ポイント		内分泌の作用機序について生理学的に確認し、内分泌疾患の発生と病態を理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	内分泌疾患2
学習目標・ポイント		各種内分泌疾患について理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	代謝性疾患
学習目標・ポイント		糖尿病、高尿酸血症などの各種代謝性疾患について理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	循環器疾患1
学習目標・ポイント		心不全、先天性心奇形、心弁膜障害などの循環器疾患について理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	循環器疾患2
学習目標・ポイント		冠動脈疾患、大動脈解離、各種血管炎などの循環器疾患について理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	血液疾患1
学習目標・ポイント		各種貧血、紫斑病、血友病などの血液疾患について理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	血液疾患2
学習目標・ポイント		白血病その他のリンパ系疾患について理解する。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	その他の領域(耳鼻科疾患・眼科疾患)
学習目標・ポイント		耳鼻科疾患(前庭神経障害など)、眼科疾患(白内障、緑内障など)
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	その他の領域(婦人科疾患・精神疾患)
学習目標・ポイント		婦人科疾患(乳癌、子宮癌など)、精神疾患(統合失調症、双極性障害、適応障害など)
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	総復習および評価
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(解剖)
担 当 教 員	西浦 絵美
カリキュラム名	統合教育科目Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部 ・ 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	国家試験に向けて、解剖学の知識の再確認、知識の定着をおこなう。
到 達 目 標	解剖学を理解し、問題を解くことができるようになる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項	目	循環器系(1)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	循環器系(2)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	呼吸器系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	消化器系(1)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	消化器系(2)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	泌尿器系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	生殖器系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	内分泌系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	神経系(1)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	神経系(2)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
11 項	目	感覚器系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	感覚器系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	総合問題演習
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	総合問題演習
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
15 項	目	総合問題演習
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	過去問演習
担 当 教 員	迫 宏典／西浦 絵美
カリキュラム名	統合教育科目Ⅳ
単 位 数（時間数）	5(150)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	国家試験想定問題を解き、科目理解度を確認する。
到 達 目 標	国家試験受験に於いて必要とされる知識の定着を確認する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業出席数および模擬試験の成績を以て評価する。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど） 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員（～現在に至る） （担当科目：骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰなど） [学会発表] 平成27年（公社）全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率（～現在） 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員（～現在） 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員（～令和2年） [業 績] 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰 【西浦 絵美】 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項	目	国家試験過去問演習1
学習目標・ポイント		第32回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
2 項	目	国家試験過去問演習2
学習目標・ポイント		第32回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
3 項	目	国家試験過去問演習3
学習目標・ポイント		第31回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
4 項	目	国家試験過去問演習4
学習目標・ポイント		第31回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
5 項	目	国家試験過去問演習5
学習目標・ポイント		第30回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
6 項	目	国家試験過去問演習6
学習目標・ポイント		第30回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
7 項	目	国家試験過去問演習7
学習目標・ポイント		第29回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
8 項	目	国家試験過去問演習8
学習目標・ポイント		第29回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
9 項	目	国家試験過去問演習9
学習目標・ポイント		第28回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
10 項	目	国家試験過去問演習⑩
学習目標・ポイント		第28回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
11 項	目	国家試験過去問演習⑪
学習目標・ポイント		第27回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
12 項	目	国家試験過去問演習⑫
学習目標・ポイント		第27回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
13 項	目	国家試験過去問演習⑬
学習目標・ポイント		第26回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
14 項	目	国家試験過去問演習⑭
学習目標・ポイント		第26回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
15 項	目	国家試験過去問演習⑮
学習目標・ポイント		第25回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		

16 項	目	国家試験過去問演習⑩
学習目標・ポイント		第25回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
17 項	目	国家試験過去問演習⑪
学習目標・ポイント		第24回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
18 項	目	国家試験過去問演習⑫
学習目標・ポイント		第24回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
19 項	目	国家試験過去問演習⑬
学習目標・ポイント		第23回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
20 項	目	国家試験過去問演習⑭
学習目標・ポイント		第23回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
21 項	目	国家試験過去問演習⑮
学習目標・ポイント		第22回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
22 項	目	国家試験過去問演習⑯
学習目標・ポイント		第22回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
23 項	目	国家試験過去問演習⑰
学習目標・ポイント		第21回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
24 項	目	国家試験過去問演習⑱
学習目標・ポイント		第21回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
25 項	目	国家試験過去問演習⑲
学習目標・ポイント		第20回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
26 項	目	国家試験過去問演習⑳
学習目標・ポイント		第20回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
27 項	目	国家試験過去問演習㉑
学習目標・ポイント		第19回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
28 項	目	国家試験過去問演習㉒
学習目標・ポイント		第19回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
29 項	目	国家試験過去問演習㉓
学習目標・ポイント		第18回国家試験問題(前半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		
30 項	目	国家試験過去問演習㉔
学習目標・ポイント		第18回国家試験問題(後半科目)を解き、知識の定着を確認する。
使用する材料		国家試験過去問題
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(各論)
担 当 教 員	迫 宏典
カリキュラム名	統合教育科目Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	臨床的に重要な疾患の概要を理解する。その病理、症状、診断方法、治療法がわかる。鍼灸の国家試験過去問題を重点的に学習し、解くことができる。
到 達 目 標	臨床的に重要な疾患の概要を理解する。その病理、症状、診断方法、治療法がわかる。鍼灸の国家試験過去問題を重点的に学習し、解くことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	〔職歴〕 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰ など) 〔学会発表〕 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。－無刺激、偽円皮鍼刺激との比較－」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について－偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討－」 〔研究歴〕 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) 〔業 績〕 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項	目	循環器疾患1
学習目標・ポイント		循環器疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	循環器疾患2
学習目標・ポイント		循環器疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	循環器疾患3
学習目標・ポイント		循環器疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	血液・造血器疾患1
学習目標・ポイント		血液・造血器疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	血液・造血器疾患2
学習目標・ポイント		血液・造血器疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	内分泌疾患1
学習目標・ポイント		内分泌疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	内分泌疾患2
学習目標・ポイント		内分泌疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	代謝性疾患1
学習目標・ポイント		代謝性疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	代謝性疾患2
学習目標・ポイント		代謝性疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	神経系疾患1
学習目標・ポイント		神経疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
11 項	目	神経系疾患2
学習目標・ポイント		神経疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	神経系疾患3
学習目標・ポイント		神経疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	膠原病・リウマチ疾患1
学習目標・ポイント		膠原病・リウマチ疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	膠原病・リウマチ疾患2
学習目標・ポイント		膠原病・リウマチ疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
15 項	目	範囲復習(前期試験対策)
学習目標・ポイント		復習
使用する材料		教科書、プリント
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(総論)
担 当 教 員	西浦 絵美
カリキュラム名	統合教育科目Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	国家試験に向けての臨床医学総論の知識を深め、重要なポイントを復習する。
到 達 目 標	臨床医学総論における各症状の理解と検査法を解説することができる。学生に対して国家試験の対策とサポートをすることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内で小テスト3回(60%)、授業内試験40%の合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。

1 項	目	第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
2 項	目	第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察 第4章 全身の診察
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
3 項	目	第5章 局所の診察
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
4 項	目	中間評価
学習目標・ポイント		
使用する材料		配布プリント
備考		
5 項	目	第6章 神経系の診察
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
6 項	目	第6章 神経系の診察 第7章 運動機能検査
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
7 項	目	第7章 運動機能検査
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
8 項	目	中間評価
学習目標・ポイント		
使用する材料		配布プリント
備考		
9 項	目	第9章 臨床検査法
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
10 項	目	第9章 臨床検査法
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
11 項	目	第10章 主な症状の診察法
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
12 項	目	第10章 主な症状の診察法
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
13 項	目	中間評価
学習目標・ポイント		
使用する材料		配布プリント
備考		
14 項	目	第11章 治療学 第12章 臨床心理
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
15 項	目	評価
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和8年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅣE
担 当 教 員	竹本 晋史／上野 暁生
カリキュラム名	統合教育科目Ⅳ
単 位 数（時間数）	5(150)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	臨床に則した実践技術の習得と国家試験を見据えた過去問演習による習熟度の向上
到 達 目 標	過去問を中心に問題演習と解説を行い。最低限、過去問では8割以上取れるように習熟度を高める。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務（授業）10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価で行う。
履修にあたっての注意 （受講者へのメッセージ）	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退去を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	竹本 晋史 平成12年 竹本鍼灸整骨院開設 平成19年4月～平成医療学園専門学校 柔道整復師科 専科教員 平成24年4月～平成医療学園専門学校 柔道整復師科 学科長 平成29年9月～柔道整復認定実技審査員 令和3年4月～平成医療学園専門学校 教務部長 令和8年4月～平成医療学園専門学校 校長 平成17年～現在 筋骨格画像研究会会長 平成17年～現在 鍼灸柔整新聞(旧日本鍼灸マッサージ新聞) 柔道整復と超音波画像観察装置連載(年2回) 平成18年4月 超音波による骨・筋・関節の観察(南山堂)執筆協力 平成20年9月 運動器の超音波(南山堂)執筆協力 平成26年3月 東洋療法教員養成学科卒業 平成26年4月～鍼灸科3年応用実技Ⅲ授業担当 上野 暁生 平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論

1 項 目	基礎手技の理解
学習目標・ポイント	基本鍼灸術（直刺・斜刺・横刺）の理解と実践・施鍼の角度別効果を知り、実践技術を持つ
使用する材料	0～5番寸6・寸3×人数分及び衛生用具
備考	
2 項 目	頸部痛
学習目標・ポイント	肩甲挙筋、前鋸筋、菱形筋、胸鎖乳突筋、斜角筋、僧帽筋、肩甲挙筋、肩甲骨の位置（置鍼・単刺）
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
3 項 目	肩部痛
学習目標・ポイント	肩甲上腕リズム、肩甲胸郭関節の動き、腱板へのアプローチ
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
4 項 目	腰痛
学習目標・ポイント	上殿皮神経、広背筋、腹斜筋、後頭下筋群へのアプローチ
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
5 項 目	膝痛
学習目標・ポイント	スクリーホームムーブメントを考える。中殿筋、膝窩筋へのアプローチ
使用する材料	1寸6分 3番 パルス
備考	
6 項 目	臓腑経絡論
学習目標・ポイント	経絡の流れを考えながら、どのような症状がでるかを理解。臓腑経絡論の問題演習・解説
使用する材料	教科書、プリント
備考	
7 項 目	経脈病証
学習目標・ポイント	経絡の流れを考えながら、どのような症状がでるかを理解。経脈病証の問題演習・解説
使用する材料	教科書、プリント
備考	
8 項 目	奇形八脈病証
学習目標・ポイント	経絡の流れを考えながら、どのような症状がでるかを理解。奇形八脈病証の問題演習・解説
使用する材料	教科書、プリント
備考	
9 項 目	六経病証
学習目標・ポイント	経絡の流れを考えながら、どのような症状がでるかを理解。六経病証の問題演習・解説
使用する材料	教科書、プリント
備考	
10 項 目	病因論（内因、外因、不内外因）
学習目標・ポイント	内因、外因、不内外因の特徴を理解。内因、外因、不内外因の問題演習・解説。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
11 項 目	八綱病証
学習目標・ポイント	八綱病証の病理病証を覚える。八綱病証の問題演習・解説。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
12 項 目	気血津液の病理病証
学習目標・ポイント	気血津液の病理病証を覚える。気血津液の病理病証の問題演習・解説。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
13 項 目	五臓六腑の病理病証
学習目標・ポイント	五臓六腑の病理病証を覚える。五臓六腑の病理病証の問題演習・解説。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
14 項 目	病理と病証（まとめ1）
学習目標・ポイント	五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証を覚える。五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証の問題演習・解説。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
15 項 目	病理と病証（まとめ1）
学習目標・ポイント	五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証を覚える。五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証の問題演習・解説。
使用する材料	教科書、プリント
備考	